

30年の足跡

連盟創設30周年記念

ボーイスカウト群馬県連盟

30年の足跡

連盟創設30周年記念

ボーイスカウト群馬県連盟



ボーイスカウト運動創始者 ベーデン・パウエル卿

30年の伝統に輝く群馬県連盟旗



群馬県連盟歌

作詩 鈴木比呂志
作曲 植村 亨

- 一、
こころの中のふるさと
は若草いつももえている
はてないのぞみ少年の
夢はひろがる世界のはてへ
ああボーイスカウト
ぐんまのこ
- 二、
こころの中の星空は
銀河が白く光ってる
友愛の花さくところ
奉仕の汗も楽しくかおる
ああボーイスカウト
ぐんまのこ
- 三、
こころの中の湖は
きよらかなひとみ映してる
胸にのぼらと太陽を
いつもかざろう若者われら
ああボーイスカウト
ぐんまのこ

目 次

30年の足跡

ボーイスカウト運動創始者	ベーデン・パウエル卿		
群馬県連盟旗、群馬県連盟歌			
式 辞	群馬県知事	清 水 一 郎	1
群馬県連結成30周年に寄せて	日本連盟総長	渡 辺 昭	2
県連結成30周年を祝して	先 達	星 野 宏	3
30年記念誌の発刊を祝って	教 育 長	横 山 巖	4
群馬県連結成30周年を祝って	日本連盟理事長	寺 尾 一 郎	5
県連結成30周年を迎えて	理 事 長	渋 木 羨 夫	6
初心忘れ得ず	県コミッショナー	根 岸 努	6
灯を点して	県連事務局長	柳 田 栄 一	7

第一部 県連創設回想

連盟30周年によせて	栗 原 博	9
30周年に当っての思い出	北 条 富 司	10
第1回指導者公認講習会	村 沢 信 夫	11
30年の歴史に思う	小井戸 哲 夫	13
輝かしい発展	高 橋 邦 一	13
隊登録(初期)の状況		15

第二部 経験をとおして

スカウト運動の分析と確認	勝 実 道	19
憶うこと思い出すこと	小野里 和四郎	20
30周年におもう	佐 山 弥一郎	20
第1回合同キャンプの思い出	小井戸 哲 夫	21

第1回全国大会に参加して	桜井玉寿	22
第5回関東カブラーリー始末記	根岸努	22
ジャンボリースカウト	竹田賢一	24
変還(ひとりごと)	坂本栄治	25
スカウト随想	井出存祐	26
自発活動随想	高橋和男	27

第三部 奉仕された人々と表彰の記録

歴代県連盟役員(結成時から日連規約改正時迄)	29
先達顧問相談役	30
歴代県連盟役員(昭30.1から昭55.3.31迄)	31
県連特別有功章受章者	37
県連有功章受章者	38
県連感謝章受章者	41
県連善行綬	43
日本連盟 たか章受章者	44
日本連盟 かつこう章受章者	45
日本連盟 感謝章受章者	46
日本連盟 特別感謝章受章者	46
日本連盟 人命救助章	46
日本連盟 公共奉仕綬受章者	46
日本連盟 善行章受章者	46
日本連盟 特別年功章(5年章)受章者	47
〃 〃 (10年章) 〃	49
日本連盟 隊褒彰綬	50

第四部 県連活動記録（日連）

登録スカウト数の動き	53
登録団の現況	54
行事と派遣の記録	105
会議の記録	121
養成と研修の記録	121
県連活動資金と登録料の動き	144

第五部 組織の現況

昭和55.4.1現在加盟団委員長、育成会長	147
昭和55年度県連役員一覧	148
昭和55.3.31現在加盟登録状況	149
群馬県連盟規約（55.6.15現在）	153

第六部 創立30周年に寄せて

リーダー集	161
スカウト集	172
編集後記 柳田栄一 青山寿延	203

30周年記念誌の発刊によせて



群馬県知事 清水 一郎

日本ボーイスカウト群馬県連盟が、創立30周年を迎えられ、記念誌を刊行する運びとなりましたことを心からお喜び申し上げます。

私は知事に就任以来、連盟長という名誉ある推挙をいただき光栄に存じております。

日頃、スカウト諸君が誇りをもってユニホームを着用し、元気いっぱい活動されているようすを見まして、「備えよ常に」をモットーとして「ちかいとおきて」が立派に日常生活に生かされ、実践されておりますことは、誠にたのしい限りであります。

ふりかえって見ますと、昭和24年11月6日前橋公園において発足した県連盟も30年を経過した今日では、68団131隊4,308名を数えるすばらしい少年団体として成長しており、関係各位のご努力に対しまして、深く敬意を表します。

申すまでもなく、今日の青少年をとりまく環境には誠にきびしいものがあり、日本の将来を考える時に、その健全育成はますます重要になっております。特に国際化社会へ急速に進展しつつある今日の社会情勢にあって、人道主義と国際的視野に立ったボーイスカウト運動は、青少年教育としてますます貴重なものであると信じております。

30周年を機会に、更に青少年の自主、自律、勤労と奉仕、友情と感謝の精神を高めるため、両親や地域社会のご協力を得て、この立派な運動を一層推進させたいものと望んでおります。

おわりに、人類の幸福と世界平和のために関係各位のご活躍を心より祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

群馬県連盟結成30周年に寄せて



財団法人ボーイスカウト
日本連盟 総長 渡辺 昭

日本ボーイスカウト群馬県連盟が結成30周年を迎えられ、その歩みを記した記念誌を刊行されますことを、心からお祝い申し上げます。

群馬県連盟が昭和24年11月の結成以来、大きな社会情勢の変化にもかかわらず、年毎にその組織を拡充されて今日を迎えられましたことは、ひとえに本運動のために優れた指導力を発揮され、たゆまぬ実践活動を続けてこられた指導者氏のご努力と、スカウト諸君の着実な訓練の成果に負うものであることはいまでもありません。しかし、さらに群馬県連盟発展のために、温かいご理解と多大なご協力を賜りました各方面の方々の方ならぬご配慮の結果でもあると存じ、心からそれらの方々に敬意を表する次第でございます。

この30年間に、我が国は世界有数の経済大国として認められるまでに発展いたしました。

しかしながら、現在の世界情勢を見ますと、いかなる国も他国のことを顧みず自国の繁栄のみを願うというようなことは許されなくなりました。世界各国が相互に理解しあい、人類全体の幸福を追求してゆかねばならない時代を迎えたのであります。時として世界の目は、日本人の気質として、「自己中心」「物質万能」「他人依存」などと指摘して厳しい評価をしております。私たちはこれを謙虚にうけとめ、こうした誤解を解き、経済大国の責任を自覚して応分の努力をしなければなりません。

私たちは、いま世界のスカウトと共に、スカウト運動を通じて相互に交流する中から、民族、人種、宗教を越えて友好親善を図っております。これこそ、スカウトとして人類全体の幸福を願う態度であると考えます。

従って私たちは、スカウト運動に加盟していることが、我が国そして世界のために大きな役割を果たしていることをよく認識する必要があると思います。そして私たちは、自信と誇りをもって、ひとりでも多くの心身共に強く健全な青少年をスカウト運動を通じて育成してゆくことに、共に努力を続けてまいりたいと存じます。

群馬県連盟の今後のご発展をお祈りしまして私の祝辞といたします。

県 連 結 成 30 周 年 を 祝 して



群馬県連盟先達 星野 宏

あのいまわしい戦争が終ると、例にもれず米軍がこの沼田にも進駐してきました。町には英語塾が盛り上がり通訳（C I C……軍政部）をしていた私は、20年10月から英語塾を始めたのです。集ってきた人たちの中から小学校の高学年の男女生徒を“ボーイスカウト”“ガールスカウト”と呼んで、気心のすさんでいた当時に、身心の健全な日本人として育ててほしいという願いをこめて、毎日曜日の午後、集会を持つたグループが、現在のボーイスカウト沼田第1隊とガールスカウト群馬22団の前身なのです。

そしてこの運動のよき協力者として、よき指導者として、塾生の中にあつた武井清子（現高見夫人）さん、村沢信夫（現水上町教育長）先生、林三郎先生の3人の方に一の宮での第1回指導者講習を受けていただいたのです。武井さんには初代の隊長を務めていただいたのですが女性によるボーイの隊長は、日本で最初にして最後、今後もおそらく出ないことでしょう。また、戦前に台湾でこの運動に携わつて居られた村沢先生のお蔭で、利根沼田のスカウティングが大きな発展をみせてくださったのです。この隆盛をみた中で、当時利根地方事務所長をしておられた故鈴木武雄先生の力の入れようもたいへんなものでした。

数えればきりのない多くの先生方の御尽力のうちに、23年頃からこの運動も県下に広まり、24年には各地に11隊の誕生をみ、県連盟結成の運びとなったのです。

県下に先がけて生まれた沼田第1隊をはじめ利根沼田地区には、水上・上牧月夜野・新治・薄根・池田・横塚・上沼須・戸鹿野に各隊が続々と誕生し、ガールスカウト運動をしてこられた方々が久し振りに集い、昔を語り合いながら“スカウトのあゆみ”を刊行することにしたのです。しかし、その源は、浄財をお寄せくださった数多くの篤志家諸氏、物心両面からの援助の手をのべてくださったスカウトの御父兄各位、指導に熱心であられた多くの先生方、編集にあたって骨折りを惜しまずつとめてくださったスカウト兄弟からのお力添えを賜ったことにあるのです。感謝の気もちを、ことばとして表わせないもどかしさを感じながらも、各位の御健康と御多幸を心から念じつつ、こうして刊行されたスカウトの歴史をふりかえってみる中から、明日への新しいあゆみをすすめていく勇気と知恵を得る泉ともすることをお約束してお礼のことばにいたし

ます。加えて、このスカウト運動に対して、なお一層のあたたかい御協力ときびしい御指導を賜りますようお願いいたします。

30周年記念誌の発刊を祝って



群馬県教育委員会
教 育 長 横 山 巖

このたび、日本ボーイスカウト群馬県連盟が、30年の歩みをまとめ、記念誌として刊行する運びとなりましたことは、誠に意義深く心からお祝い申し上げます。

ひと口に30年と申しましても、その間にはさまざまご苦労があったことと存じます。

関係者のみなさまのボーイスカウト教育への情熱とたゆまぬご努力が、今日の発展をもたらしたものであり、その業績に対し深甚なる敬意を表します。

これからの社会は、ますます激しい変動が予想され、青少年によせる期待は以前にも増して大なるものがあります。この変化の激しい時代こそ、青少年自身がその使命と役割を自覚し、進んで自らの啓発と向上につとめ、積極的に社会参加することによって、自己の形成と地域社会の発展に寄与することが大切であり、それが今日青少年に強く要請されている大きな課題でもあります。

ボーイスカウトで実施している野外活動、奉仕活動、学習活動、国際交流活動等は、誠にすぐれた教育活動であり、地域に根ざした青少年の健全な育成の上で大きな役割を果しております。

今回、これ等の活動の足跡が編纂されることは、過去の大きな業績を知るとともに、これからのスカウト運動の指針として、あるいは関係者の貴重な資料として欠かすことのできない記録となることと思います。

これを機会に、さらにボーイスカウトの伝統と組織が群馬の地に根をおろし、地域に展開されていくことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

群馬連盟結成30周年を祝って



財団法人ボーイスカウト
日本連盟理事長 寺尾一郎

日本ボーイスカウト群馬県連盟が創立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

群馬県連盟が時代の荒波を乗り越えられ、今日68コ団、4,300名の加盟員を数えるまでに発展充実せられましたことは、多くの先輩諸氏のご努力、加えて、ボーイスカウト運動に多大のご理解ご支援を賜りました。県並びに各市町村等、広く関係者各位のご尽力の賜物と存じ、この運動に挺身する者の一人として、心から敬意を表する次第であります。

今日の社会情勢の中で、青少年に関する様々の問題提起がなされており、加えて、将来の国際化時代に身を置くであろう青少年に対する社会教育は、ますますその重要性を高めつつあります。

ボーイスカウト運動は、75年という長い歴史と伝統の中でボランティア指導者の強い奉仕に支えられながら、次代を担う青少年の品性の陶冶と、国際的友愛精神の高揚に努めております。一方、ボーイスカウトに集う青少年は、年齢の異なった多くの仲間との交流を通じて、自主的な生活態度を養ない、集団の規律を学び、奉仕する喜びを知るなど、将来社会の有用な一員として自分が果たし得る役割と責任感を、実践活動の中で学びとるよう訓練に励んでいます。こうした訓練方式に対する社会的評価は高く、私たちに寄せられる期待は、非常に大きなものと確信しております。

私たちは、今後一層、国家、社会の期待に応えてゆくため、新たな情熱をもって、ひとりでも多くの青少年をこの運動に迎え入れたいと思います。そして、常に時代の変化に対応しながら、青少年に明るい夢を抱かせ、ひとりでも多くのスカウトが魅力あるスカウティングを展開できるように、群馬県連盟におかれましても、組織の一層の拡充と、内容の充実を図っていただき30年という年輪を更に広げるため、この年を新たな出発点として、確固たる前進を続けられることを祈念して、祝辞とさせていただきます。

県連結成30周年を迎えて



理事長 渋木 羨夫

昭和24年、賢明な諸先輩が、健全な群馬の子を育てようと、情熱の火を掲げてから30年、複雑な社会情勢に操まれながら、幾多の苦難を克服して、隆盛となった今日を迎えることができましたのは、唯々先輩指導者各位のご苦勞と理解ある行政当局や社会奉仕団体のご支援の賜と、深く感謝申しあげる次第です。

現在、青少年を取囲む環境は、明るさのない不安定不確実の経済社会の中で、彼等の人生の目標すら、適確に把握することも儘ならぬ状況にあります。

私達の使命は、斯かる時代を如何なる困難をも物こもせず、力強く、逞しく活躍して行く素晴らしい若者を作ることにあり、と思ひます。

県内指導者の皆さん、私達は、この崇高な使命を達成するために、結成30周年を一大転機として、益々組織を拡大し、大いなる躍進をしようではありませんか！

初心忘れ得ず



県コミッションナー 根岸 努

群馬県連盟創立記念式典が既に開催され、いま記念誌が刊行のはこびとなったことは誠に喜ばしいことであります。

10年をひと区切りとしますと三つの節目が経過したわけです。

その間、スカウターとしてまた一市民としていろいろな役職をいただく仕儀となり現在に至りましたが、他への思いやり、地域との連携あるいは両親との協働といったことの重要なことを学ぶ毎日でもありました。

最近の10年間は組織拡大の時期で、担当委員会の努力やその他の方々の協力によって今日の県連の成長がはたされ感謝しています。

急激に変貌する社会に適応する社会教育のあり方が問われて久しいのですが、そして少年団体加入促進運動が全国的に展開されて来ましたが、私共も新しい方途を真剣に探求してゆかねばならぬと存じます。行政主導形の時代、よちよち歩きながら一人だちをめざした時代、そしていまこそ全員参加の運動の時代へと成長して来たと自負したいものです。実際にはまだ道遠しの感がありますが。

運動の目的と基本方針をふみはずさぬよう、新しい道しるべを求めながら初心を忘れずみんなて明日への一步をふみだそうではありませんか。

灯を点して



県連事務局長 柳田 栄一

諸先輩によって荒廃した戦後にスカウトの灯を点して30年。

今日の隆盛を築かれ、支えてくださった先輩諸賢並びに物心にわたり援助くださったスカウト父兄、奉仕された諸先生の指導に心から感謝の意を表するものであります。

一口に30年とは申せ、こうした青少年活動が一貫して継続し、その灯の消えることなく受け継がれている団体は他にその例をみるのが少ないことは私共の最も誇りとするところです。

顧りみて私がこの活動に参加させていただいてから既に15年が経過いたしました。そして記念すべき30周年の最後の年度の事務局長であったことに、私個人としても最大の記念であり喜びであります。それが記念発刊のお仕事をさせていただきこの上もなく名誉に存じ感激いたしております。

この感激を忘れることなく明日からの歩みをすすめて、伝統の灯を点し続けることを祈念して祝辞といたします。

第一部

県連創設回想



連盟 30 周年によせて

伊勢崎第 1 団委員長 栗原 博

30 周年を御祝い申し上げます。さて、群馬BSの歴史にふれて見るのも此の道の発展向上になると考へて、申し上げます。私がBSを知ったのは、昭和8年秋、群馬の地に於て、陸軍大演習が行われました。当時、私は町の社会教育善導を目的として百名ほどの子供を集め、珠算会を行っていた、兄が鳩会々長を務めおりました、鳩会の会員となり、此の大演習へ参加致したのです。其の為演習場の中へ自由に立入り出来ました。ところかしこも天皇陛下には大元師として伊勢崎五料橋の近く、利根川土手へ天幕を張り御野立ちに成る。私は其近くにて伝書鳩を飛ばし御覧に入れました。そして最後高崎迄ついで行き、ここで少年団奉仕隊の催しがありまして、とくに日光古河精鋼所の少年団のすばらし活躍ぶりを見て感激致し、これこそ日本青少年の為になると信じ、幸い、精鋼所少年団には私の兄が副団長を務めていたので、二荒芳徳先生に御会い出来ました。昭和10年二荒先生の御指導を頂き伊勢崎少年団が発団致しました。当時群馬県案内には10団ほどの団がありましたがあまり活動をしていませんでした。新町の桜井団長が動いていたようですが信用されない方で、当団でも団旗代二度とられた次第です。

大演習の後富岡少年団が発団して一之宮貴前神社へ二荒先生を招き群馬連合少年団大野営大会を2泊3日催しましたが、後はつづきません、各団力なく、悲しかな一つの団が生れると其の団を中心に活動する。そうしたことが発展しない。伊勢崎少年団は昭和11年より強い少年団を祈り、伊勢崎佐波連合少年団を五団を以て結成あらゆるところに活躍致しました。

群馬県連合少年団を代表して日独交歓大野営へ当団30名の団員と共に参加、富士山中湖畔にヒットラーユウゲンドへ八木節披露群馬少年団の意気おおいにあげ各新聞に毎日のり特に文部大臣荒木大将閣下より御褒めの御言葉を頂きました。尚々群馬少年団の団結と向上を計り昭和12年赤城山大洞湖畔に於て東京四ッ谷連合少年団と群馬県連合少年団とにてテント村をつくり健道を実修致しました。

参加団は四ッ谷連合六団。群馬連合10団参加者は1,302名写真保管、健児道会報誌による。尚参加団の名は紙面の都合次回に申し上げます。昔の日本連盟には真があった、命懸けで力かぎり此の運動へついて行けた、私は終戦後青年団長を3年半務めたが力のないのを知ってスカウト運動はやらないと思ひおろしが伊勢崎市長に物心両面こまらせないとお言葉を再度頂き後輩の為に受けて、終戦後の此の運動が初まりました。ところ私の考へおろし通り市は約束を守らない次第で御座います。

私には二荒先生がスカウトは死ぬ迄やりぬく精神こそ健児の道と教えられました。これを守り、45年此の道をふりかえり至らない事を憤りおります。むずかしい世中にいまこそ二之宮先生の事を考えます。亦の折りに此の後を話したい終りに同志の皆様友愛強調を御願ひ致し皆様の健康BS連盟の弥栄を心より祈りおります。



30周年にあたっての思い出

群馬県連盟相談役 北条 富司

光陰矢の如しというが、時の過ぎるのは夢のごとく、県連盟結成以来、30年の月が流れたとは思えない。私が戦後のボーイスカウト運動に加盟したのは、昭和23年7月3日から6日まで富岡市の一の宮公民館にて、群馬県少年指導者講習会ということで群馬県教育委員会が主催したことに始まる。当時、この講習会は、県として各市町村長より青少年教育に関心をもち、指導者としての適任者を推せんさせ、受講者を決め、受講させたものである。私も太田市長の推せんにより、この講習をうけ、少年教育の重要性、意義、歴史、ゲーム、歌などの指導を受け、青少年教育には、各種の指導方法、団体等があるが、ボーイスカウト教育こそ「青少年の良識を養成し、その資質の昂揚をはかり、かつ、国際友愛の精神を増進するものである」と、深く心にきざみこんだ。特に自主的に、このボーイスカウトは「日本ボーイスカウト憲章」を制定して、「この運動組織を通じ、成人指導者の協力によって、青少年が、その自発活動により社会の奉仕し得る能力と人生に有用な技術を体得し、かつ、愛国心、勇氣、自信およびこれらと並行する国際愛と人道主義を把あくし、これによって自らを心身共に純潔健全な日本人に育てる」というものであった。

この理論を柱とした講習会終了後、私は、幸福なことに教師であったことから、自分の担任クラス子どもたちに、ボーイスカウトの歴史、意義、ゲーム、歌等の指導を始め、この運動に親しませ、隊結成の準備を進めたが、経費や指導者の不足、ボーイスカウト運動の趣旨の普及等に苦勞を重ねたり、父兄、育成会関係者との協調、備品用具の整備など管理運営上の問題が、悩みのたねとして苦慮したことは、永久に忘れ得ない思い出となっている。その苦しみ、なやみを解決してくれるが如く県では、第1回の講習会終了者を対象にして第2回群馬県少年指導者講習会を昭和24年1月20日～24日まで開催して下さったことである。この講習会は、理論ばかりでは指導者としての実力がつかないということで、実践的体験的講習を取りあげ、指導者は卒先重範をすべきであるとの講習会が実施された。また、第1回講習後の問題解決をはかるべく内容も進められ、私にとっても、非常に役立つ講習であったと思っている。

これを契機にボーイスカウト太田第1隊結成準備会が発足し、問題点は残されたものの昭和24年8月25日には、正式にボーイスカウト太田第1隊として日本連盟に登録申請をして承認された時の喜びは、ひとしおであつた。当時隊員50名、指導者3名と覚えている。群馬県では、昭和24年7月16日付、利根第1隊が星野宏氏により結成誕生、その後、伊勢崎第1隊、太田第1隊、前橋第1、2隊、佐波1、2隊、利根第2隊、前橋第3隊、高崎第1隊、勢多第1隊というように順次結成され、昭和24年11月6日、日本ボーイスカウト群馬県連盟結成記念大会が開催され群馬県下11隊、隊員286名が参加、前橋公園にて盛大に式典が行なわれ、その成果は偉大なるものがあつたと記憶に残っている。私の太田第1誕生と県連盟結成までの間には、一つの大きな大会が実施されたことである。これは、文部省とボーイスカウト日本連盟主催による「第1回日本ジャンボリー」で、戦後ボーイスカウト復活のためのボーイスカウト全国大会と称して開催され、昭和24年9月24日25日の2日間、東京皇居前広場で開かれたものである。私も太田第1隊50名を引卒参加し、各種の競技会、訓練、キャンプ等を実施、さらに1万有余のスカウトが大営火をかこみ、楽しいひとときを過し、歌、劇などの演出に熱中した。この大感

こそ、何ともいえない心境であった。苦しいこと、楽しいこと、心配ごとなど、沢山の苦境を乗り越え精進した姿こそ尊い思い出の一つになっている。以後、群馬県の経過をふりかえてみると、昭和25年には、群馬県連盟結成一周年記念大会を前橋・群馬会館にて開催、昭和26年には、二周年を沼田市、昭和27年には三周年を太田市、昭和28年には四周年を桐生市にて、それぞれ開催し、県下75隊、1,700名のボーイスカウトとなる。さらに昭和29年には全国45都道府県のうち、北海道、福井県を除く43都道府県にすべてボーイスカウト隊が誕生し、隊数1,678隊に及び、私たち群馬県のスカウト隊は、第1位東京の164隊、第2位福岡の102隊につぐ第3位91隊という隆盛ぶりを示し、日本全国に右名なボーイスカウト県、群馬となったことは、私たちの誇りであり、群馬の関係者の努力の賜と思ひ、当時をなつかしく思い出すのである。

参考にガールスカウトの状況をふりかえてみると、全国45都道府県のうち、未結成の6道県を除く39都府県で385団結成され、全国第1位を占めていたのは、群馬県で45団を有するスカウト県であり、ボーイ、ガール共に全国優位の群馬県、誇り得る群馬であったといえよう。時既に昭和30年。

私は、この30年まで直接ボーイスカウト運動に指導者として鋭意専心努力してきたが、この年に教育委員会事務局勤務となり、次第に実践指導から遠くなり、行政面より応援することが多くなった。しかし、「ボーイスカウトに一度加入したからには、一生涯スカウトだ」の精神を忘れずに、気持だけは応援し実践してきた。

その後県教育委員会事務局勤務通算20年を経て、今回、日本ボーイスカウト群馬県連盟30周年にあたって、太田市の教育委員会へ転任を命ぜられ、これからの契機をもとに、ボーイスカウト運動のために 力し、実践し、体験しなおして進みたいと新しい覚悟と決意を表明するものである。以上発足当時10年間を思い出の一つとしてふりかえてみたもので、多少、年月日等記憶、思い出で差違のあるものもあるかと思うが、お許しいただき、互に30周年を祝したいと思う。

第1回指導者公認講習会

県連相談役 村 沢 信 夫

第1回県BS指導者公認講習会は、昭和23年7月13日から16日まで3泊4日、会場は一の宮公民館であった。この講習会に参加したのは、同町に住な星野宏氏が、私の戦前外地（台湾）で教師として終戦まで学校教育外の皇民教育の一環としての少年団指導の経歴を知って、受講を依頼されたためである。

当時、私は引揚後教職につき、利南村立利南中（現沼田市）の教員として6・3制発足2年目の勤務であった、戦後日本は凡この面で180度の転換、口を開けば自由・平等・民主主義国家の建設といわれ、教育界でも封建社会より脱皮し民主教育をどう行なうべきか、暗中模索の時代であった。政治・経済・日常生活不安定の社会情勢の中で、青少年健全育成の社会教育はどうあらねばならぬかが、戦前・戦中少年団指導に当たっていた者だけに、心に何かひつかかるものがあった。また少年団がボーイスカウトと改名、その考え方・扱い方にもどういふ変化があったのかも不安であった。そんな気持ちの中で、すべて出なおしのつもりで全く白紙にもどり勉強するつもりでいた。また、この講習のため学校を4日間もあける事についても心配したが、周囲の先生方理解が得られ、一の宮へ出発した。この講習会に参加したのは50名。開講式・日程説明など進

むうちに、主催者県社会教育課担当者から、予定していた日本連盟の講師が都合で来られないと発表があった。そうかといって今になっては何とか日程をこなさなければと思案にくれた中で、受講者中今まで少年団指導経験ある人達に集まってもらうことになった。それで、私もその中に顔を出すことになり、勉強するつもりで来た自分が講師役とは一瞬とまどった。集まった中には、先輩の三沢祐長氏（故人）栗原博氏等々、話し合いで講座を分けあった。その他沼田市から星野氏特別推薦で女性の武井清子さんが参加、紅一点の異例な講習会となった。

早速、講習生は班別・班員に分けられ講習に入った。比較的若かった私がハイキングや縄結びなどの実技面・進行運営面を受け持ち、大変だと思いつつも、昔の経験をもとに一心にやった。特にハイキング（昔は行脚）のコース設定には、未知の富岡なので町案内の地図をたよりに跋涉し、決めるために難儀した。ハイキングコース内の関所には、サイン記号・おき手紙・スカウトベース・測量・手旗信号・救急法・結索法・宝探し・短歌づくり・歌・スケッチ等々の質問・課題があり、農夫・辻地蔵・通行人等に変装した係員の問いかけがあった。

その例(1)

農 夫「みんなは、なんだい」。

スカウト「ボーイスカウトです」。

農 夫「スカウトってなんだい。スカートはいてないじゃないか」。

スカウト一同、爆笑。

スカウト「せつこう（斥候）という意味ですが、ここでは少年団員です」。

農 夫「どんなことやるんかい」。

スカウト一同、三指の敬礼

その例(2)

辻 地 蔵「きみ達は、どこへ行くのか」。

スカウト一同、地蔵が喋べったのでびっくり！

スカウト「ハイキングしているんです」。

辻 地 蔵「じゃあ3つの誓、12の掟、いつてみよ。出来なきゃ道おしえないぞ」。

スカウト一同、しどろもどろ答えたあと、係員とわかって、ギャフン。

班毎通過するスカウト達は、肝をひやしたり、失敗したり、ハプニング・ナンセンスの続出。成績発表は、弥栄でうける。終了後の班報告は傑作揃い。講習生にとっては、作業・実技・演出のための協力・研鑽が、よい思い出の体験学習となったことと思う。

いずれにしても、新生日本の群馬連盟第一回ボーイスカウトの指導者公認講習会だけあって、講習生の意気・相互研修の熱意はすばらしい、そこには戦後発足の新しいボーイスカウトの黎明が感じられた。

そして、この方々を始めとし後続の方々がボーイスカウト県連盟育成発展にご尽力下され、今日あることを思い心から慶ぶものである。

ここに、戦後の遠い昔を回想しつつ拙い筆をおく。 弥栄。

（ボーイスカウト群馬連盟相談役）

30年の歴史に思う

県連組織拡大指導主事 小井戸 哲 夫

県連結成30周年を迎え、記念誌の発行が計画された。思えば昭和24年11月6日、前橋公園のラジオ塔前の広場（現在は児童遊園になっているので昔日の面影はない）に、11隊270余名のスカウトが集合して結成記念の式典を挙げたのが、臉の裏に焼きついている。

CIEに勤務していた星野宏さんのこれに傾けられた情熱はすばらしいものであった。私は昭和23年第1回の指導者講習を受け、スカウト熱にとりつかれてしまった。これら熱病患者が集ってリーダークラブを結成し、ボーイスカウトの隊づくりに努力することを申し合せた。このクラブには沼田の星野宏さん、村沢信夫さん、下仁田の三沢祐長さん、伊勢崎の栗原博さん、水上の須藤範二さんなど戦前のスカウターが顔をそろえ、私のような新参者が前橋在住の故をもって、クラブの世話役をやることになった。こうして沼田・伊勢崎・前橋・太田・佐波東村・豊受村・水上・高崎・桂萱村に隊が生まれ、10隊を越したので県連盟として登録発足させようということになり、私の所属隊の本部である前橋のカトリック教会（当時の神父様はロック・カルバンチェ）で会合を重ね、理事長には往年のスカウターだった群馬大学勤務の藤井勲氏を迎え、私が事務局長ということで発足した。

事務局長の仕事も戦後初めてのことであり、誰も経験していないので、日連のご指導を仰いで、皆で協議しては進めていった。需品の購入についても私の妹に手伝わせ、神父様のジープに乗せてもらっては東京まで出かけて行った。当時100隊を合言葉に努力を重ね、次々に隊が生れていった。30年たった今、65団、123隊、27班、スカウト数2,877名、指導者801名、団委員470名、合計4,147名にまで発展したことは、この運動に携わった多くの方々のおかげで、その功績は長く誌しておかなくてはならないものだろう。

既に物故した関係者、第一線から身を引かれた方も多く、時の経過と共に忘れられやすいので、今度の記念誌は前回の20年誌と共に貴重なものとなるだろう。

最近ボーイ隊の伸び悩みは全国的な傾向ではあるが、この機に関係者一同心を新にして、その原因を考究し、時代にマッチした、少年達や親達のニーズにも合ったスカウト活動を目指し、本県におけるスカウト運動の弥栄をはかろうではないか。



輝かしい発展

県連相談役 高橋 邦 一

昭和24年10月1日高崎第1隊として登録以来30年、当時を省りみて今までは懐かしい思い出の1つです。確か私が育成会長で隊委員長が佐藤熊三さん、隊長が桜井正さんと記憶しています。隊員僅か20名、リーダー2名でしたが高崎市唯一のスカウト団でした。その後27年からは県連役員として奉仕させていただき、その間副理事長、理事、監事、名誉議員等々を歴任させていただき今日では相談役といった名誉職を載き感謝の日々を送っております。それにしても今日の発展は目をみはるものがあります。制服も満足になく、装備もなかった時代をふりか

えり感無量です。地区内の若いリーダーの力と適切な指導とあいまって、今日が達成されたもの
と思います。

この30年を期に青少年の為に更に発展されることを心から念願して止みません。

隊登録（初期）の状況

隊	発団承認日	初期スウト数					備考
		CS	BS	SS	RS	其他	
利根 1 隊	24. 7. 16		33			8	沼田 1 隊となる
前橋 1 隊	24. 8. 3		21			9	
伊勢崎 1 隊	24. 8. 3		25			6	
前橋 2 隊	24. 9. 7		19			4	
利根 2 隊	24. 9. 19		15			4	水上 1 隊となる
佐波 2 隊	24. 9. 19		12			8	
前橋 3 隊	24. 10. 1		26			6	
高崎 1 隊	24. 10. 1		20			7	
太田 1 隊	24. 10. 1		50			7	
佐波 1 隊	24. 10. 1		23			7	
勢多 1 隊	24. 10. 14		13			6	
北甘楽 1 隊	24. 12. 30		11			7	
利根 3 隊	25. 1. 31		11			7	沼田 3 隊となる
前橋 4 隊	25. 2. 21		18			8	
桐生 1 隊	25. 2. 21		32			7	
利根 4 隊	25. 2. 21		12			6	沼田 4 隊となる
北群馬 1 隊	25. 2. 21		14			7	伊香保 1 隊となる
北群馬 2 隊	25. 2. 21		20			8	伊香保 2 隊となる
太田 2 隊	25. 3. 9		29			6	
太田 3 隊	25. 3. 9		29			6	
山田 1 隊	25. 4. 18		14			6	桐生 7 隊となる
多野 1 隊	25. 4. 18		20			7	藤岡 1 隊となる
桐生 2 隊	25. 6. 9		17			8	
前橋 5 隊	25. 6. 17		13			9	
新田 1 隊	25. 6. 17		37			7	
新田 2 隊	25. 6. 17		30			7	
北群馬 3 隊	25. 6. 21		8			8	
北群馬 4 隊	25. 6. 21		10			8	
北群馬 5 隊	25. 6. 26		17			7	
利根 5 隊	25. 6. 26		35			6	

隊	発団承認日	初期スウト数					備 考
		CS	BS	SS	RS	その他	
太 田 4 隊	25. 6. 29		17			6	
利 根 6 隊	25. 6. 29		26			7	沼田 6 隊となる
邑 楽 1 隊	25. 6. 29		18			6	
邑 楽 2 隊	25. 6. 29		16			6	
北 群 馬 6 隊	25. 7. 15		10			6	
利 根 7 隊	25. 7. 18		11			6	沼田 5 隊となる
邑 楽 3 隊	25. 7. 18		33			6	
邑 楽 4 隊	25. 7. 18		35			6	
佐 波 3 隊	25. 9. 14		13			8	伊勢崎 5 隊となる
佐 波 4 隊	25. 9. 14		22			6	伊勢崎 6 隊となる
佐 波 5 隊	25. 9. 25		13			7	
利 根 8 隊	25. 9. 25		23			6	沼田 8 隊となる
北 群 馬 7 隊	25. 10. 30		31			10	
高 崎 2 隊	25. 12. 10		23			7	
高 崎 3 隊	25. 12. 10		24			8	
利 根 9 隊	26. 1. 18		21			7	
利 根 10 隊	26. 1. 18		30			7	沼田 10 隊となる
利 根 11 隊	26. 1. 18		27			7	
利 根 12 隊	26. 3. 20		15			6	
利 根 13 隊	26. 3. 20		20			8	沼田 7 隊となる
邑 楽 5 隊	26. 6. 1		24			6	
甘 楽 2 隊	26. 6. 25		29			8	
利 根 15 隊	26. 7. 10		9			6	
佐 波 6 隊	26. 7. 10		18			7	伊勢崎 7 隊となる
伊 勢 崎 2 隊	26. 9. 15		16			6	
高 崎 4 隊	26. 11. 7		14			7	
高 崎 5 隊	26. 11. 7		20			6	
吾 妻 1 隊	26. 11. 17		10			6	
新 田 3 隊	27. 1. 25		27			7	
新 田 4 隊	27. 1. 25		26			7	

隊	発団承認日	初期スウト数					備 考
		CS	BS	SS	RS	其の他	
高 崎 6 隊	27. 2. 14		22			6	
利 根 14 隊	27. 2. 18		15			7	
高 崎 7 隊	27. 3. 7		43			7	
高 崎 9 隊	27. 3. 7		24			9	
高 崎 8 隊	27. 3. 20		24			8	
北 群 馬 8 隊	27. 4. 8		9			7	
新 田 5 隊	27. 4. 30		12			6	
新 田 6 隊	27. 7. 24		22			7	
新 田 7 隊	27. 7. 24		33			7	
佐 波 7 隊	27. 8. 5		18			7	
高 崎 10 隊	27. 10. 20		29			8	
群 馬 1 隊	27. 11. 13		48			9	
利 根 16 隊	27. 11. 13		28			11	
佐 波 8 隊	28. 2. 3		36			7	
桐 生 3 隊	28. 4. 15		26			8	
群 馬 2 隊	28. 10. 13		48			8	
群 馬 3 隊	28. 不 明		26			7	
伊 勢 崎 3 隊	28. 11. 5		10			8	
高 崎 11 隊	28. 12. 4		59			8	
利 根 17 隊	28. 不 明		15			11	
吾 妻 2 隊	29. 2. 28		19			9	
高 崎 C 1 隊	29. 不 明		9			4	
多 野 2 隊	29. 不 明		9			5	
太 田 5 AIR 隊	29. 7. 29		15			6	
桐 生 4 隊	29. 7. 29		36			11	
伊 勢 崎 4 隊	29. 9. 1		29			8	
桐 生 5 隊	29. 8. 11		10			5	
太 田 4 C 隊	29. 不 明	19				9	
桐 生 6 隊	29. 10. 10		18			6	
高 崎 R 隊	30. 3. 28				8	3	

隊	発団承認日	初期スウト数					備考
		CS	BS	SS	RS	その他	
高崎 11C 隊	30. 4. 1	23				10	
沼田 12 隊	30. 4. 1		15			5	
沼田 2 隊	30. 4. 30		16			10	
太田 R 隊	30. 7. 1				7	1	
伊勢崎 8 隊	30. 10. 14		10			5	
伊勢崎 10 隊	30. 10. 20		不明			6	
利根 18 隊	30. 10. 22		13			10	
伊勢崎 9 隊	30. 11. 23		16			6	
太田 1 C 隊	32. 3. 11	24				8	
沼田 1 C 隊	32. 3. 31	11				5	
桐生 8 C 隊	32. 6. 17	12				6	
桐生 8 隊	32. 6. 25		15			6	

第二部

経験をとおして



スカウト運動の分析と確認

群馬連盟相談役 勝 実 道

ボーイスカウト運動はテムペラメント（素質）とパーソナリティ（人格）とを重点とするキャラクタービルディング（品性陶冶）を目的としているが、ソビエト心理学史をひもどいていると、いみじくもその中にソ連の卓越した心理学者で教育学者でもあるエヌ・カ・クルウプスカヤの“ボーイスカウト運動の組織者によって使われている諸方法の分析”が述べられているので要旨をピックアップする。

“①少年少女というものはすでに小児ではなく彼等の心を引きつける事が出来るのは、少年少女が自分の年齢特有の感動のありたけをもって没頭する事が出来るような成人の理想の外にはない。ボーイスカウト運動の指導者達は、このような理想として、神、王、そして祖国への忠誠をもって来る。発達の程度の低い、経験がとぼしいものでも、どの少年少女でもわかり易い、具体的な、明瞭な、簡単な形式をつける事が必要である。ボーイスカウトに加入する少年少女はめいめいが、自己と拘束し自己の行動全体を明確に方向づける厳粛な約束をすることは年齢の心理学的特殊性とくに外的印象の強い影響が考慮されている。然し、もっと大切なこと、少年少女にとって心理学的な意義をもつことは、ある理想から出てくる十分明瞭な具体的な行動規則が続くということである。

②ボーイスカウト運動は少年少女に活動性を発揮させる為の栄養物を与え、彼等が自分でやりこなせる一連の目的を持たせ、この目的を次第に複雑なものにする。具体的な、十分明瞭な、いくらかの努力によって達成することのできる目標を与え、これをどんどんむづかしく疎遠なものに及ぼしてゆくという方法は極めて大きい心理学的意義がある。少年少女達にもちかけられる特殊な目的が、そのつど一般的な目標と明快な関連がつけられるという要求を、心理学的にすこぶ重要な契機だと考える。遊び、蓄積された力の自由な行使、少年少女特有の自己の才能を発揮したいという願望といった要素を加える事に大いに着眼する。

③ボーイスカウト運動のグループ活動や極めて生活的方法をあまた見抜くことは出来たし、研究者・分析家のメスでもって、それらの心理学的機構を摘出し、これを自己のコムソール（ロシア共産青年同盟—今の全ソ連邦レーニン共産青年同盟の前身）組織の仕事に利用しなければならない。私にとって次の事を指摘することが大切であった。コムソールの活動は各構成員の能動性を自由に羽ばたかせるように組織されねばならない！”

以上の如くボーイスカウト運動で採用されている心理学的に基礎づけられた方法は世界的に最も進んだ、すぐれた教育方法であることを確認することが出来る。

以 上



憶うこと 思い出すこと

県連副連盟長 小野里 和四郎

連盟結成以来30年という歳月は、決して易しい時間ではない。其の間にはすでに故人となられた先輩諸氏、立派に成人されたスカウト諸君、更には県民各位の変らぬご支援のお蔭であると考え。かつての歴史を見るに昭和28年三笠宮殿下をお迎えして全群馬野営大会に1,200名のスカウト諸君が関東全域から参加、再建まもないスカウト運動にとって活気的な事であった。其の後県下全体のスカウト運動は次発展的に向上し昭和39年8月には榛名山沼の原に関東合同野営を実施し多大な成果をことを昨日の事のように思い出される。時の総長三島通陽氏が病いを押して御来場願ひ伊香保温泉で身体を休められてからスカウトたちと語り合つた事を思うと胸が熱くなる。あの頃は組織的にも十分なスタッフがそろわないで事務局担当は大変なものだった。

県野営やジャンボリー参加準備あるいは実修所開設に伴う備品の調達等、なにもない県連の実態だったことを思うと夢のようである。集中豪雨の13回ジャンボリーでは地区野営区の中でびしょぬれになつたのも良い思い出となっている。外国人相手に食糧や医療のお手伝いに夢中になった、こんな所まで来てなんでこんなに苦勞するのかと考えこんだこともあったが仲間同志支えあった良き大人のスカウティングだったと思う。

第6回日本ジャンボリーは北海道千才原で開かれ皇太子殿下ご案内役の大任を任せられ県内スカウト諸君のサイトを廻ったことも生涯の思い出である。ともかく事務局担当の苦勞は大会のたびごとに事のほか大きな負担がかかるものである。雨につけ風につけ、はたまた干ばつにあっても多人数の子供を引卒す裏舞台の苦勞は指導者諸君には仲々理解しにくいと思う。

今後のスカウト運動の発展の上に、そうした苦勞のあった歴史をふまえて歩んで欲しいと思う。殊に県連盟に直接関係する指導者各位の自覚と努力を望みたい。



30年におもう

県連副連盟長 佐山 弥一郎

30周年の、記念すべき年に、初心忘るべからずを、まづおもう。すぎし日の、思い出は数多いが、深く心に残るのは、何と言っても、この道に入った当時のことどもである。31年8月、第1回日本ジャンボリー、その記録映画を、何回も何回もみせられ、その粗野さ、特に男らしい男づくりと聞いて感激、それが私のこの道に入ったきっかけであった。その感激を、こん度は、その翌年身をもって体験した。それは銚子での、関東キャンボリーだった。海岸の松林の中での、キャンプは楽しかった。特に市内パレードでは、町をあげての歓迎ぶりには、これまた感激。更に翌年は、わが町桐生に、産業文化会館オープン。そこで県連結成9年記念大会を行った。諸準

備、特に資金集めに、吉川亀吉氏と市内をあちこち飛び廻った。その人もいまはない。思い出はつきない。それにしても、内に外に、おおぜいの皆さんの、御支持によってつちかわれた、得がたい30年。それに対して、これからの道こそ、けわしく、そして遠い。一步一法しっかりと、踏みしめて、進まねばと覚悟を封にする次第である。

第1回合同キャンプの思い出

拡大指導主事 小井戸 哲 夫

昭和24年8月19日から2泊3日で岩鼻の火薬庫跡で第1回合同野営を行った。これは昭和23年の第1回指導者講習会修了者で結成したリーダースクラブの骨折りで、ボーイスカウト運動が県下各地に盛り上がり、翌年の第2回指導者講習会の受講者の3分の1は第1回の修了者であったことから、いかにリーダーが熱心であったからか、がうことが出来る。24年の7月には早くも沼田で、大先輩星野宏さんのもと戦前のスカウトだった村沢信夫氏を隊長に利根1隊が登録され、続いて伊勢崎の栗原博さんの隊と、前橋のカトリック教会の隊が登録され、前橋、太田、佐波、水上、高崎、勢多、北甘楽、館林等で続々隊結成の動きが見られるようになった。

日本連盟では9月末に皇居前広場で全国大会を1泊2日で行うことになったので、これに参加するための事前訓練を兼ね、併せて県連結成の促進のために合同野営が計画された。記録によると利根1隊、前橋1、2隊、伊勢崎1隊、佐波1、2隊、太田1隊、北甘楽、館林から総勢145名の参加が得られたことになっている。当時のこととて服装もありあわせのものでまちまちだったが、初めての経験に立ち向う少年達の意気は燃えていて、装備の不完全な点を補っていた。

プログラムの細部について記憶していないが、プールがあって泳いだことは覚えている。スカウトはテントに一部幹部はコンクリートの床に毛布にくるまって寝た。私はたまたま18、19日と草津方面の職員旅行に参加していたので、19日は早朝失礼して野営にかけつけた。例によってロック神父様のジープに乗せてもらって会場へ行った。星野さんの案内で軍政部の教育担当のストラウド氏がわれわれと共にキャンプされ一同を感激させてくれた。翌朝裸で起き出してこられたのにはびっくりだった。

群馬のスカウト活動が盛になったのは1つにはストラウド氏やロック神父様の力であり、星野先達や今はない三沢先達の力であると思う。皇居前の全国大会にも多数参加でき、念願の県結成も11隊のスカウトを集めて11月6日に結成式を挙げる事が出来たことを思うと、岩鼻での合同野営は十分その意義を果したと思う。

第 1 回全国大会に参加して

県連名誉会議員 桜井玉寿

戦后初の全国大会は24年9月24・25日東京宮城前広場で開会されることになった。連絡を受けた私達はスカウトを集め毎朝1週間にわたり猛訓練を続けた。服装として何もない、ワイシャツに布に書いた郡市別票や県名票を縫い付け、まがりなりにもスカウトらしき形を整え、学校の大天幕を借用して出発しました。東京駅に着くと各地から集まったスカウトに会う。誰からとわなしに伝わってくる話しに、“日の丸を展げてよいそうだ”“三本指の敬礼が今度許されたよ”との事、私達はこの時丸めてあった日の丸を展げ、スカウトサインでなしに仲間に始めて敬礼をしました。

24日 午後2時日比谷公園に天皇、皇后両陛下、皇太子、義宮両殿下をお迎えして開会式が行なわれました。陛下がお着きになると、誰も指揮をとったわけではないが、自然に感激の万歳が公園にこだましました。アメリカ・ボーイスカウト連盟から 地に金色のスカウト章を浮き出した日本連盟旗が三島理事長に贈られると一斉に喜びの拍手が響きました。続いてスカウト技能の発表、湯わかしゲーム、やぐら立てゲーム等一生懸命に競い合い陛下に御覧戴きました。陛下がお帰りの時も車が見えなくなるまで私達は万歳の声もますます高らかにお送り申し上げたのでした。夜は三笠宮、同妃殿下が御臨席になり大嘗火が行なわれました。“ちよっとごめんさい”と言われて私達を分けて入ってこられた方が後で殿下、妃殿下と解り恐縮致しました。いかに大きいとはいえ一つの天幕に23人、リーダーは天幕から身体半分を出して寝たことを記憶している。炊事にしろ、天幕の立て方にしてもあの頃は五里霧中であった。

25日 午前10時から日連旗を先頭に有楽町-新橋-銀座-日本橋-宮城前をパレード、それこそ10隊10色の服装で、早く揃った正服がほしいと思いました。帰りに戦后始めて森永キャラメルを戴き、希望者に味の素を売ってくれたので土産物が出来た思い出があります。

第 5 回関東カブラリー始末記

コミッションナー 根岸 努

昭和38年頃からブロック別の年少スカウト交歓大会が全国各地で行われるようになったが、関東ブロックでは、41年5月22日千葉市稲毛海岸で開催された第4回関東カブラリーの後を受けて第5回を群馬で担当し、42年4月2日高崎市観音山会場で開催することがきめられていた。刊の群馬県連盟20周年記念誌にこの大会についての記述が少いので、準備のはじめからおわりに至るあらましをここに記録させていただきたい。

第1回会合 昭和41年10月17日(月)、19時～21時、於高崎カトリック教会。

出席者： 金井佐伝県副コミ、斉藤清治高崎地区コミ、薄井昇高崎7団CS隊長、根岸努。

鈴木武雄理事長の要請をうけて、高崎地区は開催地として積極的に協力する決議がされ、つぎの手順がくまれた。

(1)富岡第1団発団式(11月23日)には、約500名を参加させる。(2)指導者夕食会を11

月5日に開き、協力をうるための地区内ガールスカウトリーダー全員を招待する。(3)カプラー実施要項草案を了承、趣旨徹底につとめる。団委員長、育成会長、隊長はすべて何らかの役割を分担すること。

第2回会合 11月2日(水)、19時～22時、鈴木理事宅。

出席者：鈴木武雄、佐藤春重、小野里和四郎、桜井玉寿、金井佐伝、吉川亀吉、斉藤清治、根岸努。

(1)要項案見直しと予算案作成。(2)理事会にて次の各項を決議していただきたい。

イ、実行委員会の組織 ロ、群馬県、高崎市補助金申請 ハ、全県団代表者会議を開催。

全県団代表者会議 11月13日(日)、大間々町ながめ遊園地。午前中県連盟理事会が開かれ第2回会合の要望事項が承認され、実行委員会が組織され各部長がきまる。

実行委員会(第1回総務部長) 42年1月21日(土)、18時30分～21時。於高崎カトリック教会。

出席者：小野里、根岸、柳田、曾根、中里、金井、斉藤。

決定事項：要項、申込票等の作成配布。参加章(バッジ)、記念品等の発注。高崎フェアリーランド(株)との交渉委員選出。分担役割の確認。

高崎フェアリーランド(株)との打合せ会。1月27日(金)、10時～12時。

出席者：BS-小野里、根岸、金井、曾根、吉田一郎高崎市社教青少年係長。

会社一天田社長、西沢経理課長、小田切上信電鉄観光係長。

了解事項：無料入園、施設設置、園内での食品(ヤキマンジュウ、ミルク等)配給、ポスター会社負担で作成等、会社側の全面協力が得られることになる。

関東ブロック県コミ打合せ会

2月26日全国県コミ研究協議会へ出席した桜井県副コミより関東ブロック当番県の神奈川連盟に対し、3月4日(土)～5日(日)、高崎市錦山荘に於て臨時ブロック会議を開催できるよう招集要請。

実行委員会部長会議 2月27日(月)、16時～22時 於高崎カトリック教会。

出席者：吉田社教係長、金井行事部長、布施救護部長、小野里総務部長、斉藤施設部長、薄井副施設部長、吉田(高一6)団委員長、根岸。

片岡小学校、高崎高等学校々庭使用の件。アーチ、横断幕その他施設について。ホームステイの受入準備。他県リーダーのため高崎青年の家(4月1日～2日)宿泊申込等につき審議さる。当日までの申込中間集計は、48団、2,235名と発表。

関東ブロック会議 3月4日(土)、17時～5日12時、於錦山荘。

各県代表と群馬の実行委員会正副部長が出席。群馬代表より経過報告後、調整を要する細部のつめが行われる。参加申込予定数は遂に 名を超える。この会議に出席された県代表の殆んどの方々は健在で、いま日本連盟の運営委員長、副国際コミッショナー、評議員、中央審議会議等として活躍しておられる。

県連理事会 3月5日(日)、13時～17時 於高崎市青雲塾。

団割当分担の集金、銀行よりの借入、委嘱状の作成等についてきめる。

実行委員会 3月18日(土)～19日(日) 於錦山荘

出席者：鈴木、星野、三沢、佐藤、小野里、吉川事務局長、布施、桜井、金井、根岸他高崎地区育成会長、団委員長及び隊長(33名)。

全般及び各部経過報告後、各部毎の会議が開かれ、零時30分まで熱のこもった討議がなされ、

第1日を終る。

第2日は朝9時より現地実地踏査を行い、私有地借用交渉もあわせて行う。雨天プログラムは昨夜の会議で行事部より報告があったので全員ほっとして解散。

陸上自衛隊12師団訪問 3月25日(土)、7時～10時30分。早朝現地再踏査後、佐藤、金井、根岸の三名で第12師団音楽隊とレジュー隊の協力依頼のため師団司令部を訪問。

リハーサル 3月26日(日)、9時40分～12時。

開会式、各会場への誘導(距離、所要時間、移動、遊器具使用、駐車等)、会場内売店への挨拶、帰路の列車時刻案内等々

警備部誘導班会議 3月29日(水)、19時～22時 於岩田正男18団々委員長宅。

出席者： 小野里、根岸、岩田、吉田(16団)、金井、武井久男、江原他関係隊長(計14名)。

(1)妙義、榛名、赤城の三誘導班 班長： 岩田、吉田、江原

(2)駐車場及び警察との連絡 約108名のバスの駐車場への誘導整理の問題、警察との打合せ等は武井久男隊長が実務経験を生かして手配終了との報告あり。正式参加申込者遂に5,800名を突破す。よって県内スカウトへの参加章配布はあとまわしにせざるをえなくなる。

以上は、開催決定から最終準備終了時までの経過を、主として総務部日誌に基づいて列記したものである。したがって他部門の活動の詳細についてはふれていないが、あらましについてはお判りいただけると思う。大会当日の模様については皆様の追憶にまかせて省略したい。ただ上州名物ヤキマンジュウをオヤツとして参加者全員に一串づつ食べていただいたのであるが、トラクター一台分の申さし作業は、気の遠くなるような仕事であったことをなつかしく思い出すことである。奉仕いただいた高崎のガールスカウトリーダーの方々で他県へ嫁がれた方々もあるが、高崎のふるさと祭の折等にお会いすると当時をおもいだして話しがはずむ。心よりお礼申しあげる。

なお、高崎市御当局は、住谷啓三郎市長、吉井英太郎議長、内藤由己男教育長はじめ教育委員会社会教育課あげての後援体制をくまれ、特に吉田一郎青少年係長には終始献身的な奉仕をいただいた。12年後のいまあらためて感謝の誠を捧げる。



ジャンボリースカウト

理 事 竹 田 賢 一

桐生地区では、戦前に少年団という官制のものがあるが、赤城山大洞湖畔で2泊3日の合宿訓練をしたことを覚えている。ボーイスカウトという名を知ったのが、昭和31年輕井沢で第1回ジャンボリーが開られた時で、全国各地から多勢のスカウトに交って、大人も同じような服装している、あの人達はどういう人なのだろうと思ったが、よもや私も制服組に入ったのは、息子が昭和37年第3回日本ジャンボリーがあった年に、友達が皆富士山麓へキャンプに行くので、入団したいというのがキッカケで入った。ジャンボリーの年にはスカウトの入団希望が増えるので、その人々をジャンボリースカウトと当時は言ったものでした。

私は育成会の書記をやらされたので、広報発行を思い立ち、タブロイド版で、第1号は大宮カブラリーを特集として毎月発行し、昭和46年までガリ版刷りで配った。記事取材に隊行事に参加するうちリーダーにさせられ、昭和39年カブ1隊・2隊を青山・竹田のコンビで隊長を務めることとなった。

桐生地区のルーツを探ると、県連発足の昭和24年に1隊（当時団をそう呼んだ）があり、隣村に山田1隊があり、その後分れて4～7隊が発団している。当時は、育成会と団の組織が弱く、リーダーのみ中心になって動いていたので、リーダーが転任や、仕事の関係で活動出来なくなると、自然と休団していつてしまった。そこで4団グループが中心になって、スカウト倍增運動と共に、若桐生成会－若い桐（スカウト）を育てる会－が出来て、神奈川・埼玉方式で新団が出来ると需品（テント・隊旗等）充足していったので毎年のように新団が出来ていきました。

指導者も新団の団委員長に登用していきましたので、新旧の交賚が計れ、指導者養成も盛んで、実修所修了者が増え、今日の訓練チームのメンバーが生れ、隊を指導するコミッショナーグループが充実しました。地区協議会も、各種委員会が専門分野で、各団、団委員を統合して活躍し、過日のカブラリーは、各種委員会メンバーにより運営されました。スカウトの実際訓育面を隊、運営面を団が司り、育成会がうしろだてとなって、桐生地区1,300名がカミあって活動しています。

毎日どこかの集会所では、ボーイスカウトの集会がひらかれ、B・Sの名で市民の間でも通っております。過日ヨーロッパ派遣スカウトの座談会で、8団の動機を開いた時、足を通学途中でケガしたら、ボーイスカウトの人が自転車のうしろに乗せて家までつれていつてくれたので、僕も大きくなったらボーイスカウトに入ろうと、その時心に決めて入団したという、スカウングが日常社会の中で実ることを今後も祈って止まない。



変 遷（ひとりごと）

理 事 坂 本 栄 治

国際児童年の意義ある時に、群馬県連盟創立30周年記念誌が発展されますことは、先人が開拓しつづけてきた奉仕の集大成と、県連がひたすら培ちかった謙虚な伝統を一節として格調づけ、将来への贈物として、その足跡を記することに敬意と賞讃を呈するものであります。

ひ と り ご と

諸兄、20周年（成人の年）～30周年（躍進の年）への一節の課程として、その内で特に県連盟の運営面での改進として挙げられる「あしあと」は何でありましょうか。かねてより提唱してまいりました、県連盟の各種運営委員会の委員会活動と言えるのではないのでしょうか。

申すまでもなく、この委員会活動の活潑な推進こそは県連盟の大きな核として、理事会を躍動させ、ひいては加盟員へのサービスの原動力となる性格をも具備していると言えるのではないのでしょうか。そしてこの委員会活動を通して、当事者は職責の自学と指導者の倫理感を体得し奉仕の場がえられる厳粛な行為を神に感謝するでありしやう。特に委員会の活動費も逐年計上され承認を得ておりますように、10年のあしあとは、向上の意図をもって変遷をしております。高度

な活動を期待するべく設けられておるものと思すべきではないでしょうか、20周年～30周年への移り変りの内で特筆されべき嵩高な事実でありましょう。斯の様に県連盟が着実に役務に努力を重ね、とぼしい財源のなかからも、各種運営委員会の活動費を計上、執行する願いは、重視をしておるの一語ではないでしょうか。県連盟より各種運営委員の御委嘱を賜っております各委員の諸兄にささやかな「ひとりごと」を広く申しあげたい、そして、30周年～次の周年まで、委員会の活動を、加盟員のものとするべく、献身的な奉仕を、求めてやまぬ友に、萬腔の敬意と感謝を捧げ「ひとりごと」を申しあげます。

盟友に捧ぐ 面壁九年 スカウトに捧ぐ 白日閑過する莫れ

スカウト随想

県副コミッショナー 井出存祐

○甦えった歴史

戦後の困難な時代に、スカウト運動が芽生えて30年の歴史を刻む。実に素晴らしい歴史である。本県スカウト運動の源流は大正7年2月11日に溯る。このことは現在のスカウター諸賢にあまり知られていない。この甦えった30年の間に幾多の先輩指導者の努力に対し心から敬意をはらいたい。スカウト運動は「組織体の訓練」であるという。またある先人は「解散から集合まで」の訓練であると言う。多くのスカウトたちかスカウトに所属しそして離れて行った。

進学や就職やその他の理由で団を去っていったかつてのスカウトたち。私の目の前から身近かな彼らが巣立って行った。おそらく県下全体では数千の子供たちが巣立ったことだろう。この30年の間。本当のスカウトとして甦えっいて欲しい。

○人生はゲームか。

スカウティングはゲームであるといわれる。創始者B-P郷は「スカウティングの著しい特長は、その課程というよりむしろその方法にある。少年たちに正しいことをやらせ、正しい習慣を身につけさせるように導いて行く組織的な計画として、スカウティングは最も理想的である」と言われる。少年たちに習慣を形成させ、自立心、自信、自制心を積極的に導くこと。班や隊の活動を経験した彼らが「いかに生きべきかということ教えること」が出来ただろうか。個人の歴史をみると常に生、老、病、死の苦しみがついて廻っている。こうした精神的、肉体的な苦悩を克服するための自立心、自信をどれ程のスカウトが感知したろうか。こうしたことについてB-Pは「隊長の人格と能力が物を言う」と教えている。多くの隊長、指導者たちの見識の発展を望みたい。

○選考もれスカウト

先日私の元スカウト君に久しぶりに出会った。ひとときの会話の中に「スカウト時代が懐かしいですよ」と言う。20代前半の若き隊長時代のスカウトである。彼れはジャンボリーに行けなかった。当然のこととして処理した私の判断に彼れは忠実であった。数年たった後立派な社会人となり他の人よりも数倍の社会人性を身につけていた。某社の運動部監督として各種大会やら国体で優勝させている。「なくてはならない人」になっていた。彼れは自立心を自ら養ってくれた。スカウト時代の男らしさ、気前のよさが正しく、より強くたくましく育っていた。「ジャンボリ

ーに連れて行かないで済まなかった」私の脳裏はそれが残っている。しかし、今こそ立派なスカウトになった彼れの姿に私は本当に感謝した。かつての選考もれスカウトが私の心にムチ打ってくれた。

○敬虚な心

多くの指導者たちが、キャンプ技術やその他の技能を身につけていても、スカウトたちに敬虚な心を芽ばえさせる技能を持ってないことは残念である。日本のように各種の宗教が自由に存在する国では事の外難かしいのだろうが…B-Pは「教えられるのではなく、捉えさせるのだ」と言っている。この言葉を充分学習すべきである。多くの指導者にはげ腰になっている。人間性の問題、内在せる信念の問題を開発させてこそ本当のスカウティングになる。スカウターの多くは「よそ行きを着る」だけの信仰で終わっているのではなかろうか。外側だけ着飾ってみても魂の発展や仏性開顯はない。ちかいやおきては何んのために存在するのか原点に立ち還って考えてみる必要がある。スカウトユニホームは名誉ある制服である。着られる価値に値するスカウトを育てたい。

自発活動随想

副コミッショナー 高橋和男

昭和24年11月6日前橋公園において結成式を挙行以来30年の歳月がたった。この間には多くの人たちが当県連盟をささえ、発展させた功労に深く感謝しなくてはなりません。私はこの先輩たちの志をうけつぎ、そして次代へひきつぐ責務を強く感じる次第です。

スカウティングの目的は青少年が身体的、精神的、心理的、社会的に成長し、よき公民（社会人）になることであり、その方法として班制度、進歩制度と野外の活動を通じて行い、その前提となるのが自発活動であるということはすでに承知のとおりです。

ところで最近よく目にし、耳にするものに五無主義、三エッチというものがあります。五無とは無気力、無責任、無関心、無感動、無作法をいい、三Hとは非行、非常識、非力をいうのだそうです。私たちが接しているスカウトたちも、けつして特別な子どもではなく、ごくあたりまえの子どもたちですので、前記の五無、三Hでないとは申せません。しかし世間からスカウティングが注目されているのは、ご両親がたと隊長、副長やデンマザー等の隊指導者の懸命なご努力によりつくられるプログラムによって、スカウトたちに興味をいだかせ、やる気を起させるいわゆる自発活動を推進しているからだと思います。

BP郷が書いた「スカウティング・フォー・ボーイズ」をうばいあうようにして読み、自分たちで班をつくり、活動を始めた当時のイギリスの少年たちのすさまじい情熱が無名のスカウトの善行としてアメリカに紹介され、世界中に広まったのも、これ自発活動以外のなにもものでもなかったのです。戦後再開されたわが国のスカウティングも、BP郷の時代とその目的、精神は少しも変わっておりません。しかしその手法は時代と共に変化しつつあります。前記の五無、三Hに対応するためのもその一つであります。「温故知新」はわれわれに与えられたテーマと受けとめ、さらにすばらしき発展へつなげねばと思います。

第三部

奉仕された人々と表彰の記録

曆代県連役員

結成時から日連規約改正時迄

結成時に奉仕された県連役員

昭和27年11月9日より奉仕された県連役員

24. 11～27. 10間

27. 11～29. 12間

理事長	藤井 勲
副理事長	星野 宏
〃	小倉 国吉
理事	ロック・カルパンチェ
〃	須藤 範二
〃	武内 正隆
〃	立川 浩三
〃	栗原 博
〃	篠田 義祐
〃	高橋 喜代次
〃	根岸 金次郎
〃	松本 宗蔵
〃	佐藤 熊三
〃	三沢 祐長
監事	巷野 英太郎
〃	角田 儀平治
事務局	
事務局長	小井戸 哲夫
指導主事	栗原 博
〃	北条 富司
〃	須藤 範二
〃	桜井 正
〃	村沢 信夫
〃	八巻 信生
〃	橋本 坦
主事	金 策 栄
名誉顧問	群馬県知事
顧問	県会議長 教育委員会委員長 教育長 警察隊長 上毛新聞社長

連盟長	北野 重雄
副連盟長	河野 孝
〃	小島 軍蔵
理事長	河野 孝
副理事長	角田 儀平治
〃	小井戸 哲夫
県コミッショナー	星野 宏
指導者養成委員長	三沢 祐長
野営行事委員長	村沢 信夫
進歩委員長	勝 実道
健康安全委員長	桜井 行美
財政委員長	細谷 浅松
組織拡張委員長	上田 由一
学識経験者理事	武内 正隆
〃	丸岡 興舜
〃	小野塚 静二
〃	田島 暎
第一地区委員長	高木 良三
第二 〃	久田 茂一郎
第三 〃	藤枝 泉介
第四 〃	高橋 邦一
第五 〃	柳沢 千太
第六 〃	鈴木 武雄
監事	百瀬 玉雄
〃	高橋 一三
事務局長	星野 宏
事務局職員	塩野 栄一
県副コミッショナー	小井戸 哲夫
〃	三沢 祐長
名誉会議員	西ヶ久保 重光
〃	増田 彦七
〃	小倉 国吉
〃	栗原 博
〃	巷野 英太郎

歴代群馬県連盟 先達顧問相談役

結成時 名誉顧問 群馬県知事
 顧問 県会議長、教育委員会委員長
 教育長、警察隊長、上毛新聞社長

役 職	就 任	退 任	氏 名	備 考
顧 問	昭 3 0	昭 3 2	伊 能 芳 雄	
"	"	"	篠 原 秀 吉	
"	"	"	河 野 孝	
"	昭 4 1		中 曾 根 康 弘	現
相 談 役	"	昭 4 2	飯 塚 国 蔵	
"	"	"	深 沢 好 之	
"	"	"	久 保 田 茂 一 郎	
"	"	昭 4 6	野 口 喜 一 郎	
"	"	"	小 野 塚 静 二	
"	"	昭 4 2	腰 塚 治 男	
先 達	"		星 野 宏	現
相 談 役	昭 4 2	昭 4 8	小 井 土 哲 夫	
"	"	昭 4 7	鈴 木 武 雄	故 (47)
"	昭 4 3		北 条 富 司	現
"	昭 4 6		後 藤 竜 堂	現
"	"	昭 5 1	吉 川 亀 吉	故 (51)
"	"		高 橋 邦 一	現
"	"	昭 4 8	工 藤 友 吉	
"	"	昭 4 7	徳 永 十 四 男	故 (47)
先 達	"	昭 5 3	三 沢 祐 長	故 (53)
相 談 役	昭 4 7		勝 実 道	現
"	"	昭 4 8	佐 山 弥 一 郎	
"	"	昭 5 2	榎 原 政 治	故 (52)
"	昭 4 9		村 沢 信 夫	現
顧 問	昭 5 2		神 田 坤 六	現
相 談 役	昭 5 3		工 藤 友 吉	現
"	"		立 川 弁 祐	現

(註) 現相談役任期昭56年度総会迄

歴代県連盟役員

(S30. 1 ~ 55. 3. 31迄)

職年	30.1~32.3	32.4~33.3	32.4~33.3	33.4~35.3	33.4~35.3	35.4~36.3	35.4~36.3
連盟長	北野 重雄	竹腰 俊蔵		竹腰 俊蔵		竹腰 俊蔵	
副連盟長	黒沢 得雄 久保田茂一郎	黒沢 得男 久保田茂一郎		黒沢 得男 久保田茂一郎		黒沢 得男 久保田茂一郎 三沢 祐長	
理事長	星野 宏	小井戸哲夫		勝 実道		勝 実道	
副理事長	武内 正隆 高橋 邦一	高橋 邦一 丸岡 興舜		正田 豊作 丸岡 興舜		小野塚静二 森田 嘉蔵 丸岡 興舜	
事務局長	後藤 竜堂	後藤 竜堂		桜井 玉寿		北条 富司	
理事	鈴木 武雄 持丸理喜男 勝 実道 正田 豊作 横内甲子吉	後藤 竜堂 村沢 信夫 三沢 祐長 正田 豊作 北条 富司 星野 宏 山口 好見 鈴木 武雄 岡田徳次郎 大島 宗作 栗原 博 荻野今朝造 中島 勇三 勝 実道 牧野 房男 工藤 友吉 横内甲子吉 栃原 潤	石坂 吉寿	山口 好見 高橋 邦一 横内甲子吉 大島 宗作 武藤 敏夫 鈴木 武雄 森田 嘉蔵 吉川 亀吉 野村 勇 森 正雄 高橋 徳江 松村 節夫 牧野 房男 上田 由一 工藤 友吉 福田 実 栃原 潤 須藤 範二	星野 徳寿 鈴木 忠 阿部 四郎	森 正雄 徳永十四男 小林武四郎 下塚 敏良 栗原 博 松村 節夫 牧野 房男 上田 由一 工藤 友吉 福田 実 須藤 範二 星野 徳寿 佐藤 英三 鶴渕 正美 下山 常治 高橋 邦一 横内甲子吉 大島 宗作	野口喜一郎 栗原国太郎 野口 馨
監事	小野塚静二 佐川 一衛	小野塚静二 山口 茂		小野塚静二 榎原 政治		榎原 政治 佐山弥一郎	
県コミ	三沢 祐長	村沢 信夫		星野 宏		星野 宏	
副コミ	村沢 信夫 桜井 玉寿	北条 富司		小井戸哲夫 北条 富司 後藤 竜堂		後藤 竜堂 村沢 信夫	
名誉会議員	丸岡 興舜 増田 彦七 植松 勝次 小井戸哲夫	星野 宏 三沢 祐長 植松 勝次 竹内 正隆 佐川 一衛		栗原 博 村沢 信夫 岡田徳次郎 荻野今朝造 富沢 宏		松本 庄八 古川 清司 荻野今朝造 富沢 宏	

職年	36.4~37.3	36.4~37.3	37.4~38.3	37.4~38.3	38.4~39.3	38.4~39.3	39.4~40.3
連盟長	神田 坤六		神田 坤六		神田 坤六		神田 坤六
副連盟長	黒沢 得男 久保田茂一郎		田村 逐 大島 宗作		大島 宗作 三沢 祐長		田村 逐 三沢 祐長
理事長	勝 実道		勝 実道		勝 実道		勝 実道
副理事長	小野塚静二 森田 嘉蔵 丸岡 興舜		野口喜一郎 徳永十四男		野口喜一郎 徳永十四男		野口喜一郎 北川 好雄
事務局長	吉川 亀吉		吉川 亀吉		吉川 亀吉		吉川 亀吉
理事	高橋 秀雄 高橋 邦一 横内甲子吉 大島 宗作 野口喜一郎 栗原国太郎 森 正雄 徳永十四雄 小林武四郎 下城 敏良 栗原 博 松村 節夫 牧野 房男 上田 由一 工藤 友吉 福田 実 須藤 範二 星野 徳寿	鶴渕 正美 野口 馨 下山 常治 佐瀬 英三	森田 嘉蔵 福田 実 村沢 信夫 工藤 友吉 佐山弥一郎 佐藤 英三 榎原 政治 佐藤 春重 森泉 賢吾 ルン アン 小林武四郎 浅香 晃 小野里和四郎 塚越 敏彦 吉田 良八 小野塚静二 上田 由一 栗原国太郎	久保 茂 五十木朝雄 下山 常治 須藤 範二 星野 徳寿 丸岡 興舜 横内甲子吉 高橋 巖 久保田茂一郎 下城 敏良 栗原 博 松村 節夫	工藤 友吉 福田 実 村沢 信夫 森田 嘉蔵 榎原 政治 佐藤 英三 佐藤 春重 森泉 賢吾 ルン アン 浅香 晃 小野里和四郎 塚越 敏彦 吉田 良八 小野塚静二 上田 由一 栗原国太郎 久保 茂 下山 常治	須藤 茂 星野 徳寿 久保田茂一郎 下城 敏良 栗原 博 松村 節夫	徳永十四男 森田 嘉蔵 工藤 友吉 佐藤 春重 森泉 賢吾 須藤 茂 栗原 博 塚越 俊彦 鈴木 武雄 福田 実 松村 節夫 小野里和四郎 浅香 敏子 服部 政美 布施 賢一 深沢 長平 正田 宗蔵 沢田 満
監事	榎原 政治 佐山弥一郎		高橋 邦一 渋谷 羨夫		高橋 邦一 渋谷 羨夫		小野塚静二 榎原 政治
県コミ	星野 宏		星野 宏		星野 宏		星野 宏
副コミ	後藤 竜堂 村沢 信夫		後藤 竜堂 村沢 信夫		村沢 信夫 後藤 竜堂 桜井 玉寿		金井 佐伝 佐山弥一郎 斉藤 清治 村沢 信夫
名誉会議員	松本 庄入 古川 清司 荻野今朝造 富沢 宏		小井戸哲夫 北条 富司 桜井 玉寿 古川 清司		小井戸哲夫 北条 富司 古川 清司		小井戸哲夫 北条 富司 村沢 信夫 桜井 玉寿 後藤 竜堂

職年	39.4~40.3	40.4~41.3	41.4~42.3	41.4~42.3	42.4~43.3	43.4~44.3	44.4~45.3
連 盟 長		神田 坤六	神田 坤六		神田 坤六	神田 坤六	神田 坤六
副連盟長		田村 逐 三沢 祐長 飯塚 国蔵	田村 逐 三沢 祐長		田村 逐 三沢 祐長	三沢 祐長 佐藤 春重	三沢 祐長 佐藤 春重
理 事 長		鈴木 武雄	鈴木 武雄		勝 実道	勝 実道	勝 実道
副理事長		野口喜一郎 徳永十四男 佐藤 春重	佐藤 春重 徳永十四郎 小野里和四郎		福田 実 佐藤 春重 徳永十四男	福田 実 小野里和四郎 佐山弥一郎	福田 実 小野里和四郎
事務局長		吉川 亀吉	吉川 亀吉		小野里和四郎	小野里和四郎	小野里和四郎
理 事	宮沢 一典 曾我喜一郎	福田 実 工藤 友吉 栗原 博 森泉 賢吾 小野里和四郎 塚越 俊彦 須藤 茂 服部 政美 布施 賢一 深沢 長平 沢田 満 宮沢 一典 曾我喜一郎 吉川 亀吉	栗原 博 福田 実 吉川 亀吉 榎原 政治 塚越 俊彦 森泉 賢吾 横内甲子吉 布施 賢一 服部 政美 深沢 長平 須藤 茂 曾我喜一郎 今井 和夫 柳田 栄一 八田 要 奥寺 郁三 平出 光男 仲 作治	工藤 友吉 原沢 益己	今井 和夫 岩田 正男 奥寺 郁三 小野里和四郎 工藤 友吉 栗原 博 坂本 栄治 佐野 金作 佐山弥一郎 野口 潔 原沢 益己 布施 賢一	岩田 正男 奥寺 郁三 小野里茂作 上村 英夫 栗原 博 佐野 金作 高橋 正信 徳永十四郎 根岸 努 野口 潔 原沢 益己 布施 賢一 古川 清司 堀口万亀蔵 三浦 幸蔵 宮沢 一典 森田 嘉蔵	上村 英夫 栗原 博 桜井 玉寿 佐野 金作 渋谷 羨夫 高橋 正信 立川 弁祐 根岸 努 野口 潔 原沢 益己 平方 敏郎 布施 賢一 古川 清司 堀口万亀蔵 三浦 幸蔵 宮沢 一典 茂原 博 森田 嘉蔵
監 事		小野塚静二 榎原 政治	高橋 邦一 渋谷 羨夫		高橋 邦一 柳田 栄一	榎原 政治 工藤 友吉	榎原 政治 工藤 友吉
県 コ ミ		勝 実道	勝 実道		桜井 玉寿	桜井 玉寿	佐山弥一郎
副 コ ミ		桜井 玉寿 金井 佐伝 古川 清司	桜井 玉寿 金井 佐伝 古川 清司 高頭 和之		金井 佐伝 渋谷 羨夫 立川 弁祐	金井 佐伝 渋谷 羨夫 立川 弁祐	井出 存祐 斉藤 清治 高頭 和之
名誉会議員		小井戸哲夫 北条 富司 村沢 信夫 後藤 竜堂 星野 宏	星野 宏 小井戸哲夫 北条 富司 村沢 信夫 後藤 竜堂		北条 富司 後藤 竜堂 星野 宏 村沢 信夫 吉川 亀吉	後藤 竜堂 高橋 邦一 星野 宏 村沢 信夫 吉川 亀吉	後藤 竜堂 高橋 邦一 星野 宏 村沢 信夫 吉川 亀吉

職年	4 4.4~4 5.3	4 5.4~4 6.3	4 5.4~4 6.3	4 6.4~4 7.3	4 6.4~4 7.3	4 7.4~4 8.3	4 8.4~4 9.3
連 盟 長		神田 坤六		神田 坤六		神田 坤六	神田 坤六
副連明長		佐藤 春重 勝 実道		佐藤 春重 勝 実道		佐藤 春重 福田 実	佐藤 春重 福田 実
理 事 長		福田 実		福田 実		渋谷 羨夫	渋谷 羨次
副理事長		渋谷 羨夫 根岸 努		根岸 努 渋谷 羨夫		桜井 玉寿 柳田 栄一 小野里和四郎	柳田 栄一 小野里和四郎
事務局長		小野里和四郎		小野里和四郎		小野里和四郎	小野里和四郎
理 事	坂木 栄治	桜井 玉寿 石田 忠次 岡部 広八 大竹 利作 青山 寿延 平方 敏郎 野口 潔 奥寺 郁三 上村 英夫 坂本 栄治 小野里和四郎 柳田 栄一 栗原 博 牛久保三郎 羽鳥邦三郎 岩田 正男 立川 弁祐 河野口雄三	小板橋典聖 原沢 益己 戸所文太郎	桜井 玉寿 平方 敏郎 野口 潔 奥寺 郁三 上村 英夫 坂本 栄治 小野里和四郎 柳田 栄一 栗原 博 牛久保三郎 羽鳥邦三郎 岩田 正男 立川 弁祐 河野口雄二 小板橋典聖 原沢 益己 戸所文太郎 江原 太郎	田部井悟郎 古川 清司	古川 清司 平方 敏郎 江原 太郎 河野口雄三 田部井悟郎 上山 明 竹田 賢一 堂前 久雄 坂本 栄治 岩田 正男 三沢 祐長 星野 宏	平方 敏郎 上村 英夫 鳥屋 昇 河野口雄三 福島 正次 上山 明 堂前 久雄 坂本 栄治 岩田 正男 根岸 努
監 事		榎原 政治 中里昭五郎		榎原 政治 中里昭五郎		中里昭五郎 青木 次男	中里昭五郎 青木 次男
県 コ ミ		佐山弥一郎		佐山弥一郎		根岸 努	青山 寿延
副 コ ミ		井出 存祐 齊藤 清治 高頭 和之		高頭 和之 井出 存祐 齊藤 清治		齊藤 清治 高頭 和之 井出 存祐 青山 寿延	高頭 和之 新藤 信夫 井出 存祐
名誉会議員		村沢 信夫 新藤 信夫 小内 安蔵 布施 賢一 高橋 弘		村沢 信夫 新藤 信夫 小内 安蔵 布施 賢一 高橋 弘		小内 安蔵 新藤 信夫 布施 賢一 薄井 昇 村沢 信夫	竹田 賢一 布施 賢一 小内 安蔵 桜井 玉寿 村沢 信夫

職年	49.4~50.3	50.4~51.3	51.4~52.3	51.4~52.3	52.4~53.3	52.4~53.3	53.4~54.3
連盟長	神田 坤六	神田 坤六	清水 一郎		清水 一郎		清水 一郎
副連盟長	佐藤 春重 小野里和四郎	佐藤 春重 小野里和四郎	佐藤 春重 小野里和四郎 佐山弥一郎		佐山弥一郎 小野里和四郎 佐藤 春重		佐山弥一郎 小野里和四郎 佐藤 春重
理事長	渋谷 羨夫	渋谷 羨夫	渋谷 羨夫		渋谷 羨夫		渋谷 羨夫
副理事長	柳田 栄一 根岸 努	根岸 努 柳田 栄一	根岸 努 柳田 栄一 小井戸哲夫		小井戸哲夫 柳田 栄一		小井戸哲夫 鳥屋 昇
事務局長	柳田 栄一	柳田 栄一	柳田 栄一		柳田 栄一		柳田 栄一
理事	森田 由雄 平方 敏郎 鳥屋 昇 福島 正次 上山 明 堂前 久雄 岩田 正男 椎名千寿夫 郡司 博 山田 実 小内 安蔵 竹田 賢一 坪野 茂 上村 英夫 布施 賢一 中里昭五郎 河野口雄三 田部井悟郎	森田 由雄 坂本 栄治 平方 敏郎 椎名千寿夫 鳥屋 昇 山田 実 福島 正次 小内 安蔵 堂前 久雄 竹田 賢一 上山 明 坪野 茂 上村 英夫 布施 賢一 中里昭五郎 岩田 正男 河野口雄三 田部井悟郎	中村 盛男 堂前 久雄 椎名千寿夫 星野 忠夫 鳥屋 昇 高橋 正信 福島 正次 小内 安蔵 青木 治郎 竹田 賢一 上山 明 藤井 竜人 森山 照夫 向田 恒三 高橋 亜夫 戸所文太郎 青木 次男 上村 英夫	布施 賢一 中里昭五郎 江原 太郎 岩田 正男 河野口雄三	中村 盛男 堂前 久雄 椎名千寿夫 星野 忠夫 鳥屋 昇 高橋 芳平 福島 正次 小内 安蔵 青木 治郎 竹田 賢一 上山 明 藤井 竜人 森山 照夫 向田 恒三 高橋 亜夫 戸所文太郎 青木 次男 上村 英夫	布施 賢一 中里昭五郎 江原 太郎 岩田 正男 河野口雄三	堂前 久雄 柳田 栄一 高橋 芳平 福島 正次 小内 安蔵 青木 治郎 竹田 賢一 上山 明 森山 照夫 向田 恒三 戸所文太郎 青山 寿延 中里昭五郎 江原 太郎 岩田 正男 河野口雄三 橋本 力 鳥毛 一郎
監事	青木 次男 青木 治郎	青木 次男 青木 治郎	坪野 茂 郡司 博		郡司 博 坪野 茂		郡司 博 坪野 茂
県コミ	青山 寿延	青山 寿延	青山 寿延		根岸 努		根岸 努
副コミ	高頭 和之	新藤 信夫	新藤 信夫		新藤 信夫		新藤 信夫
	新藤 信夫 井出 存祐	高橋 和男	高頭 和之 高橋 和男		高頭 和之 周東 正治 高橋 和男 石島 彰		高頭 和之 周東 正治 高橋 和男 井出 存祐
名誉会議員	桜井 玉寿 福田 実 齊藤 清治 佐山弥一郎 小井戸哲夫	福田 実 桜井 玉寿 齊藤 清治 佐山弥一郎 小井戸哲夫 高頭 和之	森田 由雄 平方 敏郎 荒木 精一 齊藤 清治 桜井 玉寿	坂本 栄治 福田 実	平方 敏郎 荒木 精一 福田 実 齊藤 清治 坂本 栄治	桜井 玉寿 森田 由雄 井出 存祐	平方 敏郎 福田 実 齊藤 清治 桜井 玉寿 上村 英夫

職年	5 3.4~5 4.3	5 4.4~5 5.3	5 4.4~5 5.3
連 盟 長		清水 一郎	
副連盟長		佐藤 春重 小野里和四郎 佐山弥一郎	
理 事 長		渋谷 羨夫	
副理事長		鳥屋 昇 小内 安蔵	
事務局長		柳田 栄一	
理 事	坂本 栄治 荒木 精一 阿左美 昭 武井 宏修 新井三知夫 春山 武	橋本 力 竹田 賢一 坂本 栄治 高橋 芳平 堂前 久雄 荒木 精一 上山 明 青山 寿延 森山 照夫 向田 恒三 青木 治郎 柳田 栄一 戸所文太郎 阿左美 昭 中里昭五郎 江原 太郎 岩田 正男 武井 宏修	新井三知夫 春山 武 河野口雄三 根本 昭雄
監 事		坪野 茂 郡司 博	
県 コ ミ		根岸 努	
副 コ ミ		新藤 信夫	
		高橋 和男 周東 正治 井出 存祐	
名誉会議員	須永 弁次	平方 敏郎 須永 弁次 上村 英夫 齊藤 清治 桜井 玉寿	福田 実

県連盟特別有功章

52.	6.12	阿 部 正 恵	碓 氷 鎚	
53.	6.11	阿左美 昭	前 橋	6
	"	三 沢 文 一	安 中	3
55.	6.15	金 井 英 文	太 田	5
	"	森 田 由 雄	館 林	2
	"	石 田 忠 次	高 崎	12

県連盟有功章

30. 12	桜井玉 寿伊勢 崎 広田秀夫 桐生 金井佐伝 高崎 細川重信 伊香保 半田博一 沼田 小野耕寿 "	36. 11. 8	野辺沼 梯一郎 前 橋 榎原政治 伊勢 崎 池川伊佐美 伊香保 橋本 垣 前 橋 森田由雄 館 林 横塚佳弘 大 泉 野口喜一郎 高 崎 下山常治 太 田 中島 泰 藤 岡 佐山弥一郎 桐 生 小内安蔵 太 田 森 高三 桐 生 徳永十四男 前 橋 小林徳衛 沼 田 小斉藤清治 高 崎 小野里和四郎 前 橋 松原喬雄 伊勢 崎 佐藤春重 高 崎 野上庄三郎 高 沼 新藤信夫 桐 生 金井英文 太 田 中 作治 藤 岡 42. 根岸 努 高 崎 立川弁祐 安 中 久保田秀夫 "
32.	中村唯雄 沼田 古川清司 太 田 黒岩武一 利 根 5 土屋喜蔵 桐 生 吉川亀吉 沼 田 33. 小野塚静二 高 崎 北条富司 太 田 村沢信夫 水 上 栗原博道 伊勢 岡 勝 実堂 桐 生 後藤竜稻治 "	37. 11.	41. 茨木羨夫 桐 生 布施賢一 高 崎 中山寿延 桐 生 青山昇 高 崎 薄井存祐 安 中 齐藤澄江 高 崎 竹田賢一 桐 生 坂本栄治 前 橋 46. 5. 木村喜良 富 岡
34.	大井太郎 伊勢 崎 春山武宏 藤 岡 高橋宏夫 伊香保 35. 小井戸哲夫 前 橋 松本庄八 伊勢 崎 高頭和之 桐 生 下城敏良 伊勢 崎 新井勝二 桐 生 横内甲子吉 伊香保 36. 11. 8 富永清司 "	43. 5.	47. 5.

47. 5.	平方敏郎	桐生	11	51. 4. 25	中嶋正義	高崎	7
	大沢金一	"	4		石田忠次	"	12
	江原伝次	伊勢崎	1	52. 6. 12	奈良橋俊宏	太田	3
48. 5.	三沢文一	安中	3		新貝正勝	"	4
	八木一明	太田	4		向田恒三	桐生	2
	宇田紀一	桐生	10		兵藤常二	"	3
	堂前久雄	"	13		田代至宏	"	5
	岩田正男	高崎	18		吉田悦雄	"	9
	中里昭五郎	"	13		松井栄三	"	10
	阿部正恵	安中	3		則本千明	"	
	河野口雄三	"			藤井竜人	"	13
	高橋芳平	富岡	1		栗原優介	"	
50. 6.	平田史郎	桐生	13		三浦雄二	"	14
	安斉貞夫	"	10		霞恵二	前橋	4
	周東正治	"	13		江原太郎	高崎	17
	茂木達男	太田	1		山田実	松井田	1
	椎名千寿夫	伊勢崎	4	53. 6. 11	安藤肇	"	
	牛久保益男	"			中村盛夫	太田	5
	柳田栄一	前橋	7		宮田政信	館林	2
	青木次男	"	6		上山明	桐生	10
	上村英夫	"	5		篠田久	"	1
	高橋和男	"	7		島田保彦	"	11
	高橋亜天	"	2		小林秀二	"	13
	星野忠夫	"	1		藤生昌利	"	15
	阿左美昭	"	6		森山照夫	"	
	天田設郎	高崎	17		平野嘉宏	"	3
	岡田彰	"	7		石島彰	"	13
51. 4. 25	坪野茂	桐生	13		五十嵐健男	"	11
	池島泰二	"	10		三田伊知郎	"	15
	星野文助	"	6		金子一男	前橋	7
	目黒卯吉	"	4		柴田義孝	"	
	須永弁次	"	5		山川巖	高崎	18
	荒木精一	"	13		徳田久彦	"	20
	今井和夫	前橋	9		堀口万亀藏	富岡	1
	郡司博	"	1		長戸正養	安中	3

54. 6. 10	青木治郎	桐生	2
	大竹修二	"	5
	今井武夫	"	9
	鈴木克彦	"	11
	江田孝夫	"	13
	小幡隆勇	"	16
	白石栄	"	17
	長野雄二	"	15
	金子宗吉	"	18
	小野里清治	前橋	5
	工藤郁二	高崎	7
	尾崎佐一	"	
	山田晃司	"	18
	54. 6. 10	曾根哲夫	"
堀田彰吾		"	20
佐藤容市郎		"	
55. 6. 15	遠藤文夫	富岡	1
	橋本力	太田	3
	小谷野公博	"	
	鶴貝忠七	桐生	1
	斉藤久雄	"	2
	伊佐山昭明	"	3
	菊地三男	"	
	町田幸夫	"	4
	田所武男	"	9
	塩谷寔	"	
	森一郎	"	
	岩下芳久	"	14
	小沢忠	前橋	8
	鳥屋昇	高崎	7
	茂原幸夫	"	8
佐藤一好	富岡	1	
茂木洋太郎	安中	3	

県連盟感謝章

23年～27年 の間	藤井 勲	前	橋		北野 重雄	前	橋
	小井戸 哲夫		"		中島 泰	藤	岡
	上沼 泰一				松原 潤		
	武内 正隆				武永 四郎		
	河野 孝	前	橋		原沢 益己	沼	田
	田島 英				宮下 守胤	前	橋
	栗原 博	伊勢	崎		小倉 国吉		
	吉川 亀吉	桐	生		福島 文太郎		
	正田 豊作	館	林		上田 由一	高	崎
	萩野 今朝造	高	崎		三沢 祐長	下	仁田
	栗原 国太郎	桐	生		高橋 邦一	高	崎
	半沢 徳次郎	前	橋		福田 実	伊香	保
	北川 好雄	桐	生		久保田 茂一郎	伊勢	崎
	野口 喜一郎	高	崎		岡田 徳次郎		
	伊能 芳雄	前	橋		植松 勝次		
	鈴木 武雄	高	崎		牧野 房男	前	橋
	ジェームス・オウストラッド	前	橋		森田 喜蔵		
	北条 時秀	太	田	43. 5.	吉田 一郎	高	崎
	村沢 信夫	沼	田		丸岡 興舜	沼	田
	勝 実道	藤	岡	45. 5.	北爪 幸作	県社教課	
	須藤 範二	水	上		小野里 千枝子	前	橋
	持丸 理喜男	前	橋	46. 5.	佐野 金作	沼	田
	大島 宗作		"		桜井 京太郎	県社教課	
	工藤 友吉	甘	楽		石内 巖		
	山田 喜一郎			47. 5.	吉田 康一郎	県秘書課	
	野村 勇				戸所 文太郎	県社教課	
	横内 甲子吉	伊香	保		須藤 齐	"	
	下山 常治	太	田		富沢 米太郎	前	橋
スタッポ・ウイチ	前	橋		河野口 須子	安	中	
星野 宏	沼	田		柳田 せい	前	橋	
角田 儀平治	前	橋		横内 甲子吉	伊香	保	
桜井 正	伊勢	崎		渋木 八重子	桐生	4	
後藤 竜堂	桐	生		尾上 良二	太	田	
小野塚 静二	高	崎	47. 12.	斉藤 辰二	前	橋	
桜井 玉寿	伊勢	崎	(50周年記念)	信沢 克己	高	崎	

	小山利雄	桐生市長	54. 6. 10	根岸充	高崎 9
	福田才治	桐生市教育長	55. 6. 15	木暮雄二	
	関口守雄	桐生		梅沢弥五郎	前橋教育会
	小倉一郎	"		島田兼之	前委
	増山作次郎	"			
	金子匡男	"			
	川口盛三	"			
	笹川堯	"			
	森喜作	"			
	松本文助	"			
	増田禎三	"			
	山田末男	"			
	日野貞夫	"			
	岸直枝	"			
48. 5.	塩原清吾				
	阿部千代				
49. 5.	田上美男	高崎			
	フランス・フローリー	前橋			
	富沢宏	"			
50. 6. 15	佐々木元吉				
	滝野瀬義彦	桐生			
	桜井米子	伊勢崎 6			
51. 4. 25	岡田伊勢松	高崎			
	信沢雄一	"			
	鈴木正三	桐生			
	小井戸うた	前橋			
	町田一三	"			
52. 6. 12	福島秋夫	前橋 1			
	石井昌吾	" 2			
	荒木精一	桐生			
	富沢誉富	前橋			
	米川昇作	"			
	下田文太郎	前橋市課			
	鳥屋昇	社教育			
	小林昌人	高崎 7			
54. 6.		桐生			

級行善盟連県

52.	6. 12	前橋第 1 団BS隊	
"	"	第 2 団BS隊	
"	"	第 5 団BS隊	
"	"	第 6 団BS隊	
"	"	第 7 団BS隊	
"	"	富岡第 1 団BS隊	

日本連盟たか章

昭 35. 5.	星 野 宏	
// 40. 5. 9	神 田 坤 六	
// 41. 5. 15	勝 実 道	
// 42. 5. 14	三 沢 祐 長	
// 45. 5. 24	福 田 実	
// 46. 5. 16	村 沢 信 夫	
// 49. 5. 18	桜 井 玉 寿	
// 50. 5. 18	小井戸 哲 夫	
// 52. 2. 19	高 橋 邦 一	
// 52. 2. 19	故吉 川 亀 吉	
// 53. 5. 20	故榎 原 政 治	
// 54. 5. 26	小野里 和四郎	

日本連盟かつこう章（含はとやたがらす）

昭 30. 5.	星 野 宏	昭 55. 5. 24	井 出 存 祐
// 32. 5.	小井戸 哲 夫	"	堂 前 久 雄
// 32. 5.	後 藤 竜 堂	"	岩 田 正 男
// 34. 5.	三 沢 祐 長		
// 34. 5.	村 沢 信 夫		
// 35. 5.	栗 原 博		
// 35. 5.	桜 井 玉 寿		
// 35. 5.	勝 実 道		
// 36. 5. 21	小野塚 静 二		
// 36. 5. 21	北 条 富 司		
// 37. 5. 13	福 田 実		
// 37. 5. 13	高 橋 邦 一		
// 38. 5. 12	榎 原 政 治		
// 38. 5. 12	野 口 喜一郎		
// 38. 5. 12	吉 川 亀 吉		
// 40. 5. 9	金 井 佐 伝		
// 44. 5. 18	工 藤 友 吉		
// 45. 5. 24	小野里 和四郎		
// 45. 5. 24	佐 山 弥一郎		
// 46. 5. 16	高 頭 和 之		
// 46. 5. 16	斉 藤 清 治		
// 47. 5. 21	佐 藤 春 重		
// 47. 7. 20	(故) 徳 永 十四男		
// 48. 5. 19	波 木 羨 夫		
// 48. 5. 19	(故) 鈴 木 武 雄		
// 48. 11. 10	(故) 古 川 清 司		
// 49. 5. 18	根 岸 努		
// 49. 5. 18	布 施 賢 一		
// 51. 2. 15	青 山 寿 延		
// 52. 2. 19	小 内 安 蔵		
// 52. 2. 19	坂 本 栄 治		
// 53. 5. 20	柳 田 栄 一 夫		
// 54. 5. 26	新 藤 信 夫		
"	竹 田 賢 一 郎		
"	平 方 敏		

日本連盟感謝章

47.	5. 21	福 田 幸 子
	"	上 村 光 枝
	"	坂 本 泰 江
48.	5. 19	笹 川 堯
	"	小 山 利 雄
	"	福 田 才 治
49.	5. 18	柳 田 栄 一
50.	5. 18	小野里 和四郎
	"	渋 木 八重子

日本連盟公共奉仕綬

38.	5. 12	太田第4団BS
	"	太田第5団BS

日本連盟善行章

37.	5. 13	加 藤 俊 治	桐 生 2
-----	-------	---------	-------

日本連盟特別感謝章

47.	5. 21	小野里 千枝子
-----	-------	---------

日本連盟人命救助章

34.	5. 9	岡 部 洋	桐 生 6
	"	金 子 浩 二	"
	"	井 出 薫	"
37.	5. 13	原 泉	伊勢崎 4
44.	5. 18	天 田 久 雄	高 崎 17
	"	小 林 一 彦	"
	"	須 藤 康 弘	安 中 2
50.	5. 18	青 柳 正 昭	高 崎 11

日本連盟特別年功章（5年章）

35.	5. 21	野村 稻治	桐生 2	48.	5. 19	小倉 勝	大間々 1
36.	5. 21	都丸 保久	伊勢崎 9			阿左美 昭	前橋 6
38.	5. 12	金子 佳弘	太田 4			中島 優	" "
		小内 安藏	" "			高橋 和男	" 7
39.	5. 17	芥藤 清治	高崎 11			中嶋 正義	高崎 7
40.	5. 9	松原 喬雄	太田 6			佐藤 陸大	" "
		金井 英文	" 5	49.	5. 18	平田 史郎	桐生 13
		森田 由雄	館林 1			周東 正治	" "
41.	5. 15	大塚 昌久	伊香保 1			霞 恵二	前橋 1
		野口 徳治	" "			星野 忠夫	" 2
		芥藤 道雄	" "			青木 正	渋川 1
44.	5. 18	宇田 紀一	桐生 10	50.	5. 18	小暮 雅文	館林 1
		金井 博信	安中 2			石田 義彦	大間々 1
		小泉 薫	高崎 13			柴田 義孝	前橋 7
		竹田 賢一	桐生 11			長井 収	高崎 7
		井出 存祐	安中 3			徳田 久彦	" 20
		阿部 正恵	" "			佐藤 容市郎	" "
45.	5. 24	芥藤 澄江	高崎 11			秋山 利夫	安中 3
		薄井 昇	" 7	51.	5.	石井 実	前橋 1
		根岸 努	" 8			徳永 詢	" 2
		中 作治	藤岡 1			小野里 清治	" 4
		渡辺 隆	" "			金子 一男	" 7
		天田 設郎	高崎 17			天田 尚二郎	高崎 17
		江原 切	" "			佐藤 勇	" 18
46.	5. 16	中沢 秀夫	大間々 1			大沢 仁	" 18
		朝賀 盛一	" 2			吉井 利作	" "
		田口 善弘	" "			松井 孝	桐生 10
		新貝 正勝	太田 4	51.	5.	木村 光敏	前橋 1
47.	5. 21	松井 栄三	桐生 10	52.	5. 21	渡辺 要	太田 4
		山川 巖	高崎 18			大竹 修二	桐生 5
		富田 規矩伊	" "			今井 武夫	" "
		三沢 文一	安中 3			小林 季二	" "
48.	5. 19	茂木 達男	太田 1			鈴木 克彦	" 14
		奈良橋 俊宏	" 2			藤生 昌利	" 15
		宮田 政信	館林 1			工藤 郁二	高崎 7

52. 5. 21	尾崎佐一	高崎 7	55. 5. 24	久保田 寛	桐生 6
	山口利夫	館林 1		小倉照也	" 12
	遠藤文夫	富岡 1		内田 斌	" "
	岡野芳正	前橋 4		山口達男	" 14
	角田昌広	" 5		長野雄二	" 15
	南波正夫	" "		横沢健雄	" "
	茂木今朝雄	" 2		吉井良弘	高崎 17
53. 5. 20	鶴貝忠七	桐生 1		土田 保	" "
	斉藤久雄	" 2		須郷 大	" "
	松林 実	" 16		渡辺 信雄	" 18
	菊地三男	" 3		片野 登	" "
	町田幸男	" 4		宮野昌之	" "
	梅沢信三	" 10		片野秀治	" "
	羽広政雄	" "		石田義弘	前橋 3
	星野正夫	" "		重原 進	" "
	井出三郎	富岡 1		森田健子	" "
	磯部直正	前橋 3		中嶋 豊	箕郷 1
	青木雅直	" 6		南波 柳	" "
54. 5. 26	平野嘉宏	桐生 3			
	野原徳夫	" 5			
	坪井良広	" "			
	星野喜八郎	" 11			
	岩下芳久	" 14			
	飯塚 康	" 16			
	茂原幸夫	高崎 8			
	竹田勝彦	" 9			
	河野富貴雄	" "			
	岡田栄子	前橋 6			
55. 5. 24	小沼国幹	太田 5			
	小沢真一	" "			
	江部清隆	" "			
	前原武男	桐生 1			
	岡本徳三	" "			
	河上 熙	" 2			
	大沢 秀明	" "			

日本連盟特別年功章（10年章）

35.	5. 21	桜井玉寿	伊勢崎	11
38.	5. 12	高頭和之	桐生	4
		古川清司	太田	5
		小林信行	伊勢崎	1
		野村稻治	桐生	2
41.	5. 15	半田博	伊香保	1
		高橋弘	"	
44.	5. 18	金井佐伝	高崎	7
45.	5. 24	斉藤清治	"	11
		稲葉信行	伊崎	1
46.	5. 16	小内安蔵	太田	4
		森田由雄	館林	1
48.	5. 19	木内三郎	高崎	12
		小泉薫	"	13
49.	5. 18	宇田紀一	桐生	10
		斉藤澄江	高崎	11
		井出存祐	安中	3
50.	5. 18	阿部正恵	"	
51.	5.	新貝正勝	太田	4
		徳田久彦	高崎	10
		天田設郎	"	17
		山川巖	"	18
52.	5. 21	三沢文一	安中	3
		松井栄三	桐生	10
		則本千明	"	
		中嶋正義	高崎	7
		富田規矩伊	"	18
		富田政信	館林	2
		阿左美昭	前橋	6
54.	5. 26	佐藤勇	高崎	18
55.	5. 24	佐藤容市郎	"	20
		小野里清治	前橋	5

日本連盟隊褒彰綬

	5	年		47	桐生	11	B
33	高崎	7	B-1		高崎	18	B-1
	桐生	4	B	48	前橋	6	C
38	"		C-1		"		B
	太田	4	"		"	7	C
	"		B		"		B
	"	6	"		大泉	2	S
	高崎	11	C		"		R
41	伊香保	1	"		桐生	1	C-1
	高崎	1	B-1	49	"	3	C
	"		B-2		"		B
	"		C		"	5	C
42	"	11	B-2		"		B
	前橋	1	C-1		高崎	8	B
43	"	5	C		松井田	1	B-1
	"		B-1	50	桐生	9	C
44	安中	2	C		"	6	C
	"		B		松井田	1	C
	"	3	C		渋川	1	C
	"	3	B		高崎	20	B
	"	1	C		前橋	2	C
	"		B		"		B
	高崎	17	C-1		大間々	1	S
	"	7	R	51	桐生	6	B
	"	17	B		"	9	B
	"	18	C-1		前橋	1	S
	"	7	"		館林	1	C
	"		S		高崎	17	S
	"	12	C	52	太田	1	C
45	大間々	1	B-1	53	前橋	2	S
	"		B-2		桐生	2	C
47	桐生	12	C		"	14	C
	"		B		高崎	18	S
	"	10	R		"	9	C
	"	11	C		"	7	C-2

39	桐 生	7	B	53	太 田	4	C - 1
	"	2	B		"		B
40	伊 香 保	1	B		前 橋	1	C - 1
41	伊 勢 崎	1	B				
	藤 岡	1	B				
42	前 橋	1	B - 1	2 5 年			
43	桐 生	4	B	48	前 橋	1	B - 1
44	高 崎	7	B - 1	50	藤 岡	1	B
46	太 田	5	B	53	桐 生	4	B
47	前 橋	1	C - 1		高 崎	7	B - 1
48	高 崎	11	C				
	太 田	4	C - 1	3 0 年			
	"		B	54	前 橋	1	B - 1
	高 崎	7	C - 1		藤 岡	1	B
	桐 生	4	C - 1				
49	館 林	1	B				
52	高 崎	12	B - 1				
53	"		C				
	安 中	3	C				
	前 橋	5	C				
54	高 崎	7	S				
55	"	17	C - 1				
	"		B				
	"	18	C - 2				
	安 中	3	B				
2 0 年							
44	沼 田	1	B				
45	伊 崎	1	B				
	藤 岡	1	B				
48	高 崎	7	B - 1				
	"	11	B - 1				
	桐 生	4	B				
53	"		C - 1				

第四部

県連活動記録（日連）

登録スカウト数の動き

3月31日現在

年 度	隊	スカウト	(含指導者 含団委員)	年 度	団	スカウト	指導者
24	20	433	134	41	34	1,336	439
25	20	574	129	42	33	1,131	394
26	50	1,081	355	43	32	1,366	408
27	58	1,189	419	44	36	1,518	442
28	59	1,375	429	45	38	1,537	286
29	46	842	365	46	41	1,752	311
30	50	823	328	47	44	1,800	338
31	34	746	216	48	46	1,955	414
32	30	643	228	49	47	2,070	517
年 度	団	スカウト	指導員	50	51	2,167	582
				51	55	2,298	625
33	26	722	228	52	59	2,590	693
34	26	881	274	53	63	2,782	772
35	25	951	296	54	60	2,661	751
36	26	975	324	55	65	2,923	807
37	29	1,457	382	56			
38	34	1,238	500	57			
39	31	1,335	456	58			
40	33	1,333	448	59			

登録団の現況

隊 ○
班 ()

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 級	年 度
団	610	33. 4. 23	(33)	(34)	(35)	36	37	38	39	40		
太 田 1			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	415	24. 10. 1	(33)	(34)	(35)	36	37	38	39	40		
太 田 1 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C	2329	47. 4. 10	33	34	35	36	37	38	39	40	5	52
太 田 1			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	3799	47. 4. 10	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 2			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C	2330	47. 4. 10	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 2 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	4043	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 3			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2926	49. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 3			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 授	年 度
B	5766	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 3			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	51	52	53	54	55	56		
団	762	33. 6. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
太 田 4			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	225	33. 6. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	38 45
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	48 53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	2646	33. 6. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	38 46
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	48 53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	(43)	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C-2	2892	52. 11. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 4			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	173	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
太 田 5			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	304	34. 4. 23	33	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	3418	37. 4. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? 38
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	46 48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	1928	51. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	37	(38)	(39)	40		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	47	(48)		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	3432	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	53	54	55	56		
団	1345	34. 7. 28	33	34	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
太 田 6			(41)	(42)	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 級	年 度
B	2845	34. 7. 28	33	34	③⑤	③⑥	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩	5	38
太 田 6 5年以上休隊削除			④①	④②	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	(42)	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	5062	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
太 田 7			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	⑤④	⑤⑤	56		
C	4180	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	⑤④	⑤⑤	56		
B	6778	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	⑤④	⑤⑤	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56		
団	1541	35. 7. 5	33	34	③⑤	③⑥	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩		
館 林 1			④①	④②	④③	④④	④⑤	④⑥	④⑦	④⑧		
			④⑨	⑤⑩	⑤⑪	⑤⑫	⑤⑬	⑤⑭	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 授	年 度
C	2510	47. 7. 8	33	34	35	36	37	38	39	40	5	51
館 林 1			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	3040	35. 7. 5	33	34	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? 46
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	49
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	2452	38. 4. 1	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4213	49. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
館 林 2			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2928	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6439	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録		
													年 授	年 度
団		38. 10.	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)				
大 泉 1			41	(42)	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
B			33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)				
5年以上休隊削除			41	(42)	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
団	2327	38. 12. 14	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)				
大 泉 2			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)				
			(49)	50	51	52	53	54	55	56				
S	531	38. 12. 14	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	48		
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	5	48		
			(49)	50	51	52	53	54	55	56				
R	209	40. 3. 30	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)				
			(49)	50	51	52	53	54	55	(56)				
団	4663	51. 12. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
大 泉 3			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56				
C	3610	51. 12. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56				

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録		
													年 綬	年 度
B	6438	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
大 泉 3			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56				
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56				
団	5011	53. 10. 5	33	34	35	36	37	38	39	40				
大 泉 4			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56				
C	4136	53. 10. 5	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56				
B	6961	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	(55)	56				
団	5069	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
大 泉 5			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56				
C	4190	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56				

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	4879	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
尾 島 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
C	3913	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
B	6613	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
団	3280	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 1			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	1678	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	48
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	10	53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	2596	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
49年度桐生14に分封			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B	5114	45. 4. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	? 54
桐 生 1			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	53	(54)	55	56		
団	172	33. 4. 1	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
桐 生 2			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	743	39. 1. 28	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	53
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	822	25. 6. 9	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
"			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48	15	39
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	40		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	53	(54)	(55)	56		
団	608	33. 4. 23	(33)	(34)	(35)	(36)	37	38	39	40		
桐 生 3			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 授	年 度
C	1906	45. 4. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	49 54
桐 生 3			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	1985	28. 4. 15	(33)	(34)	(35)	(36)	37	38	39	40	5 10	49 54
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	53	54	55	56		
団	29	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
桐 生 4			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)		
C-1	153	32. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	38 41
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	48 53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	769	39. 4. 1	33	34	35	36	37	38	(39)	(40)		
" 5年以上休隊削除			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	2210	29. 7. 29	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	33 38
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	43 48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56	25	53

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B-2	3674	38. 4. 22	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
桐 生 4 5年以上休隊削除			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S	61	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	36	37	(38)	(39)	(40)		
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48		
			49	50	51	(52)	53	54	55	56		
R	221	41. 4. 7	33	34	35	36	37	38	39	(40)		
" 5年以上休隊削除			(41)	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	3486	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 5			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	1911	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	49 54
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	5123	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	49 54
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	53	54	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	644	33. 4. 30	(33)	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 6			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	2235	29. 10. 7	(33)	34	35	36	37	38	39	40	5	51
"			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2139	46. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	50 55
"			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	55	56		
団	645	33. 4. 30	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
桐 生 7			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56		
B	715	25. 4. 10	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	39
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56		
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	40		
"			41	42	(43)	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	3676	46. 5. 12	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 8			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	5374	46. 5. 12	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3318	50. 10. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	50	51	(52)	(53)	54	(55)	56		
団	2198	38. 6. 25	33	34	35	36	37	(38)	(39)	40		
桐 生 9			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	3726	38. 6. 25	33	34	35	36	37	(38)	(39)	40	5	51
"			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	(39)	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録	
												年 授	年 度
C	2140	46. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	50 55	
桐 生 9			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
団	2328	38. 12. 14	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)			
桐 生 10			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
S	532	38. 12. 14	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)			
"			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	(48)			
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56			
R	287	43. 4. 1	33	34	35	36	37	38	(39)	(40)	5	47	
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
団	2978	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40			
桐 生 11			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
C	1289	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 51	
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
B	4619	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 51	
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 授	年 度
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 11			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	53	54	55	56		
団	2979	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 12			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	1290	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 51
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	4620	42. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 51
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4058	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 13			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	1534	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 授	年 度
R	496	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 13			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
C-2	2095	52. 5. 6	33	34	35	36	37	38	39	40		
53年度桐生19団に分封			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	53	54	55	56		
団	4214	49. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 14			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2596	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	53
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6312	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
" 49年度桐生1団により分封			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56		
団	4547	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 15			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C	3433	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
桐 生 15			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6311	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4551	51. 4. 7	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 16			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3435	51. 4. 7	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6649	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4911	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 17			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録		
											年	授	年
C	3971	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
桐 生 17			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56			
B	6987	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	53	54	(55)	56			
団	4912	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
桐 生 18			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56			
C	3972	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56			
B	6988	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	53	54	(55)	56			
団	4960	53. 5. 19	33	34	35	36	37	38	39	40			
桐 生 19			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56			
S	2095	52. 5. 6	33	34	35	36	37	38	39	40			
53年度 桐生13団S2隊より分封			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56			

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 綬	年 度
団	5248	55. 4. 26	33	34	35	36	37	38	39	40		
桐 生 20			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
R	925	55. 4. 26	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
団	2642	40. 7. 5	33	34	35	36	37	38	39	(40)		
大々間 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-1	4229	40. 7. 5	33	34	35	36	37	38	39	(40)	5 10	45 50
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-2	4408	41. 3. 8	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	45 50
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	1311	46. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	50
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	764	33. 6. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
伊勢崎 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	301	24. 8. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	41 45
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
団		33. 4. 1	(33)	(34)	35	36	37	38	39	40		
伊勢崎 3			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			(33)	(34)	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	26	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
伊勢崎 4			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	363	35. 4. 1	33	34	(35)	(36)	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B	2214	29. 8. 11	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? 39
伊勢崎 4			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
団		33. 4. 1	(33)	(34)	35	36	37	38	39	40		
伊勢崎 5			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			(33)	(34)	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	607	33. 4. 23	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
伊勢崎 6			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2519	48. 8. 7	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	50	(51)	(52)	(53)	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B	1014	25. 9. 14	③③	③④	③⑤	③⑥	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩	5 10	? ?
伊勢崎 6			④①	④②	④③	④④	④⑤	④⑥	④⑦	④⑧	15 20	38 50
			④⑨	④⑩	④⑪	④⑫	④⑬	④⑭	④⑮	④⑯		
S	1075	43. 10. 3	33	34	35	36	37	38	(39)	(40)		
"			(41)	42	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	55	56		
団		33. 4. 1	③③	③④	35	③⑥	③⑦	③⑧	39	40		
伊勢崎 7			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			③③	③④	35	③⑥	③⑦	③⑧	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団		33. 4. 1	③③	③④	③⑤	③⑥	③⑦	38	39	40		
伊勢崎 8			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B		30. 10. 17	③③	③④	③⑤	③⑥	③⑦	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団		33. 4. 1	③③	③④	③⑤	③⑥	③⑦	38	39	40		
伊勢崎 9			41	④②	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B			(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	38	39	40		
伊勢崎 9 5年以上休隊削除			41	(42)	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団		35. 4. 1	33	34	(35)	36	37	38	39	40		
伊勢崎 11			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
R		35. 4. 1	33	34	(35)	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	467	33. 4. 5	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
前橋 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	205	33. 4. 5	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	42 45
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	47 53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	1861	44. 12. 16	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 46年度前橋2団へ分封			41	42	43	(44)	(45)	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B-1	302	24. 8. 3	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	42 ?
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56	25 30	48 54

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 級	年 度
B-2	4951	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 1 46年度前橋2団へ分封			41	42	43	(44)	(45)	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S	1401	47. 3. 30	33	34	35	36	37	38	(39)	(40)	5	51
"			41	(42)	(43)	(44)	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	3662	46. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 2			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
C	1861	44. 12. 16	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	50 53
46年度 " 前橋1団C2より分封			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
B	4951	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	50 53
46年度 " 前橋1団B2より分封			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
S	1663	49. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	53
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
団	4349	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 3			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C	3123	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
前 橋 3			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6313	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	2451	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4350	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 4			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6094	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	54
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
C	3258	50. 7. 23	33	34	35	36	37	38	39	40	5	54
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録	
													年 授
団	2170	38. 5. 13	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)			
前 橋 5			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
C	738	38. 12. 14	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5 10	43 47	
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	53	
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
B-	3696	38. 5. 13	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5 10	43 47	
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
S	1143	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	(40)			
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	47	(48)			
			(49)	50	51	52	53	54	55	56			
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	50	51	52	53	54	55	56			
B-2	4733	43. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
" 44年度前橋6団へ分封			41	42	(43)	(44)	45	46	47	48			
			49	50	51	52	53	54	55	56			
団	3368	44. 8. 11	33	34	35	36	37	38	39	40			
前 橋 6			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C	1795	44. 8. 11	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	48 53
前 橋 6			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	4732	43. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	48 53
"			41	42	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	3372	44. 8. 11	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 7			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	1797	44. 8. 11	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	48 53
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	5030	44. 8. 11	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	48 53
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 7			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	55	56		
団	3719	46. 7. 7	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 8			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	1390	46. 7. 7	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	50	51	52	53	54	55	56		
R	579	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4352	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 9			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3125	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	54
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 級	年 度
(B)			33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 9			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	53	54	55	56		
団	4351	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 10			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3124	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	54
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(B)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4665	51. 12. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 11			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3613	51. 12. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6457	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 綬	年 度
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
前 橋 11			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
団	1804	36.10.1	33	34	35	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
高 崎 1			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S			33	34	35	36	37	38	39	(40)		
" 5年以上休隊削除			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B-1	384	36.10.1	33	34	35	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5	41
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B-2			33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	41
" 5年以上休隊削除			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B-3			33	34	35	36	37	38	(39)	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C			33	34	35	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5	41
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	5219	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 6			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
C	2598	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	53
" 55年度高崎7団より分封			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	470	33. 4. 5	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
高 崎 7			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	328	34. 7. 22	33	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	44 45
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	2598	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	53
" 55年度高崎6団へ分封			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	55	56		
B-1	1767	27. 3. 7	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	33 38
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	44 48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56	25	53
S	329	37. 4. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	44 48
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	54
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
R	207	40. 1. 11	33	34	35	36	37	38	39	(40)	5 10	44 50
高 崎 7 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	51	(52)	53	54	(55)	56		
B-2	4731	43. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	(43)	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	3333	44. 5. 20	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 8			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	1746	48. 12. 5	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	5	48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56	10	54
C-2	2841	45. 11. 9	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 49年度高崎9団へ分封			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	5222		33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	49 55
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
R			33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 8			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4212	49. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 9			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2841	48. 12. 5	33	34	35	36	37	38	39	40	5	53
" 49年度高崎8団より分封			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6310	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
団	4465	50. 10. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 10			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3319	50. 10. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
B	6309	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 10			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	126	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
高 崎 11			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	66	30. 4. 14	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	38 42
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-1	2114	28. 12. 4	33	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? 38
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	? 48
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-2	3656	38. 4. 10	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	42
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S	661	40. 4. 1	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
R	385	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 11 5年以上休隊削除			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56		
団	1194	37. 4. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)		
高 崎 12			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)		
C	877	39. 8. 7	33	34	35	36	37	38	(39)	(40)	5 10	44 49
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	53
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-1	3514	37. 4. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? 47
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	52
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B-2	3515	37. 4. 18	33	34	35	36	(37)	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	50	(51)	52	(53)	(54)	(55)	56		
団	1995	37. 8. 13	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)		
高 崎 13			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	(50)	(51)	(52)	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録			
											年 授	年 度		
B	3516	37. 8. 13	33	34	35	36	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩	5	?	10	48
高 崎 13			④①	④②	④③	④④	④⑤	④⑥	④⑦	④⑧				
			49	50	⑤①	⑤②	53	54	55	56				
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40				
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)				
			(49)	50	51	52	53	54	55	56				
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)				
			(49)	50	51	52	53	54	55	56				
C	570	37. 8. 13	33	34	35	36	③⑦	③⑧	③⑨	40				
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
C	3324	50. 10. 20	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	⑤⑩	⑤①	52	53	54	55	56				
団	2034	37. 10. 10	33	34	35	36	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩				
高 崎 15			④①	42	43	44	45	46	④⑦	④⑧				
			④⑨	⑤⑩	⑤①	⑤②	⑤③	⑤④	⑤⑤	56				
C	668	38. 5. 18	33	34	35	36	37	③⑧	③⑨	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	④⑧				
			④⑨	⑤⑩	⑤①	⑤②	⑤③	⑤④	⑤⑤	56				

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			年 度	年 度								
B	3552	37. 10. 10	33	34	35	36	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩		
高 崎 15			④①	42	43	44	45	46	④⑦	④⑧		
			④⑨	⑤⑩	⑤①	⑤②	⑤③	⑤④	⑤⑤	56		
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	40		
"			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	(51)	52	(53)	(54)	(55)	56		
団	2671	40. 3. 12	33	34	35	36	37	38	③⑨	④⑩		
高 崎 16			④①	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			33	34	35	36	37	38	③⑨	④⑩		
" 5年以上休隊削除			④①	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C			33	34	35	36	37	38	39	④⑩		
" 5年以上休隊削除			④①	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	2579	40. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	④⑩		
高 崎 17			④①	④②	④③	④④	④⑤	④⑥	④⑦	④⑧		
			④⑨	⑤⑩	⑤①	⑤②	⑤③	⑤④	⑤⑤	56		
C-1	936	40. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	④⑩	5 10	44 51
"			④①	④②	④③	④④	④⑤	④⑥	④⑦	48	15	55
			④⑨	⑤⑩	⑤①	⑤②	⑤③	⑤④	⑤⑤	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 授	年 度
B	4142	40. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	④0	5 10	44 51
高 崎 17			④1	④2	④3	④4	④5	④6	④7	④8	15	55
			④9	④0	④1	④2	④3	④4	④5	④6	④7	56
S	1081	44. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	51
"			41	42	(43)	④4	④5	④6	④7	④8		
			④9	④0	④1	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	3702	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	④2	④3	④4	④5	56		
団	2724	40. 10. 25	33	34	35	36	37	38	39	④0		
高 崎 18			④1	④2	④3	④4	④5	④6	④7	④8		
			④9	④0	④1	④2	④3	④4	④5	56		
C-1	1034	40. 10. 25	33	34	35	36	37	38	39	④0	5 10	44 49
"			④1	④2	④3	④4	④5	④6	④7	④8		
			④9	④0	④1	④2	④3	④4	④5	56		
C-2	1179	41. 8. 25	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 50
"			④1	④2	④3	④4	④5	④6	④7	④8	15	55
			④9	④0	④1	④2	④3	④4	④5	56		
B-1	4529	42. 4. 22	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	47 51
"			41	④2	④3	④4	④5	④6	④7	④8		
			④9	④0	④1	④2	④3	④4	④5	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録	
												年 綬	年 度
S	1553	48. 4. 17	33	34	35	36	37	38	39	40	5	58	
高 崎 18			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
R	656	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55	
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
B-2	6943	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			49	50	51	52	53	54	(55)	56			
団	2831	41. 6. 1	33	34	35	36	37	38	39	40			
高 崎 19			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
R	234	44. 6. 7	33	34	35	36	37	38	39	40			
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
団	3321	44. 6. 12	33	34	35	36	37	38	39	40			
高 崎 20			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
C	3049	49. 9. 17	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55	
"			41	42	43	44	45	46	47	48			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授授与記録	
											年 綬	年 度
B	4989	44. 6. 12	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	50 54
高 崎 20			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			49	(50)	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	4948	53. 5. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 21			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
C	4040	53. 5. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
B	6704	53. 5. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
団	5220	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 22			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
C	4428	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)										隊褒章授与記録	
														年 綬
団	4550	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
新 町 1			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
B-1	6315	51. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
"			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
B-2	6762	53. 12. 18	33	34	35	36	37	38	39	40				
" 54年度新町2団へ分封			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
団	5052	54. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40				
新 町 2			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
B	6762	53. 12. 18	33	34	35	36	37	38	39	40				
" 54年度新町1団より分封			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
団	761	33. 6. 3	33	34	35	36	37	38	39	40				
藤 岡 1			41	42	43	44	45	46	47	48				
			49	50	51	52	53	54	55	56				
B	710	25. 4. 18	33	34	35	36	37	38	39	40	5 10	? ?		
"			41	42	43	44	45	46	47	48	15 20	41 45		
			49	50	51	52	53	54	55	56	25 30	50 54		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	40		
藤 岡 1			41	(42)	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56		
団		37. 6. 28	33	34	35	36	(37)	(38)	39	40		
藤 岡 2			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			33	34	35	36	(37)	(38)	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	4252	49. 7. 8	33	34	35	36	37	38	39	40		
箕 郷 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	2992	49. 7. 8	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6093	50. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40	5	55
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
団	4695	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
群馬町 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C	3651	52. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	6944	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
団		33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	37	38	39	40		
甘楽 2			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			(33)	(34)	(35)	(36)	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	2843	41. 7. 5	33	34	35	36	37	38	39	40		
富岡 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	4561	41. 7. 5	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
S	1359	46. 5. 6	33	34	35	36	37	38	39	40		
富 岡 1 5年以上休隊削除			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	48		
			49	(50)	(51)	(52)	53	54	55	56		
C	3735	52. 4. 24	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
S	2182	53. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		
団	1966	37. 6. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)		
安 中 1			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C	650	38. 4. 18	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	44
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	3491	37. 6. 18	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)	5	44
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	(42)	(43)	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)									隊褒章授与記録	
												年 綬	年 度
団	2237	38. 9. 5	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)			
安 中 2			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48			
			49	50	51	52	53	54	55	56			
C	701	38. 9. 5	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5	44	
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48			
			49	50	51	52	53	54	55	56			
B	4141	40. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	(40)	5	44	
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48			
			49	50	51	52	53	54	55	56			
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40			
"			41	42	43	(44)	(45)	(46)	(47)	48			
			49	50	51	52	53	54	55	56			
団	2266	38. 10. 17	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)			
安 中 3			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)			
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
C	711	38. 10. 7	33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)	5 10	44 47	
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	53	
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			
B	4174	40. 6. 11	33	34	35	36	37	38	39	(40)	5 10	44 49	
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	55	
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56			

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 綬	年 度
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
安 中 3			41	42	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	3485	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40		
松 井 田 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
C	2181	46. 5. 20	33	34	35	36	37	38	39	40	5	50
"			41	42	43	44	45	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	(55)	56		
B-1	5122	45. 4. 2	33	34	35	36	37	38	39	40	5	49
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	52	53	54	55	56		
B-2	5509	47. 4. 4	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	(47)	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S	1500	48. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
団	3008	42. 8. 22	33	34	35	36	37	38	39	40		
洪 川 1			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C	1330	42. 8. 22	33	34	35	36	37	38	39	40	5	50
渋 川 1			41	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	5832	48. 5. 14	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	54	55	56		
団	3473	45. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
渋 川 2			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-1	1903	45. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
C-2	1904	45. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	(45)	(46)	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	5111	45. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 授	年 度
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
渋 川 2			41	42	43	44	45	46	47	48		
			(49)	50	51	(52)	(53)	54	55	56		
団	174	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
伊 香 保 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	50	51	52	53	54	55	56		
C	391	35. 5. 2	33	34	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5	41
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	634	25. 2. 21	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15	40
			(49)	50	51	52	53	54	55	56		
S	68	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	50	51	52	53	54	55	56		
R			33	34	35	36	37	38	39	(40)		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	132	33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
沼 田 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)		
			(49)	(50)	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 綬	年 度
C	142	32. 4. 1	(33)	34	35	36	37	38	39	(40)		
沼 田 1 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B	267	24. 7. 16	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	5 10	? ?
" 5年以上休隊削除			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	15 20	? 44
			(49)	(50)	51	52	53	54	55	56		
(S)			33	34	35	36	37	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	46	(47)	48		
			(49)	(50)	51	52	53	54	55	56		
団		33. 4. 1	33	(34)	(35)	(36)	(37)	38	(39)	40		
沼 田 2			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			33	(34)	(35)	(36)	(37)	38	(39)	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団		33. 4. 1	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	38	39	(40)		
沼 田 3			(41)	(42)	43	44	45	46	47	48		
			49	40	51	52	53	54	55	56		
B			(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	38	39	(40)		
" 5年以上休隊削除			(41)	42	43	44	45	46	47	48		
			49	40	51	52	53	54	55	56		

隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
											年 授	年 度
S	.		33	34	35	36	37	(38)	39	(40)		
沼 田 3 5年以上休隊削除			(41)	(42)	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団		37. 9. 10	33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)		
沼 田 5			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
R			33	34	35	36	(37)	(38)	(39)	(40)		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
S			33	34	35	36	37	38	39	(40)		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
団	1061	33. 9. 29	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
水 上 1			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
B	470	24. 9. 19	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
"			(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	46	47	48		
			49	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
(S)			33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	(42)	(43)	(44)	(45)	46	47	48		
			49	50	51	52	(53)	(54)	(55)	56		

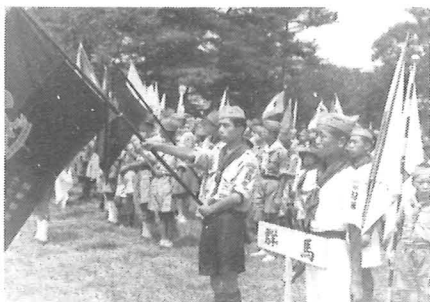
隊別	登録番号	承認年月日	登録状況 (年度)								隊褒章授与記録	
			33	34	35	36	37	38	39	40	年 綬	年 度
C	3849	52. 7. 15	33	34	35	36	37	38	39	40		
水 上 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	(52)	(53)	(54)	(55)	56		
団	5221	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
榛 東 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
C	4429	55. 4. 1	33	34	35	36	37	38	39	40		
"			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
団		33. 4. 1	(33)	34	35	36	37	38	39	40		
吾 妻 1			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
B			(33)	34	35	36	37	38	39	40		
" 5年以上休隊削除			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	55	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 7			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	54	(55)	56		
(R)			33	34	35	36	37	38	39	40		
高 崎 11			41	42	43	44	45	46	47	48		
			49	50	51	52	53	(54)	(55)	56		

行事開催と派遣の記録

昭和24年度 行事開催と派遣の記録

昭和24年

- 8月19日 合同野営 於岩鼻 145名参加
～21日 利根1-22名 前橋1-24
名 前橋2-4名 伊勢崎1-
6名 佐波1-8名 佐波2-
7名 太田1-53名 北甘楽
-3名 館林-15名
- 9月24日 第1回ボーイスカウト全国大会
～25日 於皇居前広場 日比谷公園
- 11月6日 日本ボーイスカウト群馬県連盟
結成式 於前橋公園 三島理事
長御臨席 前橋公園ラジオ塔前



第1回 ボーイスカウト全国大会
於 皇居前広場(S25.9.24)

昭和25年度 行事開催と派遣の記録

昭和25年

- 5月27日 国際復帰関東地区大会
～28日 東京築地本願寺境内 193名参加
- 8月3日 全群馬ボーイスカウト大会
～5日 利根郡沼田市公園
参加 32隊 リーダー66名
スカウト756名 計822名
- 8月18日 第2回全日本ボーイスカウト大会
～20日 東京都新宿区新宿御
参加 24隊 役員、リーダー
84名 スカウト524名
計608名
- 11月5日 県連結成一周年記念式
高崎市高崎公園
日連制定・県連感謝章No.1はロ
ック・カルパンチェ氏(神父)

昭和26年

- 1月6日 役員・リーダー集会
前橋市立第1中学校
- 1月12日 県連事務局移転
前橋市堅町33番地(糸白子裏)
事務局雇 小井戸友子 八巻義生
- 2月17日 日連臨時総会
～18日 京都市東本願寺・西本願寺

昭和26年度 行事開催と派遣の記録

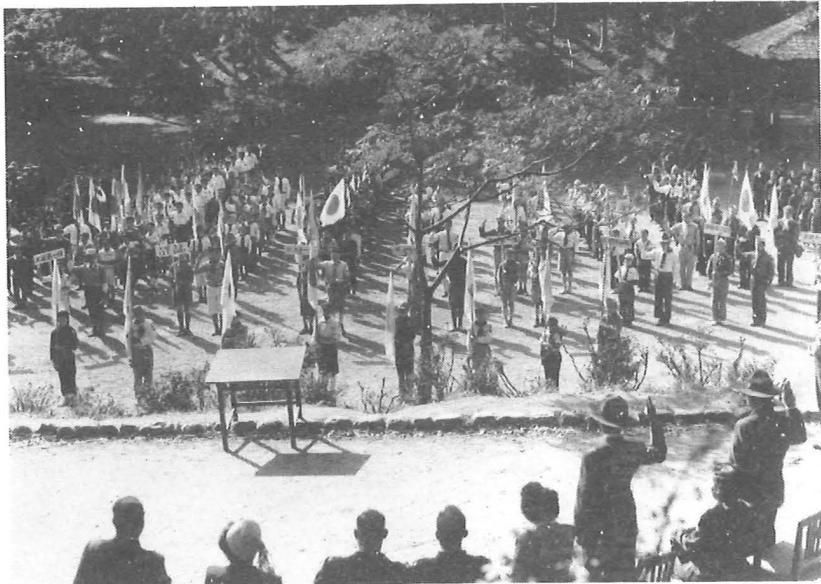
昭和26年

- 6月28日 全国優秀スカウト特別訓練
～30日 富士山中湖畔野営場
全国百数十名のスカウトの中から13名を選び特別訓練が行はれました。本県より 巷野安司、日高忠義、星野元重の3名が選ばれ参加
- 7月30日 第3回全群馬ボーイスカウト大会 伊勢崎市華蔵寺公園
- 8月1日 展示会・技能発表会 参加650名
- 8月4日 第3回日本ボーイスカウト野営
～8日 訓練全国大会
山形県蔵王山麓鳴の谷
全国7,500名 本県参加220名

昭和27年度 行事開催と派遣の記録

昭和27年

- 5月3日 高崎こども博協力ジャンボリー
～5日 高崎 片岡小学校・観音山
参加者500名
- 8月5日 第4回全群馬ボーイスカウト野
～11日 営訓練大会
北群馬郡榛名湖畔
- 8月20日 優秀スカウト特別訓練
～26日 山中野営場
本県参加者 阿部 等 利根1隊
阿部憲二 利根13隊
市川節夫 甘楽1隊
- 11月9日 県連総会
(県連結成三周年記念式)
高崎市南小学校



県連結成式 於前橋公園(S24.11.6)

昭和28年度 行事開催と派遣の記録

昭和28年

- 8月 6日 第5回全群馬BS関東招待野営
～10日 大会 三笠宮殿下、北野連盟長
出席 吾妻郡嬭恋村新鹿沢泉附
近
参加 県下スカウト 800名
埼玉・茨城・東京・山梨
400名 計1,200名
- 11月 8日 県連盟結成四周年記念大会
桐生市新川グランド
参加者 745名

昭和29年度 行事開催と派遣の記録

昭和29年

- 6月27日 1954年度日本名誉スカウト選抜
抜訓練
前橋市曲輪町公園（元野球場）
坂下剛男、中 作治 選抜
共に多野第1隊中学3年生
- 8月 6日 第6回群馬BS野営訓練大会
～11日 赤城山大沼畔県営スキー場
- 10月31日 県連結成五周年記念大会
前橋市城南小学校々庭
式後 グランド・フェア見学
参加 42隊 860名



全群馬ボーイスカウト大会
於伊勢崎市華蔵寺公園(S26.7.30)

昭和30年度 行事開催と派遣の記録

昭和30年

- 6月25日 昭和30年度全国年次総会
～26日 埼玉県所沢市・西武園～ユネス
コ村
7月28日 1級スカウト富士特別訓練
～
日連山中野営場
8月 3日 本県参加者 指導者2名 スカ
ウト24名
8月 6日 第7回全国群馬BS野営大会
～ 8日 桐生市相生町神平
参加 24ヶ隊 スカウト296名
11月 6日 県連結成六周年記念大会
渋川市立渋川中学校々庭
参加 39ヶ隊 597名

昭和31年

- 1月 7日 県連総会
～ 8日 伊香保福一旅館

昭和31年度 行事開催と派遣の記録

昭和31年

- 5月12日 日連総会
～13日 埼玉県秩父長瀬
小井戸哲夫、星野宏、後藤竜堂
三氏出席
8月 1日 第8回群馬BS野営大会
～ 3日 長野県軽井沢
8月 3日 第1回日本ジャンボリー
～ 8日 長野県軽井沢
参加 全国 869隊 11,640名
本県 400名
11月 4日 県連結成七周年記念大会
伊勢崎市公民館 参加者700名

昭和32年

- 1月19日 県連総会
～20日 伊香保福一旅館



第5回 全群馬B・S関東招待野営大会
於吾妻郡（S28.8.6～10）

昭和32年度 行事開催と派遣の記録

昭和32年

- 5月11日 日連総会
兵庫県宝塚温泉 後藤竜堂氏出席
- 8月 1日 第9回全群馬BS野営大会
～ 2日 千葉県銚子君ヶ浜海岸
参加 18隊 287名
- 8月 2日 関東キャンポリー
～ 5日 千葉県銚子君ヶ浜海岸
- 8月 4日 アメリカBS第三地区野営大会
～30日 高崎第7隊 吉田信之君参加
- 11月17日 県連結成八周年記念大会
藤岡市藤岡小学校々庭
参加 600名

昭和33年度 行事開催と派遣の記録

昭和33年

- 4月20日 県連総会
前橋市群馬会館三階第1会議室
県連盟規約改正による新組織移行のため県連総会
県連盟規約案審議
役員改選
32年度各種報告 33年度計画審議
- 7月20日 富士野営参加シニアスカウト特別訓練 群馬会館
- 8月 2日 第10回全群馬BS野営大会
～ 4日 前橋市敷島公園
参加者 700名
- 7月27日 シニアスカウト富士野営
- 8月 1日 日連山中野営場
参加 指導者 福田 勉
スカウト 8名
- 11月 9日 県連結成九周年記念大会
桐生市産業文化会館 参加700名



第10回 B.S全群馬野営大会(S33.8.2～4)

昭和34年度 行事開催と派遣の記録

昭和34年

- 4月 5日 第10回世界ジャンボリー（フィリピン・マニラ郊外）派遣員
銓衡会 前橋市
前橋市群馬会館BS本部
銓衡結果
正規要員指導者 後藤 竜堂
" 高頭 和之
正規要員スカウト 鈴木 修
" 下城 博充
" 小林 茂美
" 飯塚 登
" 久保田 覚
" 井上 士郎
" 野口 薫
" 野村 義征
補欠要員スカウト 伊丹 一利
" 森 孝二
- 4月26日 県連昭和34年度年次総会
前橋商工会議所
- 5月16日 全国総会
～17日 滋賀県大津市
勝実道、星野宏、後藤竜堂、桜井玉寿、4氏出席
- 6月20日 関東ブロック会議
茨城県大洗町海岸魚来庵
日本ジャンボリーについて
- 7月 7日 世界ジャンボリー派遣員出発
7月16日 世界ジャンボリー
～26日 フィリピン・マニラ郊外マツキン
ンリン国立公園
- 8月 3日 第2回日本ジャンボリーに出発
8月 6日 第2回日本ジャンボリーに参加
～10日 滋賀県餐庭野（あいばの）
参加 18隊 役員17名 指導者50名 スカウト281名
計348名

昭和34年度 行事開催と派遣の記録

昭和34年

- 8月12日 全員無事帰県
8月21日 第11回全群馬BS野営大会
～23日 太田市公民館 参加700名
11月 8日 県連結成10周年記念大会
沼田市西小学校々庭
10年継続団表彰
沼田第1団 伊勢崎第1団 前橋第1団 太田第1団 沼田第3団 伊香保第1団 桐生第7団 藤岡第1団 桐生第2団 伊勢崎第5団 伊勢崎第6団

昭和35年

- 3月 1日 日本連盟宣伝車派遣
～ 4日 倍加運動、未結成地域への認識
日連 石川一郎、鈴木孝雄、二氏
県連 星野 宏 県コミッション
一 桜井玉寿事務局長
- 1日 館林市、大泉町 説明会・映画会
2日 渋川市、新治村 " "
- 3日 中之条、安中市 " "
- 4日 高崎市、新 町 " "

昭和35年度 行事開催と派遣の記録

昭和35年

- 5月14日 全国年次総会
～15日 静岡県御殿場中央青年の家
星野 宏、桜井玉寿、勝 実道、
栗原 博、4氏出席
- 5月22日 スカウト・シンポジウム
U・S・Aジコピリージャンボ
リー参加者壮行会を兼ねる
伊勢崎市公民館 参加600名
- 7月 9日 U・S・Aジコピリージャンボ
～
リー
- 8月16日 参加者 指導者 勝 実道 ス
カウト 久保田 英利(伊勢崎)
日連関係 佐藤春重
- 7月26日 年長隊富士野営
～31日 日連山中野営場
参加 榎原一治(伊勢崎第6団)
- 11月16日 県連結成11周年記念大会
高崎市立東小学校々庭

昭和36年度 行事開催と派遣の記録

昭和36年

- 5月20日 日連年次総会
～21日 山形県山形市山形放送会館
三沢祐長、勝実道、星野宏、吉
川亀吉、4氏出席
- 7月26日 年長隊富士野営
～31日 日連山中野営場
参加スカウト 山本貞良、鈴木
一久、小泉美雄、松本滋、4名
- 6月28日 沖縄スカウトの交歓派遣
～
派遣員 茂木一産、神倉正生、
- 8月10日 高橋順三郎、徳永 詢、4名
- 8月 3日 第12回全群馬BS野営大会
～ 7日 利根郡丸沼湖畔
参加 500名(カブ含)
- 10月15日 県連結成12周年記念大会
前橋市群馬会館大ホール
参加スカウト 700名

昭和37年度 行事開催と派遣の記録

昭和37年

- 4月 5日 第1回群馬カブラリー
～ 6日 高崎市
参加カブスカウト 300名
- 5月12日 日連年次総会
～13日 愛媛県松山市
星野宏、勝実道、野口喜一郎、
吉川亀吉、4氏出席
- 8月 1日 アジア・ジャンボリー参加出発
～ 8日 (兼第13回全群馬BS野営大
会) 全員無事帰県
- 11月 4日 県連結成13周年記念大会
安中市安中小学校 参加1,170名

昭和38年

- 3月31日 全国カブラリー
大宮市 本県参加 400名

昭和38年度 行事開催と派遣の記録

昭和38年

- 4月14日 昭和38年度県連年次総会
高崎市野村証券階上
- 5月 4日 群馬県郷土美化運動 各団参加
- 5月11日 日連年次総会
東京明治神宮参集殿
星野宏、勝実道、吉川亀吉、野
口喜一郎
表彰式に 榎原政治、佐山弥一
郎、斉藤清治、服部政美、計8
氏出席
- 6月22日 関東ブロック会議
～23日 栃木県鬼怒川星の屋旅館
星野宏、吉川亀吉、野口喜一郎、
榎原政治、佐藤春重、塚越俊彦、
小野里和四郎、金井佐伝、斉藤
清治、9氏出席
- 7月 6日 関東ブロック事務局長会議
～ 7日 伊香保福一旅館
来年度関東キャンボリーについて
- 8月 1日 第14回全群馬BS野営大会
～ 4日 北群馬郡榛東村陸上自衛隊第12
師団相馬ヶ原演習場 参加600名
- 11月 3日 県連結成14周年記念大会
館林市三の丸公園 参加1,300名

昭和39年度 行事開催と派遣の記録

昭和39年

- 5月13日 日連年次総会
北海道・札幌
三沢祐長、星野宏、吉川亀吉、
小野里和四郎、4氏出席
- 7月30日 ボーイスカウト関東合同野営
～ 第15回全群馬BS野営大会
- 8月2日 榛名山沼の原 参加1,000名
- 9月13日 関東合同野営反省会
前橋愛全会館
- 11月1日 県連結成15周年記念大会
前橋市
- 11月7日 石坂泰三総裁推戴式
神田駿河台中央大学 5名出席

昭和40年度 行事開催と派遣の記録

昭和40年

- 4月24日 故三島通陽総長日本連盟葬
東京渋谷公会堂 代表6名参列
- 5月8日 日連年次総会 東京明治神宮
勝実道、鈴木武雄、吉川亀吉、
小野里和四郎、4氏出席
- 7月27日 年長隊富士野営
～ 山中野営場 参加 指導者 吉
川亀吉、渋谷羨夫両氏 隊員22
名
- 8月1日 中国(台湾)ジャンボリー
～15日 細谷和夫君(高崎)参加
- 9月5日 第1回スカウトラリー
伊勢崎市華蔵寺公園 参加1,200名

昭和41年

- 1月15日 関東ブロック会議
山梨県甲府市湯村 勝実道、吉
川亀吉、小野里和四郎、3氏出
席
- 2月20日 B・P祭
高崎市城東小学校体育館

昭和41年度 行事開催と派遣の記録

昭和41年

- 5月14日 日連年次総会
～15日 岡山県岡山市県農業会館
三沢祐長、佐藤春重、桜井玉寿、
吉川亀吉、小野里和四郎、出席
日本ジャンボリー会場視察
- 5月22日 関東カプラー
千葉県稲毛海岸 参加 388名
- 7月17日 関東ブロック会議
神奈川県横浜市留仙閣
- 8月 5日 第4回日本ジャンボリー
～ 9日 岡山県日本原 全参加数30,000名
本県参加 360名
- 9月 4日 日本ジャンボリー反省会
高崎市青雲塾
- 2月16日 第2回B・P祭
前橋市県スポーツセンター
群馬連盟歌制定
作詩 鈴木比呂志 作曲 植村
享 両先生に感謝状贈呈



日本ジャンボリー岡山
(S41.8.5～9)

昭和42年度 行事開催と派遣の記録

昭和42年

- 4月 2日 第5回関東カプラー
高崎市観音山 参加数 6,000名
- 5月13日 日連年次総会
～14日 東京都富士銀行本店会議室
勝実道、桜井玉寿、星野宏、三
沢祐長、小野里和四郎、5氏出席
- 6月 4日 総長諮問委員会 東京都
桜井玉寿氏出席
- 7月 2日 国際野営スタッフ派遣員出発
～ 場所 アメリカ合衆国
- 8月29日 本県参加 中山章君(高崎11団)
- 7月16日 第6回青年スカウト合同野営
～21日 日連山中野営場 高崎第19団
青年隊 富田憲一 中田耕一両
君参加
- 7月21日 外国派遣スカウト壮行会
前橋市中央公民館-婦人青少年
センター
第12回世界ジャンボリー
茂田 薫 桜井茂夫(高崎11団)
古川昌司(太田5団) 坪井良
弘(桐生4団) 三沢祐長(県
連) 韓国ジャンボリー
常見佳久(桐生4団)
- 7月24日 昭和42年度長隊富士野営
～29日 日連山中野営場 本県参加6名
- 8月 1日 第12回世界ジャンボリー
～31日 アメリカ合衆国ファラガット公園

昭和43年

- 2月18日 群馬連盟第3回B・P祭
桐生市産業文化会館
参加者 1,200名

昭和43年度 行事開催と派遣の記録

昭和43年

- 5月18日 日連年次総会 福岡県福岡市
 ～19日 勝実道、根岸努、星野宏（日連）
 各氏出席
- 7月25日 第6回エセックス国際ジャンボ
 リー 英国
- 7月25日 昭和43年度年長隊富士野営第
 ～31日 1回 山中野営場
- 7月27日 昭和43年度県連野営大会
 ～29日 （第16回）高山村大原キャンプ場
- 8月 2日 年長隊富士野営第2回
 ～ 7日 山中野営場
- 7月20日 海外派遣壮行会
 前橋スワン食堂
 英国エセックスジャンボリー派遣員
 遣員 渋木羨夫氏
- 12月15日 海外派遣スカウト壮行会
 群馬会館
 第5回ニュージーランドジャン
 ボリー派遣員
 指導員 井出存祐
 隊員 青木雅直
 高橋恒人
 関口泰之
 坪井良真
- 12月22日 第5回ニュージーランドジャン
 ボリー ニュージーランド
- 1月14日 第4回群馬県連盟B・P祭
 高崎市立第3中学校
- 3月 8日 関東ブロック会議 大宮市
 ～ 9日

昭和44年度 行事開催と派遣の記録

昭和44年

- 4月 1日 国際キャンプスタッフ派遣員選
 ～ 3日 考試験 那須野営場
- 5月 3日 第8回青年合同野営（第1部）
 ～ 5日 那須野営場
- 5月17・18日 日連年次総会 東京富士銀行本店
- 6月15日 海外派遣壮行会 伊香保福一旅館
- 6月30日 カナダ青少年大会派遣団出発
- 7月 1日 国際キャンプスタッフ計画派遣
 団出発 アメリカ
- 7月12日 第13回WJスタッフ要員研修
 派遣団出発 アメリカ
- 7月26日 年長隊富士野営第1回 山中野
 ～31日 営場
- 7月27日 第6回関東カブラリー 日光市
- 8月 2日 年長隊富士野営第2回 山中野
 ～ 8日 営場
- 8月17日 第8回青年スカウト合同野営（
 ～22日 2部） 山中野営場
- 10月 5日 群馬連盟結成20周年記念大会
 市立沼田小学校
- 10月18日 第1回県ゴミ研究協議会 熱海
 ～19日 志ほみや旅館
- 12月22日 オーストラリア・シニアースカ
 ウト大会 派遣団出発
- 昭和45年
- 2月 8日 関東ブロック会議 浦和市
- 3月28日 日本万国博覧会ボーイスカウト
 デー万国博会場
- 3月29日 第5回県連B・P祭
 伊勢崎豊受小学校

昭和45年度 行事開催と派遣の記録

昭和45年

- 4月 5日 5 N J 派遣 団員結団式 県庁講内
5 N J 現地々割 ジャボリー会場
- 5月 23日 日連年次総会 仙台市役所
～ 24日
- 6月 20日 関東ブロック 5 N J 打合せ会議
大宮国体記念会館
- 7月 25日 第 1 2 回スコットランド国際パ
トロールジャンボレット派遣団
出発
- 7月 25日 フィンランドジャンボリー派遣
団出発
- 8月 6日 5 N J 派遣 団出発 朝霧高原
～ 10日
- 8月 29日 5 N J 反省会 福一旅館
～ 30日
- 10月 8日 第 4 回中国ジャンボリー派遣団
出発 柳田広隆君
- 11月 7日 関東ブロック会議 船橋市
～ 8日
- 12月 23日 第 9 回オーストラリアジャンボ
リー派遣団出発

昭和46年度 行事開催と派遣の記録

昭和46年

- 4月 18日 県連盟第 6 回 B・P 祭 県立前
橋工業高校
- 5月 8日 関東ブロック会議 (9日まで)
船橋市
- 5月 15日 昭和 4 6 年度年次全国総会(16
日まで) 富士銀行
- 6月 10日 関東ブロック会議 (11日まで)
渋木理事長他 2 7 名 桐生青少
年センター
- 6月 12日 関東ブロック会議 (13日まで)
湯本
- 8月 2日 第 1 3 回世界ジャンボリー (10
日まで) 朝霞高原
- 8月 5日 第 7 回関東カブラリー前夜祭
桐生産業文化会館
- 8月 6日 第 7 回関東カブラリー
桐生市内公園 4 ヶ所
- 8月 13日 県連野営大会 (16日まで)
県立大原キャンプ場
- 12月 27日 沖縄研修派遣隊出発 (1 / 4 日
まで)

昭和47年

- 2月 26日 関東ブロック会議 (27日まで)
横浜



5 N J 派遣 団員結成
於県庁前(S45.4.5)

昭和47年度 行事開催と派遣の記録

昭和47年

- 5月20日 昭和47年度年次全国総会(21日
日まで) 渋谷副理事長他3名
長野県庁
- 7月17日 スコットランド国際パトロール
派遣員出発(8月15日まで)
小野里隊長
- 7月19日 第9回青年スカウト合同野営(24
日まで) 山中野営場
- 11月5日 日本連盟結成50周年記念中央
大会 明治神宮会館 理事長他
7名
- 12月17日 日本連盟結成50周年記念祭県
大会 伊香保福一旅館

昭和48年

- 1月27日 関東ブロック会議(28日まで)
理事長他 船橋市
- 2月18日 昭和47年度臨時全国総会
理事長他 スカウト会館

昭和48年度 行事開催と派遣の記録

昭和48年

- 4月7日 関東ブロック会議(8日まで)
小野里、渋谷、青山 甲府市
- 5月3日 ウッドバッジ研修所ボーイ課程
千葉第1期(6日まで)
那須野営場 指導者7名
- 5月13日 第11回身体障害者スポーツ大会
県営陸上競技場 前橋スカウト
50名
- 5月18日 昭和48年度年次全国大会(20
日まで) 東京富士銀行 理事長
他3名
- 6月11日 関東ブロック会議(12日まで)
福一(伊香保) 理事長他4名
- 7月20日 スエーデンナショナルキャンプ
(8/19まで) 桐生13団 丸山
第4回国際芸術週間英国(8/19
まで) 桐生13団 増山
- 7月28日 第8回アメリカナショナルジャ
ンボリー(8/27まで) 桐生13
団 齊藤
- 8月17日 県キャンボリー(20まで) 参
加者416名 赤城山小沼湖畔
- 12月20日 第10回オーストラリアジャン
ボリー(1/10まで) 高頭副コ
ミ 前橋5団上村
- 12月23日 フィリピン50周年記念ジャ
ンボリー(1/18まで) 桐生13
団(山根、土沢) 高崎18団(川山)

昭和49年

- 2月24日 昭和48年度第2回全国会議
理事長他6名 スカウト会館

昭和49年度 行事開催と派遣の記録

昭和49年

- 5月18日 昭和49年度全国会議（19日まで）ボーイスカウト会館
8月1日 第6回日本ジャンボリー（6日まで）北海道千歳原
12月20日 第7回ニュージーランドジャンボリー日本派遣団出発（50.1.12まで）

昭和50年

- 2月23日 昭和49年度、第2回全国会議
ボーイスカウト会館

昭和50年度 行事開催と派遣の記録

昭和50年

- 5月25日 第2回ぐんまカブラリー
敷島公園 2,200名参加
6月30日 国際キャンプスタッフ計画派遣
2名 今井健介 平方佳介(8/28まで)
7月20日 関東ブロック会議（21日まで）
伊香保グランドホテル
7月27日 第14回世界ジャンボリー派遣
坪井良行 中村素之(8/26まで)
7月28日 第14回世界ジャンボリー視察
団（8/17まで）
8月14日 バラギキャンプ参加者814
～17日 名
12月6日 関東ブロック会議（7日まで）
茨城県
12月21日 第4回オーストラリアスカウト
大会 篠田 一（1/9まで）

昭和51年

- 2月15日 年次全国大会 三和銀行

昭和51年度 行事開催と派遣の記録

昭和51年

- 4月 2日 日米フレンドシップ・パトロー
～ 4日 リー野営大会 桐生地区スカウ
ト40名参加
- 7月21日 日米スカウト交歓派遣 4名
～8月23日 アメリカ合衆国
- 8月 7日 第1回シニアスカウト野営大会
～11日 スカウト25名 スタッフ8名
新潟県
- 8月22日 関東ブロック会議 埼玉連盟事
務所

昭和52年

- 2月11日 関東ブロック会議 千葉市民会館
2月19日 年次全国会議 三和銀行東京ビル
～20日

昭和52年度 行事開催と派遣の記録

昭和52年

- 5月21日 全国会議
～22日 福島県文化センター
- 6月27日
～7月23日 カナダ・ナショナルジャンボリ
ー派遣
- 7月16日 関東ブロック会議
～17日 根岸県コミ 堂前 伊勢崎市
7NJに関して
前橋第7団 矢島達郎(SS)
- 7月25日 第9回アメリカジャンボリー派遣
～8月23日 前橋第7団 石原健史(SS)
- 8月 9日 第5回韓国ジャンボリー派遣
～21日 館林第1団 中村武彦(SS)
- 8月12日 シニアスカウト大会 相馬ヶ原
～16日
- 8月13日 第20回県連野営大会
～16日 相馬ヶ原



県連野営大会 於相馬ヶ原(S52.8.13~16)

昭和53年度 行事開催と派遣の記録

昭和53年

- 4月 1日 7NJ派遣団合同訓練
～ 2日 スカウトフォーラム
国立赤城青年の家
- 4月16日 3SC部長会議 埼玉県連
- 4月29日 第4回日米フレンドシップ
～30日 パトローリー タマキャンプ場
- 5月 7日 故三沢祐長先達群馬県連盟葬
養行寺
- 5月21日 全国会議 御殿場市民会館
～22日
- 7月23日 7NJ 壮行会 県庁構内
- 8月 3日 7NJ代表スカウトフォーラム
～ 4日 山中野営場
- 8月 3日 第7回日本ジャンボリー
～ 9日 参加者 305名 御殿場

昭和54年

- 3月24日 関東ブロック会議
～25日 山梨県

昭和54年度 行事開催と派遣の記録

昭和54年

- 3月31日 第5回フレンドシップパトロー
～4月 1日 リー 米陸軍相模原総合補給
40名参加(高崎・碓氷鎗)
- 4月30日 国際児童年記念「全国縦断キャ
～5月 3日 ンペーン」
- 5月26日 全国会議 三和銀行
- 6月16日 第9回障害児スカウティング指
～17日 導者研究集会 スカウト会館
- 7月19日 中央ヨーロッパ派遣団出発
ロンドン(3名)
- 7月27日 北ヨーロッパ派遣団出発
コペンハーゲン(3名)
- 8月 4日 第3回群馬カブラリー
～ 5日 桐生新川球場906名
- 11月24日 関東ブロック会議 水戸市
～25日 県連結成30周年記念祝賀会
前橋商工会議所(89名)
- 12月22日 第4回アジア・太平洋地域
～1月10日 ジャンボリー シドニー(2名)

昭和55年

- 1月27日 北関東3県代表者会議

会議の記録

昭和23年度 会議の記録

- 大正11年 4月13日 少年団日本連盟設立
(1921年)
- 大正13年 8月20日 ボーイスカウト国際事務局登録(継承)
(1923年)
- 昭和10年 7月 1日 財団法人(大日本少年団連盟)認可
(1935年)
- 昭和16年 5月31日 大日本青少年団に統合を命ぜられ解散(財団法人健志会に改組)
(1941年)
- 昭和21年 12月 4日 ボーイスカウト運動再建承認(総司令部民間情報教育局)
(1946年)
- 昭和22年 5月 1日 ボーイスカウト日本連盟設置
(1947年)
- 昭和24年 6月12日 財団法人(健志会を再改組)認可
(1949年)
- 昭和25年 6月30日 ボーイスカウト国際事務局再登録
(1950年)

養成と研修記録

- 昭和23年 7月13日 BS指導者公認講習会
～16日 於一ノ宮公民館
主任講師 今井襄二氏
受講者48名 リーダースクラブ結成
- 昭和24年 2月24日 BS指導者公認講習会
～26日 於一ノ宮公民館
主任講師 関 忠志氏
尾崎忠次氏 受講者24名

昭和24年度 会議の記録

- 昭和24年
7月29日 県連結成準備委員会 於前橋商工クラブ
委員長 藤井 勲氏 副委員長 栗原 博氏 小井戸哲夫氏
- 10月 9日 各隊代表者集会 総会規約審議決定
- 10月16日 理事選出 監事選出
理事会 事務局組織決定
名誉顧問 顧問決定
- 10月29日 理事会 結成式についての打合せ
- 11月 3日 理事会 結成式についての打合せ

養成と研修記録

- 6月15日 第1回中央特修実習所え
～20日 小井戸哲夫氏入所
- 11月26日 第3回公認指導者講習会
～29日 太田市金山
主任講師 尾崎忠次氏
藤井 勲氏
受講者45名

昭和25年度 会議の記録

昭和25年

- 7月 8日 関東ブロック会議(群馬当番県)
～ 9日 利根郡水上町水上温泉山水楼

養成と研修記録

- 4月 20日 第3回修実修所、指導主事北
～26日 条富司氏入所
4月 29日 指導者集会
群馬大学学芸学部内附属クラブ
日連指導主事 永井秀直氏出席
5月 4日 第4回BS指導者公認講習会
～ 7日 利根郡沼田町記念館
主任講師 星野宏 受講者52名
10月 27日 第5回BS指導者公認講習会
～30日 甘楽郡一の宮町公民館
主任講師 星野宏 受講者54名
11月 3日 第1回隊長講習会
～ 5日 前橋市敷島公園 受講者20名

昭和26年度 会議の記録

昭和26年

- 5月 20日 役員会 日連規約改正にともない新しい県連組織について
世界ジャンボリー及び英国派遣隊隊員詮衡会 詮衡の結果20名中より次の5名を日連に推薦
巷野 安司 太田第1隊
日高 忠義 前橋第3隊
星野 元重 佐波第1隊
奥田 佳久 太田第4隊
橋本 光彦 北群馬第1隊
7月 13日 一級進級考査 前橋市・事務局
7月 15日 " 太田市
7月 22日 " 沼田町・星野方
3月 16日 県連総会
群馬会館三階会議室
日連諸規定改正に伴って、県連組織をどうするか。

養成と研修記録

- 4月 1日 一級進級考査
前橋市前代田 前橋市立第1中学校 受講者68名
5月 3日 第6回BS指導者養成会
～ 6日 甘楽郡一の宮公民館
主任講師 今井襄二 受講者35名
7月 22日 第2回隊長講習会
～26日 沼田町沼田公園下 12名参加
9月 15日 第7回BS指導者養成会
～16日 山田郡大間々町教育会館
22日 主任講師 小井戸哲夫
～23日 受講者37名
11月 16日 第8回BS指導者養成会
～18日 利根郡加葉山 主任講師 星野宏 受講者29名

昭和27年

- 1月 25日 第9回BS指導者養成会
～27日 高崎市観音山 主任講師 星野宏 受講者26名
3月 1日 第1回ソング研究会 伊香保
～ 2日 主任 桜井玉寿 受講者36名

昭和27年度 会議の記録

昭和27年

- 4月 1日 県連事務局移る
前橋市曲輪町群馬会館内（正面
玄関入って左階段下）
雇員 塩原栄一君
坪数 二坪六合七勺
賃貸料 1ヶ月に付 67円
- 4月 9日 BS北関東地区協議会
高崎市役所
- 7月 1日 県連維持会員募集開始

養成と研修記録

- 5月23日 第3回隊長講習会
～26日 高崎市観音山スカウト館
- 6月27日 第10回BS指導者養成会
～30日 （第1回カブ補講を含む）
受講者25名
- 8月22日 第11回BS指導者講習会
～25日 （第2回カブ補講含む）
利根郡沼田町 主任講師星野宏
受講者12名
- 10月31日 第12回BS指導者養成会
～ （第3回カブ補講含む）
- 11月 3日 吾妻郡嬭恋村鹿沢温泉

昭和28年度 会議の記録

昭和29年

- 1月 9日 役員・リーダー新年会
～10日 伊香保福一旅館
- 3月 第1回フリッピン全国ジャン
ボリー参加スカウト並びに指導
者として次の三君が選ばれる。
スカウト 石島徹哉 桐生2隊
指導者 桜井 正 地区コミ
" 塩野栄一 事務局員
（この計画は、浅念ながら日本
の外貨の関係で中止された）

養成と研修記録

- 4月 3日 第13回BS指導者養成会
～ 6日 高崎市上野神社
主任講師三沢祐長 受講者25名
- 8月 1日 第14回BS指導者養成会
～ 4日 （カブ補講含む）
利根郡沼田町記念館
主任講師星野宏 受講者15名
- 8月 3日 第4回CS補講講習会
～ 4日 BSと同会場 受講者12名
- 8月13日 北関東第1回地方指導者研修所
～19日 吾妻郡嬭恋村新鹿沢
所長 古田誠一郎 研修者8名
- 8月17日 1,953年度名誉スカウト特別訓練
～23日 東京都葺手町田中山～山中野営場
参加者 井下尚重 伊勢崎第2隊
塩沢良二 邑楽第3隊
- 9月10日 第15回BS指導者養成会
～13日 （カブ補講含む）
新田郡強戸村長生館
主任講師星野宏 受講者12名

昭和29年

- 2月17日 第16回BS指導者養成会
～19日 甘楽郡一の宮公民館
主任講師三沢祐長 受講者26名

昭和29年度 会議の記録

昭和29年

- 5月 9日 理事会・コミッショナー会議
群馬会館三階第二会議室
- 6月 8日 教育長 黒沢得男氏 副連盟長に

昭和30年

- 1月 7日 関東地区第一回連絡協議会
～ 8日 伊香保町福一旅館
- 1月 8日 県連総会及び新年会
～ 9日 伊香保町福一旅館
規約改正、役員改選 その他

養成と研修記録

- 8月 9日 第17回BS指導者養成会
～11日 赤城山大沼湖畔県営スキー場
- 10月15日 第18回BS指導者養成会
～17日 桐生市相生薬王寺
主任講師 後藤竜堂 受講者9名

昭和30年度 会議の記録

昭和30年

- 4月 6日 理事会
前橋市県庁内職員研修所
29年度行事・会計報告
30年度予算・行事計画
新組織による役員欠員選出
事務局運営その他
- 6月24日 第1回全国指導者会議
～25日 埼玉県所沢市西武園内ユネスコ村
指導面に関する問題を協議し年
次総会に反映せしめた。隊長・
副長5ヶ年勤続奉仕の特別年功
章も授与された。
- 8月18日 第8回世界ジャンボリー
～28日 本県より桜井 正氏選ばれたが
学校の関係で不参加

養成と研修記録

- 7月26日 第19回BS指導者養成講習会
～28日 沼田市薄根中学校
主任講師三沢祐長 受講者16

昭和31年度 会議の記録

昭和31年

- 4月15日 理事・コミ会議
社教課長持丸理喜男理事転任、
後任に山口好見課長
- 4月22日 県連指導者会議
桐生市役所議員控室
- 5月27日 日本ジャンボリー準備会
群馬会館
- 9月9日 理事会・指導者反省会
群馬会館三階会議室
北野重雄連盟長知事辞任に付、
後任知事竹腰俊蔵氏を連盟長に推戴

昭和32年

- 2月17日 理事会
前橋カトリック教会
- 3月30日 コミッショナー会議
前橋カトリック教会
32年度の行事について協議

養成と研修記録

- 4月3日 第20回指導者養成会
～5日 前橋市敷島公園楽々園
主任講師三沢祐長 受講者10名
隊長研修会
前橋市敷島公園
主任講師星野宏 研修者3名
- 12月15日 第2回CS指導者養成講習会
～16日 桐生市相生町薬王寺
講師後藤竜堂 受講者26名

昭和32年度 会議の記録

昭和32年

- 4月6日 関東ブロック協議会
～7日 千葉県船橋
関東キャンポリーについて、他
- 4月21日 理事会
前橋カトリック教会
- 6月9日 コミッショナー・名誉会議
群馬会館県連本部
- 6月22日 関東野営大会準備打合せ会
千葉県銚子市 後藤竜堂、土屋
喜英、栗原国太郎、三氏出席
- 7月13日 理事・指導者会議
群馬会館
- 9月29日 指導者会議
前橋カトリック教会
- 12月7日 主任講師協議会・ブロックコミ
～8日 ッショナー会議
沼田市長寿院

養成と研修記録

- 4月27日 第21回BS指導者養成講習会
～29日 桐生市相生町薬王寺
主任講師後藤竜堂 受講者8名
- 8月27日 第22回BS指導者養成講習会
～29日 伊香保芦花会館
主任講師後藤竜堂 受講者11名
- 10月5日 第3回CS指導者養成講習会
～6日 太田市公民館
主任講師北条富司 受講者7名
- 10月26日 第23回BS指導者養成講習会
～27日 太田市公民館
- 11月2日 主任講師北条富司 受講者9名
～3日

昭和33年度 会議の記録

昭和33年

- 4月27日 理事会
桐生市水道山
- 6月8日 コミッショナー会議
群馬会館BS本部
- 7月6日 理事会
前橋カトリック教会
- 10月26日 国際ロータリー第355地区年次
～28日 大会 前橋市にて開催
スカウト会場整理、観光地案内
に奉仕、三島総長臨席

昭和34年

- 1月17日 役員・指導者新年懇親会
前橋カトリック教会
34年度事業計画について

養成と研修記録

- 4月26日 第24回BS指導者養成講習会
～29日 桐生市水道山公園
主任講師吉川亀吉 受講者18名
- 8月1日 隊長研修会
～4日 前橋市敷島公園
主任講師後藤竜堂 受講者
指導者養成基準改正による研修会
- 8月15日 第25回BS指導者養成講習会
～17日 水上町小学校
主任講師星野宏 受講者7名
- 8月22日 第26回BS指導者養成講習会
～24日 藤岡市七丁目三夜塾
主任講師勝実道 受講者17名
- 1月24日 第27回BS指導者養成講習会
～25日 伊勢崎市豊受公民館
主任講師桜井玉寿 受講者9名
- 1月31日
2月1日

昭和34年度 会議の記録

昭和34年

- 6月7日 指導者集会
伊勢崎市桜町公民館
世界・日本ジャンボリー、県大
会について
第10回世界ジャンボリー派遣
員が正式に決定
指導者 後藤竜堂
スカウト 鈴木修 下城博充
小林茂美 飯塚登
久保田覚 井上士郎
野口薫 野村義征
伊丹一利 以上10名
- 10月25日 理事会・名誉会議
前橋カトリック教会

昭和35年

- 1月16日 新年度懇親会
～17日 水上町大穴ナルタキ旅館

養成と研修記録

- 6月13日 第4回CS指導者養成講習会
～14日 高崎市大観音慈眼院
主任講師金井佐佐 受講者17名
- 1月23日 第28回BS指導者養成講習会
～24日 伊勢崎市豊受公民館
30日 主任講師星野宏 受講者10名
～31日

昭和35年度 会議の記録

昭和35年

- 4月10日 理事会・コミッショナー会議
伊勢崎市茂呂山楽荘
- 4月24日 昭和35年度県連年次総会
前橋市公民館
- 6月5日 指導者会議
前橋市公民館
日連規約改正・進歩制度について
- 9月4日 県連理事会
前橋カトリック教会
- 10月1日 北条富司事務局長勤務の関係上
事務局長辞任、後任に吉川亀吉
氏が就任、事務局桐生市高砂町
266に移る。
- 10月8日 関東ブロック会議
神奈川県箱根湯本みどり荘
勝実道理事長、星野宏県コミ出席
- 10月23日 県連理事会 高崎市小野塚理事宅

養成と研修記録

- 6月11日 第5回CS指導者養成講習会
～12日 前橋カトリック教会
主任講師星野宏 受講者27名

昭和36年度 会議の記録

昭和36年

- 4月2日 県連36年度年次総会
～3日 伊香保福一旅館
事業・会計報告、事業計画・予
算計画、役員改選
- 10月1日 県連理事会
前橋カトリック教会
- 10月21日 関東ブロック指導者懇談会
～22日 埼玉県奥秩父三峰神社
勝実道、吉川亀吉、佐山弥一郎、
佐藤春重、金井佐伝、5氏出席

昭和37年

- 1月28日 県連理事会・新年懇親会
桐生菱村東泉閣

養成と研修記録

- 7月15日 第6回CS指導者講習会
～17日 高崎観音山慈眼院
主任講師金井佐伝 受講者24名
- 3月3日 第30回BS指導者養成講習会
～5日 高崎観音山慈眼院
主任講師星野宏 受講者26名

昭和37年度 会議の記録

昭和37年

- 6月10日 指導者集会 前橋
アジア・ジャンボリーについて
- 7月9日 第11回世界ジャンボリー参加者決定、
指導者勝実道、スカウト小野里清治
- 9月9日 県連理事会・名誉会議 前橋

昭和38年

- 2月9日 関東ブロック会議
～10日 千葉県木更津市青年の家
星野宏、勝実道、野口喜一郎、
吉川亀吉、佐山弥一郎、齊藤清
治、6氏出席
- 3月3日 県コミッションナー会議
前橋小野里理事方
高崎地区BP祭 市内中央公民館
- 3月25日 昭和37年度県連年次総会
伊香保福一旅館

養成と研修記録

- 7月14日 第7回年少部指導者養成講習会
～16日 高崎市護国神社
主任講師金井佐伝 受講者26名
- 7月21日 第8回年少部指導者養成講習会
～22日 第31回年少部指導者養成講習会
28日 沼田市オリエント工芸
～29日 主任講師星野宏
受講者 年少部 11名 少年
部 19名
- 8月25日 第32回年少部指導者養成講習会
～27日 安中市蓮久寺
主任講師星野宏 受講者13名
- 10月20日 第33回年少部指導者養成講習会
～21日 第9回年少部指導者養成講習会
27日 桐生市東小学校
～28日 主任講師(少年部)後藤竜堂
受講者 22名
主任講師(年少部)金井佐伝
受講者 23名

昭和38年度 会議の記録

昭和38年

- 5月19日 県コミ・常任理事会
前橋第5団集会所
- 6月2日 県野営大会実行委員会
前橋第5団集会所
- 9月22日 県連理事会・指導者集会
前橋市愛全会館
- 9月26日 県連常任理事会 前橋萱町会議所
- 10月13日 県連名誉会議 前橋小野里氏宅

昭和39年

- 1月26日 指導者会議
前橋宮内センター 出席56名
- 2月1日 県連常任理事会 前橋第5団会議室
- 2月9日 団委員長会議・団委員長講習会
伊香保福一旅館
- 3月1日 県コミッションナー会議
前橋第5団会議室
- 3月15日 第2回団委員長会議 前橋第5団会議室

養成と研修記録

- 4月27日 実修所員研究協議会
吉川亀吉、佐山弥一郎、金井佐
伝、齊藤清治、村沢信夫、福田
実、真木実、7氏参加
- 7月13日 第10回CS指導者養成講習会
～15日 安中市蓮久寺
主任講師金井佐伝 受講者39名
- 7月20日 第34回BS指導者養成講習会
～22日 太田市公民館
主任講師星野宏 受講者27名
- 8月19日 第2回ソングリーダー講習会
～20日 太田市公民館
講師 桜井玉寿、谷 正之、金
井佐伝 受講者35名
- 11月30日 第35回BS指導者養成講習会
～ 太田市公民館
- 12月2日 主任講師星野宏 受講者36名

昭和39年度 会議の記録

昭和39年

- 4月26日 昭和39年度県連年次総会
前橋警察署二階
- 6月14日 県連理事会
前橋第5団会議室
- 6月21日 関東ブロック会議
伊香保福一旅館
- 6月25日 県コミッションナー会議
前橋楽々園
- 9月26日 県コミ会議 沼田星野宏宅
- 10月 2日 " 前橋萱町公民館
- 10月 3日 県連理事会 前橋市油屋旅館
- 10月11日 名誉会議 桐生市後藤竜堂宅
- 11月29日 県連理事会 前橋萱町公民館
- 12月19日 " "
- 12月27日 " 高崎青雲塾
県コミ推薦の件

養成と研修記録

- 7月17日 第11回年少部指導者養成講習会
高崎観音山慈眼院
主任講師金井佐伝 受講者31名
- 10月16日 第36回BS指導者養成講習会
～18日 高崎市少林山
主任講師金井佐伝 受講者16名
- 11月21日 第37回BS指導者養成講習会
～22日 高崎市観音山慈眼院
主任講師星野宏 受講者7名
- 3月19日 第12回CS指導者養成講習会
～21日 水上町松泉閣
主任講師金井佐伝 受講者31名

昭和39年度 会議の記録

昭和40年

- 1月14日 県コミ会議 高崎金井佐伝宅
- 1月17日 県連理事会 前橋宮内センター
- 1月25日 県コミ会議 前橋天川会場
- 2月 6日 県連理事会・関東ブロック会議
伊香保福一旅館
関東カプラーリーについて
- 2月13日 県コミ会議 伊香保福一旅館
- 3月 7日 関東カプラーリー実行委員会
行田市魚七 吉川、金井出席
- 3月28日 県連理事会 前橋愛全会館

養成と研修記録

昭和40年度 会議の記録

昭和40年

- 4月14日 県コミ会議 前橋市天川
4月25日 " 伊勢崎桜井玉寿方
4月29日 県連理事会 高崎青雲塾
5月5日 県連年次総会
藤岡市第1幼稚園
6月11日 県コミ会議 前橋第5団訓練所
6月19～20日 7月17～18日 8月21～22日
隊長研修会 前橋第5団訓練所
主任講師勝 実道 研修者8名
6月27日 県連理事会 前橋第5団訓練所
7月1日 指導者養成委員会 "
7月18日 県コミ会議 安中市板鼻町
7月22日 県連理事会 婦人青少年センター
10月3日 " 前橋天川
10月24日 県コミ会議 "
11月9日 指導者養成委員会 高崎青年の家
11月18日 県コミ会議 高崎青雲塾

養成と研修記録

- 5月14日 第13回年少部指導者養成講習会
太田市公民館
主任講師金井佐伝 受講者30名
8月11日 第14回年少部指導者養成講習会
～22日 高崎青年の家
主任講師金井佐伝 受講者24名
8月20日 第38回少年部指導者養成講習会
～22日 前橋第5団訓練所
主任講師勝実道 受講者27名
11月12日 第39回少年部指導者養成講習会
～14日 高崎青年の家
主任講師勝実道 受講者20名

昭和40年度 会議の記録

- 11月21日 県連理事会 高崎青雲塾
11月28日 指導者会議 桐生三ツ葉電気KK
日本ジャンボリーの件、その他
12月26日 県名誉会議 前橋
昭和41年
1月9日 県連指導者新年顔合せ会
高崎観音山ヘルスセンター
参加者57名
2月6日 県連理事会 高崎青雲塾

養成と研修記録

昭和41年度 会議の記録

昭和41年

- 4月24日 県連理事会 桐生三ツ葉電機KK
 5月3日 " 婦人青少年センター
 県連年次総会 "
 5月28日 県連理事会 高崎青雲塾
 5月29日 指導者会議 桐生三ツ葉電機KK
 日本ジャンボリーについて
 7月3日 県コミ会議 伊勢崎市桜井方
 7月10日 県連理事会 前橋市柳田方
 9月18日 " 高崎市青雲塾
 10月9日 県連役員会 "
 11月13日 団代表者会議 大間々ながめ
 11月26日 県連役員会 高崎市鈴木方
 12月4日 県連理事会 高崎市青雲塾
 12月25日 県コミ会議 前橋市柳田方

昭和42年

- 1月15日 県連理事会 前橋市八百徳
 3月5日 関東ブロック会議
 ~ 6日 高崎市観音山錦山荘
 第5回関東カブラリーについて

養成と研修記録

- 5月13日 第15回年少部指導者養成講習会
 ~15日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師金井佐伝 受講者16名
 6月3日 第40回少年部指導者養成講習会
 ~5日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師勝実道 受講者19名

昭和42年度 会議の記録

昭和42年

- 4月16日 県連理事会 高崎市青雲塾
 5月7日 " "
 5月28日 県連年次総会
 前橋市婦人青少年センター
 6月11日 県コミ会議 婦人青少年センター
 6月25日 指導者会議 "
 テーマ BSの新しいビジョン
 7月9日 県連理事会 前橋市愛全会館
 9月10日 県コミ会議 赤堀村鎬木ガーデン
 10月10日 常任理事会 センター内県連本部
 10月14日 県コミ会議 "
 10月26日 名誉会議 "
 11月19日 県コミ会議・名誉会議 "
 12月2日 育成会長・団委員長会議
 ~ 3日 伊香保福一旅館
 12月3日 指導者会議 伊香保福一旅館
 12月24日 名誉会議 センター内県連本部

養成と研修記録

- 7月17日 第16回年少部指導者養成講習会
 ~23日 17, 18, 19, 21, 高崎市立図書館
 22, 23, 高崎青年の家
 主任講師金井佐伝 受講者35名
 8月13日 指導者養成委員会 前橋市萱町
 8月25日 第41回少年部指導者養成講習会
 ~27日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師桜井玉寿 受講者24名
 9月15日 第17回年少部指導者養成講習会
 ~17日 大泉町東京三洋電機KK
 主任講師佐山弥一郎 受講者21名
 第6回少年部指導者研修会
 佐波郡赤堀村鎬木ガーデン
 主任講師桜井玉寿 研修者4名
 10月7日 ソングリーダー講習会
 ~8日 前橋市婦人青少年センター
 主任講師桜井玉寿 受講者37名

昭和43年度 会議の記録

昭和43年

- 4月21日 県コミ会議 婦人青少年センター
 5月12日 県連理事会 高崎市青雲塾
 5月26日 県連年次総会
 前橋市婦人青少年センター
 6月16日 県連理事会 前橋市愛全会館
 6月23日 関東実修所少年部第11期スタッフ打合せ会 婦人青少年センター
 7月14日 県野営大会指導者打合せ会
 前橋市婦人青少年センター
 9月1日 実修所反省会 前橋城東公民館
 9月7日 第18回年少部 第43回少年部、指導者講習会スタッフ会議
 ・県コミ会議 伊勢崎市桜井方
 9月15日 県連理事会 前橋市群馬会館
 9月22日 組織拡張委員会 県連本部
 10月13日 財政・野営行事・健康安全委員会
 会 婦人青少年センター

養成と研修記録

- 4月28日 隊長研修会 桐生市立梅北山の家
 ～29日 主任講師 渋木羨夫 研修者10名
 5月3日 第42回少年部指導者養成講習会
 ～5日 沼田市教育記念館
 主任講師 星野宏 受講者21名
 6月8日 年少幹部訓練
 ～9日 吾妻郡高山村北毛青年の家
 8月15日 関東実修所少年部第11期スタッフ会議 前橋市城東町公民館
 8月20日 関東実修所少年部第11期
 ～25日 所長 石川秀次 大原キャンプ場
 10月5日 BS・SSソング講習会
 ～6日 高崎市少林山
 10月6日 年少部リーダー研修会
 高崎市少林山
 11月10日 少年部指導者研修会 群馬会館
 11月22日 第18回年少部指導者養成講習会
 ～24日 第43回少年部指導者養成講習会
 YMC A赤城キャンプ場

昭和43年度 会議の記録

- 10月20日 指導者会議 前橋市妙安寺
 11月23日 指導者養成委員会赤城キャンプ場
 12月1日 県連名誉会議 前橋城東町公民館
 12月8日 県連理事会 前橋市群馬会館
 12月29日 県連名誉会議 前橋城東町公民館

昭和44年

- 1月26日 育成会長・団委員長会議
 ～27日 年少隊長研究協議会
 新年顔合せ会
 伊香保福一旅館
 3月6日 指導者講習会スタッフ会議 桐生

養成と研修記録

- 年少部主任講師 金井佐伝
 少年部主任講師 立川弁祐
 受講者 年少部31名 少年部25名
 12月1日 少年部指導者研修会 群馬会館
 2月9日 少年部指導者研修会
 婦人青少年センター
 県連理事会 高崎カトリック教会
 3月2日 少年部指導者研修会
 桐生市勤労青少年ホーム
 3月21日 第19回年少部指導者講習会
 ～23日 第44回少年部指導者講習会
 県立北毛青年の家
 年少部主任講師
 少年部主任講師
 受講者 年少部8名 少年部10名
 3月22日 R・S・T研修会 北毛青年の家
 ～23日 参加者37名

昭和44年度 会議の記録

昭和44年

- 4月13日 県コミ会議 婦人青少年センター
 4月27日 県連理事会 群馬会館
 4月27日 名誉会議 婦人青少年センター
 5月25日 昭和44年度県連年次総会
 婦人青少年センター
 6月15日 コミ会議 伊香保福一旅館
 6月15日 県連理事会 //
 7月20日 コミ会議
 8月10日 県連理事会 群馬会館
 8月24日 コミ会議 婦人青少年センター
 9月7日 // //
 9月17日 少年部・年少部指導者講習会、
 少年部、指導者研修会、SS、
 RS特別訓練 スタッフ打合せ
 会議 前橋 諏訪神社々務所
 10月5日 県連常任理事会 群馬会館
 10月5日 県連名誉会議 婦人青少年センター

養成と研修記録

- 4月6日 婦人指導者研修会 桐生市勤労
 青少年ホーム
 4月20日 ソングリーダー講習会 群馬会館
 5月12日 少年部第45回指導者養成講習
 会(18日まで) 桐生市消防署
 梅北山の家
 年少部第20回指導者養成講習
 会(18日まで) 同上
 6月6日 スカウト歌唱の指導実修会
 青少年総合センター
 11月1日 少年部第46回指導者講習会(3
 日まで)
 年少部第21回指導者講習会(3
 日まで)
 11月2日 SS、RS特別訓練 県立北毛
 青年の家
 12月7日 年少部指導者研修会 群馬会館

昭和44年度 会議の記録

- 10月23日 コミ会議 事務局長宅
 12月6日 県連常任理事会 水上町
 ~7日
 12月7日 5NJ派遣スカウト所属隊長会
 議 群馬会館

昭和45年

- 1月31日 コミ会議 伊香保
 ~2月1日 団委員長、育成会長会議、福一
 旅館
 2月18日 5NJ派遣団隊長副長会議 群
 馬会館
 2月18日 県連名誉会議 群馬会館
 3月8日 県連理事会 //
 3月29日 5NJ派遣団隊長副長会議 伊
 勢崎

養成と研修記録

昭和45年度 会議の記録

昭和45年

- 4月 5日 常任理事会 群馬会館
4月 5日 コミ会議 〃
4月 5日 講習会スタッフ打合せ会議 〃
5月10日 名誉会議 婦人青少年センター
5月16日 理事会 諏訪会館
5月31日 県連年次総会 婦人青少年センター
6月14日 理事会 福一旅館
7月 5日 コミ会議 前橋市公民館
7月 5日 年長青年隊長会議 〃
7月19日 理事会 伊勢崎市華蔵寺
9月 6日 名誉会議 群馬会館
9月 6日 理事会 〃
10月 4日 コミ会議 滋眼寺
10月 4日 年長青年隊々長会議(第2日)
滋眼寺
11月29日 コミ会議 群馬会館
12月13日 県連理事会 〃

養成と研修記録

- 6月 6日 第22回CS指導者講習会
～ 7日 高崎市立図書館
6月 6日 第23回CS指導者講習会
～ 7日 桐生市消防署
6月 6日 第47回BS指導者講習会
～ 7日 桐生市消防署
7月18日 第48回BS指導者講習会
～19日 伊勢崎市華蔵寺
11月29日 指導者ソング講習会 前橋公園
2月 6日 第49回BS指導者講習会
～ 7日 聖フランシスコ修道院

昭和45年度 会議の記録

昭和46年

- 1月17日 コミ会議 婦人青少年センター
1月24日 理事会 福一旅館
1月24日 新年会 〃
2月21日 コミ会議 婦人青少年センター
3月21日 理事会 諏訪会館
3月21日 名誉会議

養成と研修記録

昭和46年度 会議の記録

昭和46年

- 5月 1日 県連名誉会議 婦人青少年センター
- 5月 5日 県連理事会 諏訪会館
- 5月18日 コミ会議 //
- 5月30日 県連年次総会 婦人青少年センター
- 6月27日 県連理事会 群馬会館
- 7月 7日 地区代表理事会議 諏訪会館
- 7月25日 コミ会議 群馬会館
- 9月12日 県連理事会 福一旅館
- 9月19日 名誉会議 群馬会館
- 11月14日 コミ会議 //
- 11月14日 地区コミ会議 //

昭和47年

- 1月16日 県連理事会 群馬会館
- 1月30日 団委員長・育成会長会議
新年会 福一旅館
- 2月13日 県連名誉会議 群馬会館
- 2月20日 // //

養成と研修記録

- 5月22日 第24回カブ課程指導者講習会
(23日まで)
聖フランシスコ修道院
- 6月19日 世界ジャンボリー派遣隊員研修
会(20日まで)
国立赤城青年の家
- 12月18日 第50回ボーイ課程指導者講習
会(19日まで)
安中3団集会所
- 3月25日 第51回ボーイ課程指導者講習会
会(26日まで)
聖フランシスコ修道院
- 3月25日 第25回カブ課程指導者講習会
(26日まで)
鷹巣保育園

昭和47年度 会議の記録

昭和47年

- 4月15日 県連理事会 福田理事長他18名 諏訪会館
- 4月15日 県連名誉会議 高頭副コミ他5名 //
- 4月20日 コミッショナー会議 高頭副
コミ他3名 局長宅
- 5月14日 県連理事会 副理事長他19名
諏訪会館
- 5月17日 コミッショナー会議 高頭副
コミ他3名 局長宅
- 5月23日 昭和47年度県連年次総会
副連盟長他41名 立正 成会
高崎教会
- 6月 4日 コミッショナー会議 根岸県
コミ他8名 諏訪会館
- 6月11日 県連理事会 理事長他23名
諏訪会館
- 6月25日 指導者研修要員チーム会議
根岸県コミ17名 群馬会館

養成と研修記録

- 5月13日 第26回カブ課程指導者講習会
(14日まで) 根岸主任講師
他38名 豊受公民館
- 9月14日 ウッドバッジ研修所ボーイ課程
群馬第1期(17日まで) 山
下所長他39名 県大原キャンプ場
- 10月 7日 ウッドバッジ研修所ガブ課程群
馬第1期(10日まで) 浅倉
所長他28名 県妙義少年自然の家
- 11月12日 シニアリーダー研修会 修了
者29名 (株)三ツ葉電機製作所
- 12月 2日 第27回カブ課程指導者講習会
(3日まで) 修了者33名 高
崎青年の家
- 3月 4日 指導者研修要員の研修会 青山
県コミ他12名 (株)三ツ葉電機製作所

昭和47年度 会議の記録

- 9月 2日 群馬連盟研修要員第2回会議
県コミ他12名 伊香保天溪園
- 9月 3日 県連理事会 諏訪会館
- 9月10日 県連名誉会議 //
- 10月29日 県連理事会 // 副理事他13名
- 12月10日 // // 理事長他18名
- 12月26日 コミ会議 局長宅
- 昭和48年
- 1月 9日 コミ会議 局長宅
- 1月24日 // //
- 1月28日 新年会 福一旅館
- 2月11日 県連名誉会議 群馬会館
- 2月23日 コミ会議 局長宅
- 2月25日 県連理事会 諏訪会館

養成と研修記録

- 3月10日 第28回カブ課程指導者講習会
(11日まで) 修了者26名
聖フランシスコ修道院
- 3月17日 第52回ボーイ課程指導者講習
会(18日まで) 修了者19名
聖フランシスコ修道院

昭和48年度 会議の記録

- 昭和48年
- 5月29日 名誉会議 諏訪会館 県コミ他4名
- 5月13日 理事会 // 理事長他15名
- 5月27日 昭和48年度県連年次総会
桐生商工会議所 出席者52名
- 6月 5日 県コミッショナー会議
県コミ宅 県コミ他4名
- 6月 9日 理事会 諏訪会館 理事長他17名
- 7月 1日 県コミッショナー会議 県コミ宅
- 7月 7日 // //
- 7月21日 理事会 理事長他14名 三ツ
葉電算センター
- 9月 2日 理事会 理事長他20名 諏訪
会館
- 10月14日 名誉会議 県コミ他7名 事務
長宅
- 10月14日 理事会 理事長他18名 前橋
中央公民館

養成と研修記録

- 4月14日 第29回指導者講習会カブスカ
ウト課程(15日まで) 修了者
34名 刀水会館
- 第53回指導者講習会ボーイ
スカウト課程(15日まで) 修了
者16名 刀水会館
- 4月22日 指導者研修会案内指導者67名
桐生商工会議所
- 6月16日 第30回カブスカウト課程指導
者講習会(17日まで) 修了者
33名 豊岡公民館
- 第54回ボーイ課程指導者講習
会 修了者28名 護国神社
- 6月24日 第2回指導者研修会 県コミ他
63名 県民会館
- 9月 8日 昭和48年度青少年指導者研修
会 太田43名参加 金山青年の家
- 9月 9日 第31回指導者講習会カブスカ
ウト課程 修了者33名 館林公民館

昭和48年度 会議の記録

- 10月14日 理事会 理事長他18名 前橋
中央公民館
- 10月20日 コミ会議
- 12月9日 理事会 理事長他16名 藤屋
ホテル
- 昭和49年
- 1月6日 コミ会議 県コミ宅
- 2月10日 名誉会議 諏訪会館
- 3月1日 // //
- 3月3日 理事会 //
- 3月17日 日本ジャンボリー指導者会議
太田市

昭和49年度 会議の記録

- 昭和49年
- 4月18日 名誉会議 諏訪会館
- 5月8日 理事会 //
- 6月2日 昭和49年度県連年次総会
県郵政福祉会館
- 6月18日 理事会 諏訪会館
- 7月5日 6NJ特別会議 //
- 7月6日 名誉会議 //
- 理事会 高崎問屋会館
- 8月25日 名誉会議 諏訪会館
- 理事会 山王飯店
- 9月29日 // 桐生青少年センター
- 10月24日 名誉会議 柳田経理事務所
- 11月18日 理事会 立正佼成会高崎教会
- 12月22日 // 福一旅館
- 昭和50年
- 1月26日 理事会 楽々園
- 2月2日 県コミ会議

養成と研修記録

- 9月23日 第55回指導者講習会ボーイ
スカウト課程 修了者15名 桐
生青少年センター
- 10月7日 WB研修所カブスカウト課程群馬第
2期(10日まで) 所長以下41
名 県立北毛青年の家
- 10月28日 指導者研修会 県内指導者86
名 高崎問屋センター
- 1月27日 第4回指導者研修会 県内指導
者68名 ホーライ館
- 2月17日 第33回指導者講習会カブスカウト
課程 修了者57名 高崎青年の家
第56回指導者講習会ボーイスカウ
ト課程 修了者18名 安中第1中
碓氷教場
- 3月10日 第57回指導者講習会ボーイスカウ
ト課程 修了者26名 桐生青少年ホーム
- 3月24日 第34回指導者講習会カブスカウト
課程 修了者42名 桐生商工会議所
第35回指導者講習会カブスカウト
課程 修了者43名 桐生商工会議所

養成と研修記録

- 4月21日 第36回カブスカウト課程指導
者講習会 前橋中央公民館
- 5月12日 第37回カブスカウト課程指導
者講習会 桐生青少年センター
- 5月26日 WB実修所第1教程研究会 三
ツ葉電機センター
- 6月30日 第38回カブスカウト課程指導者講
習会 高崎機械工業協同組合会館
- 10月10日 ウッドバッジ研修所ボーイスカウト
課程群馬第2期(13日まで) 西
毛野外教育センター
- 11月3日 第39回カブスカウト課程指導
者講習会 立正佼成会高崎教会
- 11月10日 第40回カブスカウト課程指導
者講習会 桐生市西公民館
第58回ボーイスカウト課程指
導者講習会 桐生市西公民館

昭和49年度 会議の記録

3月 3日 名誉会議 諏訪会館
 3月20日 理事会 //

昭和50年度 会議の記録

昭和50年
 4月10日 名誉会議 柳田計理事務所
 5月 8日 // "
 5月24日 理事会 前橋問屋会館
 6月15日 年次総会 高崎問屋センター
 7月13日 理事会 柳田計理事務所
 10月 3日 // 諏訪会館
 10月14日 名誉会議 "
 11月15日 県コミ会議 県コミ宅
 12月 7日 理事会 伊香保福一
 ~ 8日
 12月17日 名誉会議 柳田計理事務所

 2月17日 県コミ会議 県コミ宅
 2月29日 名誉会議 諏訪会館
 理事会 //

養成と研修記録

11月17日 第41回カブスカウト課程指導者講習会 太田市中央公民館
 11月21日 ウッドバッジ研修所カブスカウト課程 群馬第3期(24日まで) 県立妙義少年自然の家
 2月 2日 第42回カブスカウト課程指導者講習会 第59回ボーイスカウト // 高崎市機械工業組合
 3月 2日 第43回カブスカウト課程指導者講習会 第60回ボーイスカウト // 桐生青少年センター
 3月23日 ウッドバッジ実修所第1教程研究会 桐生三ッ葉電機電算センター

養成と研修記録

4月10日 第44回カブスカウト課程指導者講習会 前橋中央公民館 修了者32名
 6月29日 第45回カブスカウト課程指導者講習会 桐生青年の家 修了者32名
 第61回ボーイスカウト課程指導講習会 桐生青年の家 修了者22名
 7月20日 第46回カブスカウト課程指導者講習会 立正佼成会前橋教会 修了者58名
 9月21日 ウッドバッジ研修所ボーイ課程群馬
 ~24日 第3期 日本連盟那須野営場
 9月28日 第47回カブスカウト課程指導者講習会 高崎市群馬公民館 指導者研修会 日本連盟飯田先生を招いて (株)三ッ葉電機製作所

昭和50年度 会議の記録

養成と研修記録

10月 9日	ウッドバッヂ研修所ガブ課程群 ～12日	馬 第4期 金山青年の家
11月16日	第62回ボーイスカウト課程指導 者講習会	高崎市立北小学校 修了者 33名
2月 1日	ソングリーダー講習会	三ッ葉 電算センター 参加者90名
2月 8日	第48回カブスカウト課程指導者講習会 第63回ボーイスカウト	〃 高崎市青年センター
3月14日	第49回カブスカウト課程指導者講習会 第64回ボーイスカウト	〃 (株)三ッ葉電算センター

昭和51年度 会議の記録

昭和51年

4月24日	理事会	国際きのこ会館
4月25日	年次総会	
4月29日	県コミ会議	青山県コミ宅
5月18日	理事会	諏訪会館
6月19日	〃	〃
6月23日	県コミ会議	桐生市立青年の家
6月27日	指導者会議	両毛電算センター
7月13日	〃	前橋中央公民館
7月18日	理事会	諏訪会館
8月22日	臨時総会	県民会館
10月27日	県コミ会議	県コミ宅
11月 1日	理事会	諏訪会館
11月 9日	名誉会議	〃
11月18日	理事会	〃

昭和52年

1月22日	県コミ会議	銀山荘
1月30日	理事会	福一旅館

養成と研修記録

4月18日	第50回CS課程指導者講習会	前橋中央公民館
	第65回BS課程指導者講習会	前橋中央公民館
6月 6日	ソングリーダー研修会	62名参加 両毛電算センター
6月13日	第51回CS課程指導者講習会 第66回BS	〃 桐生市立青年の家
6月27日	指導者研修会	群大附属小学校 教諭 金子正二先生を招いて
9月23日	ウッドバッヂ研修所BS課程群 ～26日	馬 第4期 那須野営場
10月 8日	ウッドバッヂ研修所CS課程群 ～11日	馬 第4期 桐生市立青年の家
11月 7日	ソングリーダー研修会	高崎市 社教課 信沢雄一先生を招いて

昭和51年度 会議の記録

2月25日 名誉会議 諏訪会館
3月11日 県コミ会議 両毛電算センター
3月22日 理事会 諏訪会館

昭和52年度 会議の記録

昭和52年
4月11日 県コミ会議 三ッ葉電算センター
4月28日 名誉会議 諏訪会館
5月1日 県コミ会議 県コミ宅
5月18日 理事会 諏訪会館
6月12日 " 高崎市立青年センター
6月12日 県コミ会議 武井宅
6月12日 年次総会 高崎市立青年センター
7月28日 理事会 諏訪会館
8月10日 名誉会議 柳田計理事務所
12月21日 理事会 諏訪会館
昭和53年
1月19日 名誉会議 諏訪会館
2月10日 " "
2月18日 理事会 "
3月22日 県コミ会議 三ッ葉電算センター

養成と研修記録

11月14日 第52回CS課程指導者講習会
第67回BS "
高崎市立青年センター
12月19日 指導者研修会 39名参加
桐生市青年の家
2月6日 第53回CS課程指導者講習会
第68回BS "
高崎市立青年センター
3月6日 第54回CS課程指導者講習会
第69回BS "
両毛電算センター

養成と研修記録

4月17日 第55回CS課程指導者講習会
第70回BS "
前橋天川大島原町自治会館
7月17日 第56回CS課程指導者講習会
第71回BS "
富岡商工会議所
10月7日 ウッドバッヂ研修所CS課程
～10日 群馬第6期 桐生市立青年の家
11月3日 ウッドバッヂ研修所BS課程
～6日 群馬第5期 那須野営場
11月20日 第57回CS課程指導者講習会
第72回BS "
高崎市立青年センター
12月4日 第58回CS課程指導者講習会
第73回BS "
大泉町公民館
2月5日 第59回CS課程指導者講習会
第74回BS "
高崎市立青年センター

昭和52年度 会議の記録

昭和53年度 会議の記録

昭和53年

4月4日	理事会	諏訪会館
4月17日	名誉会議	〃
4月26日	コミ集会	〃
5月23日	理事会	〃
6月11日	年次総会	前橋商工会議所 出席68名 委任17名 計85名
7月5日	コミ集会	伊勢崎中央公民館
7月11日	理事会	諏訪会館
9月6日	コミ集会	伊勢崎中央公民館
9月23日	理事会	前橋商工会議所
10月12日	コミ集会	諏訪会館
11月15日	理事会	前橋商工会議所
12月14日	〃	銀山荘

昭和54年

2月7日	コミ集会	諏訪会館
2月26日	名誉会議	〃
3月7日	コミ集会	〃

養成と研修記録

3月5日	第60回CS課程指導者講習会
	第75回BS 〃
	三ッ葉電算センター

養成と研修記録

4月16日	第61回CS課程指導者講習会
	第76回BS 〃
	前橋中央公民館 主任講師井出存祐
9月10日	53-1 指導者講習会
	渋川カトリック教会 主任講師高橋和男
10月29日	53-2 指導者講習会
	安中中央公民館 主任講師井出存祐
11月3日	ウッドバッヂ研修所CS課程7
～5日	期 桐生青年の家 所長高橋和男
11月12日	53-3 指導者講習会
	大泉町公民館 主任講師小林季二

昭和53年度 会議の記録

3月28日 理事会 前橋商工会議所

養成と研修記録

2月4日 53-4 指導者講習会
高崎市立青年センター 主任講師
井出存祐

3月4日 53-5 指導者講習会
三ッ葉電算センター 主任講師
周東正治

昭和54年度 会議の記録

昭和54年

5月8日 名誉会議 諏訪会館
5月30日 理事会 //
6月6日 コミ研究集会 //
6月10日 理事会 両毛電算センター 年
次総会(株)三ッ葉電機製作所出64名
7月19日 各種運営委員会委員長会議 諏訪会館
7月28日 理事会 //
8月28日 コミ研究集会 //
9月28日 理事会 //
10月25日 // //
11月7日 コミ研究集会 立成校成会高崎教会

昭和55年

1月24日 理事会 前橋商工会議所
2月6日 コミ研究集会 桐生文化センター
2月18日 名誉会議 諏訪会館
3月5日 コミ研究集会 前橋商工会議所
3月21日 理事会 諏訪会館

養成と研修記録

4月22日 54-1 指導者講習会 前橋
中央公民館 主任講師高橋和男
修了者34

5月3日 ウッドバッヂ研修所BS課程第
~6日 6期 西毛野外活動センター
修了者18 所長井出存祐

7月8日 54-2 指導者講習会 安中
中央公民館 主任講師井出存祐
修了者22

9月9日 団委員研修会 高崎青年センタ
ー 主任講師青山寿延 修了者37

9月13日 ウッドバッヂ研修所CS課程第
~16日 8期 金山青年の家 所長高橋
和男 修了者23

9月30日 54-3 指導者講習会 水上
町公民館 主任講師周東正治
修了者24

昭和54年度 会議の記録

養成と研修記録

- 10月14日 団委員研修会 桐生市立身体障害者福祉センター 主任講師
青山寿延 修了者27
- 10月28日 54-4 指導者講習会 大泉町公民館 主任講師高橋和男
修了者29
- 11月11日 54-5 指導者講習会 高崎市立青年センター 主任講師周東正治 修了者33
- 2月 3日 54-6 指導者講習会 高崎市青年センター 主任講師小林季二 修了者50
- 3月 2日 54-7 指導者講習会 桐生文化センター 主任講師小林季二 修了者 105

県連活動資金と登録料の動き

科目 年度	前年度 繰越金	登録料	補助金(県)	補助金(他)	賛助会費	役員会費	雑収入	寄附金
25			資	料	不	足		
26	24,592	47,893	0	11,900	0	0	6,729	56,150
27	46,677	33,264	0	0	0	0	1,155	10,000
28			資	料	不	足		
29	5,466	37,080	0	24,050	0	0	48	54,190
30			資	料	不	足		
31			資	料	不	足		
32			資	料	不	足		
33	526	15,600		2,500	92,900	0	0	2,900
34	0	40,800	100,000		55,200	0	0	27,500
35	7	55,100	0	33,000	27,800	0	4,926	13,000
36	34,915	42,000	0	0	74,400	0	0	20,000
37	23,897	48,000	0	0	33,600	86,500	46,518	140,000
38	20,423	62,400	60,000	6,000	43,200		235,676	62,000
39	70,923	91,800	0	0	12,600	63,000	30,168	30,000
40	9,500	102,000	200,000	20,000	23,800	39,000	57,460	111,000
41	29,127	100,300	200,000	19,000	9,200	54,000	39,160	114,000
42	24,532	510,500	200,000	25,000	0	117,500	7,091	176,137
43	53,278	618,450	200,000	63,000	0	132,500	21,953	73,600
44	12,757	886,610	200,000	15,000	0	177,500	20,370	28,500
45	△ 11,109	778,800	700,000	15,000	0	195,000	8,399	6,803
46	57,101	734,100	1,200,000	20,000	0	215,000	6,842	10,000
47	40,010	1,694,100	300,000	190,000	0	165,000	27,374	12,000
48	92,930	1,839,300	300,000	135,000	0	0	48,864	0
49	87,867	1,980,800	1,600,000	160,000	0	400,000	52,669	5,000
50	404,214	3,044,070	400,000	580,000	0	420,000	66,707	142,900
51	740,408	3,615,205	600,000	530,500	0	460,000	372,805	50,100
52	1,000,305	3,754,600	600,000	285,000	0	380,000	172,579	10,000
53	752,050	4,084,800	600,000	160,000	0	450,000	170,904	9,000
54	2,575,754	4,053,800	600,000	1,207,500	0	360,000	281,081	6,500

科目 年度	行事参加 剰余金	事業収入 その他	借入金	記念誌資金	収入総計	登録料のうごき		
25			資	料	不	足		
26	3,551	35,380			186,195			
27	0	10,612			101,708			
28			資	料	不	足		
29	0	10,774	0	0	131,608			
30			資	料	不	足		
31			資	料	不	足		
32			資	料	不	足		
33	2,400	26,630	0		143,456	1ヶ団	2,400	
34	15,385	28,500			267,385	1ヶ隊	1,200	
35	0	0			133,833	1ヶ隊	1,200	
36	0	31,200			202,515	1ヶ隊	1,200	
37	0	0			378,515	1ヶ隊	1,200	
38	0	0			489,699	1ヶ隊	1,200	
39	0	0			298,491	1ヶ隊	1,700	
40	0	0	0	0	562,760	1ヶ隊	1,700	
41	165,882	0	0	0	730,669	1ヶ隊	1,700	
42	0	340,780	0	0	1,401,540	1人	300	
43	0	2,754,950	150,000	0	4,067,731	1人	300	
44	0	2,861,420	0	0	4,202,147	1人	300	
45	0	4,952,057	0	0	6,644,950	1人	300	
46	0	11,257,311	0	0	13,500,354	1人	300	1ヶ隊 1,000
47	0	7,377,452	0	0	9,805,936	1人	300	1ヶ隊 1,000
48	0	3,387,670	0	0	5,803,764	1人	300	1ヶ隊 1,000
49	0	31,402,894	0	0	35,689,230	1人	600	1ヶ隊 1,000
50	0	1,473,500	0	0	6,531,391	1人	600	1ヶ隊 1,000
51	0	5,086,900	0	0	11,455,918	1人	900	1ヶ隊 2,000
52	0	9,196,010	0	0	15,398,494	1人	900	1ヶ隊 2,000
53	0	3,195,546	0	0	9,422,300	1人	900	1ヶ隊 2,000
54	0	5,515,032	0	500,000	15,099,667	1人	900	1ヶ隊 2,000

第五部

組織の現況

加盟登録団委員長・育成会長（昭和55. 4. 1現在）

地名	団号	団委員長	育成会長	地名	団号	団委員長	育成会長
太田	1	湯浅守昭	深川 淳	前橋	1	郡司 博	ダナ・マリ神父
	3	橋本 力	〃		3	星野忠夫	清水秀夫
	4	小内安蔵	竹内重四郎		4	小井戸哲夫	池田正夫
	5	横山仁一	深川 淳		5	小野里和四郎	中町八重子
	7	清水清治	山崎太一		6	青木次男	町田一三
館林	1	古山正山	吉間作重		7	柳田栄一	杉村清一
	2	青柳 享	森下俊夫		8	坂本栄治	小沢 忠
大泉	3	杉山安正	島田力男		9	高橋和男	富沢誉富
	4	高山 孝	前原義二		10	上村英夫	山口 秀
	5	相沢正志	河内 均		11	徳氷安男	今江 静
尾島	1	伏島 博	志村 武		高崎	6	平 由雄
桐生	1	鶴貝忠七	伊藤之弘	7		金井佐伝	〃
	2	斉藤久雄	青木治郎	8		秤 勤	神保晃二
	3	平野嘉宏	長谷川 正	9		竹田勝彦	塚越東一
	4	町田幸男	丹羽恒夫	10		荻野勝彦	高橋茂男
	5	大竹修二	田代至宏	11		斉藤清治	小林五男
	6	須水弁次	西枚 博	12		石田忠次	伊藤 茂
	8	高橋 清	藤田銀順	15		岡田信也	池田勇三
	9	田所武男	金子剛三	17		江原太郎	江原恭比古
	10	上山 明	日野貞夫	18		山田晃司	森野武士
	11	島田保彦	阿部光作	19		長谷川秀男	岩田正男
	12	荒木精一	猪瀬祐造	20		武井宏修	渡辺康郎
	⑬	栗原優介	坪野 茂	⑳	小林二郎	清水金司	
	14	竹田賢一	新井庫太郎	22	森田賢一	岡村三男	
	15	森山照夫	福田英雄	新町	1	秋山憲嗣	藤森靖澄
	16	小幡隆勇	石島惇司	藤岡	1	春山 武	小林長三郎
	17	白石 栄	江原 毅	箕郷	1	飯沼仲次郎	新井三知夫
	18	星野文助	武 和美	群馬町	1	狩野好市	〃
	⑱	堂前久雄	坪野 茂	富岡	1	高橋芳平	堀口万亀蔵
	20	平方敏郎	兵藤常二	安中	3	河野口雄三	針ヶ谷 忠
	大間々	1	中沢秀夫	吉田 穰	松井田	①	安藤 肇
伊勢崎	1	栗原 博	久保田茂一郎	渋川	①	馬場新吉	ペーダー・フィッ・ストリック
	4	椎名千寿夫	牛久保三郎	2	川島 尚	堀口吉七	
榛東	1	染谷 武	新井三知夫	水上	1	角田行雄	須田房芳

昭和 55 年度 連役員一覽(55.4 ~ 56.3)

連 盟 長	清 水 一 郎	理 事	鶴 貝 忠 七
副 連 盟 長	佐 藤 春 重	〃	新 藤 信 夫
〃	小 野 里 和 四 郎	〃	上 村 英 夫
〃	佐 山 弥 一 郎	〃	秋 山 憲 嗣
理 事 長	波 木 羨 夫	〃	井 出 存 祐
副 理 事 長	小 内 安 蔵	〃	鳥 屋 昇
〃	柳 田 栄 一	〃	武 井 宏 修
〃	根 岸 努	〃	新 井 三 知 夫
事 務 局 長	青 山 寿 延	〃	河 野 口 雄 三
理 事	竹 田 賢 一	監 事	坪 野 茂
〃	坂 本 栄 治	〃	郡 司 博
〃	高 橋 芳 平	県 コ ミ	高 橋 和 男
〃	根 本 昭 雄	副 コ ミ	周 東 正 治
〃	堂 前 久 雄	〃	中 嶋 正 義
〃	荒 木 精 一	名 誉 会 議 員	湯 浅 守 昭
〃	青 山 寿 延	〃	須 永 弁 次
〃	森 山 照 夫	〃	平 方 敏 郎
〃	横 山 仁 一	〃	阿 左 美 昭
〃	青 木 次 男	〃	金 井 佐 伝
〃	金 井 英 文	〃	中 里 昭 五 郎

昭和 55. 3. 31 現在 加 盟 登 録 状 況

○は班

地区名	地名	団号	団委 員数	カブ隊		ボーイ隊		シニア隊		ローパー隊		合 計						
				L	S	L	S	L	S	L	S	指導者	スカウト	団合計	小地区	地区		
太 田	太 田	1	9	10	22								10	22	41			
		3	8	11	36	4	30						15	66	89			
		4	9	11	27	3	34		③				27	85	121			
				13	21													
		5	0	16	36	4	26	2	18				22	80	12			
	7	7	14	30	2	12		①				16	43	66	429			
	館 林	1	7	8	11	5	20		⑦				13	38	58			
		2	8	8	17	3	22		⑨				11	48	67	125		
		大 泉	3	6	4	14	3	20		①				7	35	48		
	4		6	10	24								10	24	40			
	5		5	6	23								6	23	34	122		
	尾 島	1	0	15	29	2	29						17	58	85	85	761	
	桐 生	桐 生	1	1	12	32	5	23		⑥				17	61	89		
			2	7	13	32	4	22		①				17	55	79		
		3	5	9	32	3	30						12	62	79			
4		7	13	32	4	34						17	66	90				
5		0	12	32	2	20						14	52	76				
6		8	11	29	4	12		④				15	45	68				
8		5	6	35	2	13						8	48	61				
9		5	14	32	2	24						16	56	77				
10		3								15	14	15	14	42				
11		0	13	33	4	27						17	60	87				
12		9	11	33	3	28		④				14	65	88				
13		6					3	3	5	12		8	35	49				
14		9	10	33	3	21		⑪				13	65	87				
15		7	11	33	6	27		④				17	64	88				
16		6	12	33	2	17						14	50	70				
17		6	11	32								11	32	49				
18		5	9	32								9	32	46				
19		5						3	25			3	25	33	1,258			
大間々		1	7			2	14	2	9				6	35	48			
						2	12											
															48	1,306		

地区名	地名	団号	団委 員数	カブ隊		ボーイ隊		シニア隊		ローバー隊		合 計						
				L	S	L	S	L	S	L	S	指導者	スカウト	団合計	小地区	地区		
伊勢崎	伊勢崎	1	8			3	14						3	14	25			
		4	6			7	16		②				7	18	31			
		6	5			3	12		③				3	15	23	79	79	
前橋	前橋	1	8	7	11	8	26	4	23				19	60	87			
		2																
		3	8	12	29	7	20		⑥				19	55	82			
		4	10	8	19	2	24	①	⑨				11	52	73			
		5	12	5	14	4	14						9	28	49			
		6	6	4	17	2	19		⑧		⑤		6	49	61			
		7	6	4	21	2	18		⑥		⑤		6	50	62			
		8	3									3	9	3	9	15		
		9	6	5	16								5	16	27			
		10	6	4	13	①	⑤						5	18	29			
		11	6	8	15	4	12						12	27	45		530	
高崎	高崎	7	12	12	33	2	32	2	10			28	100	140				
				12	25													
		8	5	8	16	2	16		⑨		①	10	42	57				
		9	6	17	39	6	15		⑤			23	59	88				
		10	5	12	19	3	8		⑬			15	40	60				
		11	7	12	30	5	27	2	21		①	19	79	105				
		12	5	9	29	2	16		④			11	49	65				
		15	6	12	26	3	17		⑦			15	50	71	1			
		17	7	14	30	3	25		⑤			31	93	131	7			
				14	33										6			
		18	10	15	33	3	32	3	15	2	12	38	125	173				
				15	33													
		19	2								3	10	3	10	15			
20	9	8	28	4	21		⑤			12	54	75						
21	10	14	32	2	13					16	45	71	1,051					
箕郷	1	7	13	28	6	26		⑦			19	61	87	87				
群馬町	1	7	10	29							10	29	46	46				
藤岡	1	6			4	2					4	12	22	22				
新町	新町	1	5			3	5					3	15	23				
		2	5			1	1					1	21	27	50	1,256		

地区名	地名	団号	団員数	カブ隊		ボーイ隊		シニア隊		ローパー隊		合計		地区計	
				L	S	L	S	L	S	L	S	団	地		
碓氷	富岡	1	5	7	16	2	16	1	8			10	40	55	
				3	8	5	10	2	14		(5)			7	29
碓氷	安中	3	8											44	
北	松井田	1													
北	渋川	1	5	3	28	2	12					5	40	50	
				2	6	2	19						8	39	53
毛	水上	1	7	11	21	3	13		(2)			14	36	57	
				65	461	579	1,488	177	1,067	23	299	28	69	807	2,923
7	合計			(隊)		57	53	(1)	9	(25)	5	(5)		124	4,191

地区別加盟員数

団数	地区名	団委員	カブ隊		ボーイ隊		シニア隊		ローパー隊		L計	S計	地区計				
			L	S	L	S	L	S	L	S							
11	太田	85	12	126	290	8	26	193	(5) 1	2	(21) 18	0	0	154	522	761	
19	桐生	141	15	167	485	15	48	324	(6) 3	8	(30) 57	2	20	243	922	306	
3	伊勢崎	19	0	0	0	3	13	42	(2)	0	(5)	0	0	13	47	79	
10	前橋	71	9	57	155	(1) 7	(1) 29	(5) 133	(4) 1	(1) 4	(29) 23	(2) 1	3	(10) 9	95	364	530
17	高崎	114	16	197	463	15	49	296	(8) 3	7	(55) 46	(2) 2	5	(2) 22	258	884	1,256
2	碓氷	13	2	12	26	2	4	30	1	1	(5) 8	0	0	17	69	99	
3	北毛	18	3	20	69	3	7	44	0	0	(2)	0	0	27	115	160	
65	計	461	57	579	1,488	(1) 53	(1) 176	(5) 1,062	(25) 9	(1) 22	(47) 152	(5) 5	28	(12) 57	807	2,923	4,191

地区別登録人員増減

55.3.31

地区名	団 数	団委員	カ		ボ ー イ		シニター			ローパー			L 計	S 計	地区計	年度	
			隊	L	隊	L	隊	L	隊	L	隊	L					S
太田	9	77	10	115	7	22	191	1	2	34	0	0	0	139	494	710	53
	11	85	12	126	8	26	193	1	2	39	0	0	0	154	522	761	54
桐生	19	149	16	201	15	54	296	3	8	93	2	18	42	281	898	1,328	53
	19	141	15	167	15	48	324	3	8	87	2	20	26	243	922	1,306	54
伊勢崎	3	17	1	4	3	11	46	0	0	7	0	0	2	15	65	97	53
	3	19	10	0	3	13	42	0	0	5	0	0	0	13	47	79	54
前橋	11	66	0	73	8	27	160	2	5	44	1	3	16	108	392	566	53
	10	71	9	57	7	29	133	1	5	53	1	3	19	95	364	530	54
高崎	16	111	16	169	15	53	275	3	7	85	2	5	30	234	849	1,194	53
	17	114	16	197	15	49	296	3	7	01	2	5	24	258	880	1,256	54
碓氷嶺	3	19	2	8	2	4	26	2	4	24	0	0	0	16	75	110	53
	2	13	2	12	2	4	30	1	1	13	0	0	0	17	69	99	54
北毛	3	19	3	21	3	9	69	0	0	13	0	0	0	30	159	208	53
	3	18	3	20	3	7	44	0	0	2	0	0	0	27	115	160	54
	64	458	57	591	53	180	1,063	11	26	300	5	26	90	823	2,932	4,213	53
	65	461	57	579	53	177	1,067	9	23	299	5	28	69	807	2,923	4,191	54
	1	3	0	△12	0	△3	4	△2	△3	△1	0	2	△21	△16	△9	△22	

新団 3ヶ団 新隊 カゾ 2隊 ボーイ 1隊

日本ボーイスカウト群馬県連盟規約

財団法人ボーイスカウト日本連盟（以下「日本連盟」という。）の規定集に基づき、ボーイスカウト群馬県連盟〔以下「県連盟」という。〕の規約を次のように定める。

第 1 章 総 則

第 1 条 目 的

県連盟は、日本連盟の加盟登録承認を得て成立し、日本連盟の目的、基本および諸規定ならびにその方針に従い、地域内の運動を推進し、同様の目的を有する他の団体との間に友好関係を図ることを目的とする。

第 2 条 所 在 地

県連盟の本部及び事務局は理事会がこれを定める。

第 3 条 構 成

県連盟は地域内のすべての加盟団をもって組織する。

第 4 条 地 区

県連盟は、地理的条件、加盟団の状況、運動の発展状況および地域の実状を考慮して、県連盟理事会（以下「理事会」という。）が定める地域ごとに地区を設ける。

第 2 章 役 員

第 5 条 種類および数

県連盟につきの役員をおく。

連 盟 長 1 名

副 連 盟 長 若干名

理 事 長 1 名

副 理 事 長 若干名

理 長

(1) 地区代表理事 地区の数

(2) 学識経験者理事 若干名

県コミッショナー 1 名

県副コミッショナー 若干名

名誉会議議員 若干名

監 事 2 名

第 6 条 連 盟 長

連盟長は理事会の発議により総会において推たいする。連盟長は県連盟および地域内のスカウト運動を代表し、連盟を総理する。その任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第7章 副連盟長

副連盟長は必要に応じて、前条と同じ手続および任期をもっておくことができる。
副連盟長は、連盟長を補佐し、その事故あるとき、または欠員のときこれを代理する。

第8条 理事長

理事長は理事の互選により就任し、理事会の議長となり、県連盟を代表するとともにその業務を総理する。

第9条 副理事長

副理事長は、必要に応じて理事の互選により就任し、理事長を補佐し、その事故あるとき、または欠員のときこれを代理する。

第10条 地区代表理事

地区代表理事は、当該地区の地区委員会が県連盟総会の確認を経て就任し、その任期は1年とし、再任を妨げない。

第11条 学識経験者理事

学識経験者理事は、連盟長、理事長、県コミッショナーが合議のうえ、地区代表理事に諮問した後、総会の承認を経て連盟長が委嘱する。
その任期は2年とし、再任を妨げない。

第12条 県コミッショナー

県コミッショナーは、理事会の議を経て、連盟長が推薦し、さらに中央審議会を経て、総長が委嘱する。
その任期は2年とし、12月31日更新するものとし、再任を妨げない。
県コミッショナーの資格と任務については、日本連盟教育規定の定めるところによる。

第13条 県副コミッショナー

県副コミッショナーは、必要に応じて県コミッショナーの推薦により、理事会の議を経て、連盟長が委嘱する。任期および資格については、県コミッショナーに準ずる。
県副コミッショナーは、県コミッショナーを全般的に補佐し、また特に与えられた任務を履行する。

第14条 名誉会議議員

名誉会議議員は、県連盟総会においてその半数を選出し、残りの選出方法は、連盟長、県コミッショナーが合議のうえ、地区代表理事に諮問したのち総会の承認を経て、連盟長が委嘱する。
任期は2年とし、再任を妨げない。

第15条 監事

監事は総会において選任する。任期は2年とし、再任を妨げないが他の役員をかねるこ

とはできない。

監事は、県連盟の資金および経理を監査する。

第16条 役員 の 補充

県連盟の役員に欠員を生じるときは、地区代表理事にあっては、後任の当該地区委員長につき理事会の議を経てその就任を確定する。ただしコミッショナーを除く、他の役員にあっては次回総会まで補充しない。補充による役員 の 任期は、前任者の残任期間とする。

第17条 役員 の 任期

役員 の 任期は、その最終年度の総会終了の時までとする。但し、県コミッショナーについては、第12条による。

役員が退任するときは、後任者が就任するまでの間、その職務を行う。

第18条 名 誉 役 員

県連盟は、理事会の決議により、顧問、相談役、および参与等の名誉役員をおくことができる。

任期は3年とし、再任を妨げない。

名誉役員に関する規定は理事会において定める。

第 3 章 理 事 会

第19条 理 事 会

県連盟に理事会を設ける。理事会は、県連盟の目的達成のため、重要事項を協議決定し、県連盟の維持、業務の執行および運営の責に任ずる。

第20条 常任理事会

理事会の委任した事項を審議するため、理事会の互選により常任理事会を組織することができる。

第21条 構 成

理事会は、理事をもって構成する。

県連盟事務局長は幹事役として理事会に出席する。

連盟長、副連盟長、県コミッショナー、県副コミッショナー、監事および理事でない各種委員会の長は、随時理事会に出席し、発言することができる。但し議決の数に加わらない。

第22条 招 集

理事会は、理事長がこれを招集し、開催する。

第 4 章 名 誉 会 議

第23条 任 務

県連盟に名誉会議を設ける。名誉会議は理事会の委任により表彰、感謝等の名誉および、名誉にもとる事項を審議決定する。

第24条 構 成

名誉会議の構成は、つぎのとおりである。

- (1) 県コミッショナー（議長）
- (2) 名誉会議議員
- (3) 県連盟事務局長（幹事役但し議決の数に加わらない。）

県副コミッショナーは、随時名誉会議に出席し発言することができるが議決の数に加らない。

第25条 名誉会議は必要の都度県コミッショナーが招集し、定足数は過半数とし、その議決は多数決による。

本会議の議決は、理事会に報告する。

表彰に関する規定は理事会においてこれを定める。

第 5 章 各 種 委 員 会

第26条 設 置

理事会は、その責務を達成するため、運営委員会および特別委員会を設ける。

第27条 運営委員会

運営委員会は常設するものとし、理事会より委任された下記の事項を分担する。

- (1) 組織およびその拡張に関する事項
- (2) 指導者養成に関する事項
- (3) 進歩に関する事項
- (4) 野営およびその他の行事に関する事項
- (5) 健康および安全に関する事項
- (6) 財政に関する事項

第28条 特別委員会

特別委員会は、特定部門につき、理事会より委任された任務を行うため、必要の都度設置する。

第29条 招 集

委員会は随時これを開催するものとし、委員長が招集し、その議長となる。

第30条 議決の効力

委員会の議決は、特に決定の権限を理事会より委任された場合を除き、すべて理事会の承認を経て、その効力を発生する。

第31条 委員長

委員長は理事会の議を経て、原則として理事中より理事長が委嘱する。

第32条 委員

運営委員会の委員は、各地区より各々1名ずつ選出された者をもって主たる構成員とする。

特別委員会の委員は、当該委員長と事務局長との合議のうえ、理事会の承認を得て理事長が委嘱する。

第33条 任期

運営委員会の委員長および委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

第 6 章 総 会

第34条 開催と招集

県連盟は、毎年1回、年次総会を開催する。また、理事会、または3分の1以上の総会議員の要求により臨時総会を開催することができる。総会は、連盟長が招集し、招集の通知は開催1週間以前に総会議員が受領できるように送付されなければならない。

第35条 構成

総会は、次に掲げる議員をもって構成する。

- (1) 加盟員で加盟団を代表する者
- (2) 第5条の県連盟役員

議長は、連盟長またはその指名をうけた者、あるいは議員の中より総会が選出した者がこれにあたる。

第36条 成立と議決

総会は議員の過半数（委任状を含む）をもって定足数とし、議決は多数決にする。但し本規定の改正は、3分の2以上の同意を得たうえ日本連盟の承認を受けて効力を発生する。なお、日本連盟教育規定の改正にともなう本規約の修正は、理事会が行ない総会に報告する。

第37条 委任投票

総会議員は、委任状によって他の出席議員に議決を委任することができるが、委任によって役員選出に関する議決に加わることはできない。

第38条 審査

つぎの事項は、年次総会に報告し承認を受けるものとする。

- (1) 年度内における県連盟内の本運動の概要
- (2) 予算、決算、並びに会計経理の状況

総会は提出議案につき、これを審議決定する。

第39条 選考委員会

監事及び総会選出の名誉会議員は、各地区毎に選出された1名ずつの選考委員と、連盟長が指名した若干名（地区の数をこえない）の選考委員をもって選考委員会を開き、候補者の推薦を行い、総会においてこれを選出する。

第 7 章 事 務 局

第40条 設 置

県連盟の事務執行機関として事務局を設ける。

第41条 任 免

事務局長は理事会が任免する。

第42条 任 務

事務局長の任務はつぎのとおりである。

- (1) 日本連盟および県連盟のすべての規約および方針を遵守し、理事会の決定のもとに、県連盟の事務を執行する。
- (2) 事務局の運営、管理の責に任ずるとともに、理事長の承認を経て、事務局職員の任免並びに監督指導を行う。

第 8 章 経 理

第43条 県連盟の資金及び経理は理事会の指示に従い維持され、かつ整理されなければならない。

第44条 県連盟の資金の充足は、各加盟団の分担金、登録者個人の分担金、賛助会費、その他寄付金および事業収入等をもってこれにあてる。ただし、分担金の金額及び徴収方法は、承認を経て決定する。

第45条 県連盟の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第46条 県連盟の資金及び経理に関する規定は、理事会においてこれを定める。

第 9 章 そ の 他

第47条 県連盟に指導者訓練チームを設置する。

指導者訓練チームに関する規定は、理事会においてこれを定める。

第48条 県連盟役員、育成会長、団委員長ならびに隊指導者に対する慶弔規定は理事会においてこれを定める。

附 則

第49条 本規約は、昭和55年6月15日より施行する。

昭和33年4月20日	制 定
昭和40年5月5日	一部改正
昭和48年5月27日	一部改正
昭和50年6月15日	一部改正
昭和51年8月22日	一部改正
昭和55年6月15日	一部改正

第六部

創設30周年に寄せて

三 指

BS高崎第12団委員長 石田 忠 次

群馬県連盟創立30周年お目出とう御座います。今日の県連をそだてた諸先輩の皆様方の御労若に対し感謝申し上げますと共に、衷心より御祝い申し上げます。県連盟を育て支えるのは、各地区の組織で有り、其の傘下に有る各団の双肩に有ります。スカウト運動も時代の流れと共に、保護者の理解度、受け止め方の違い、又スカウトの体力の問題等、本来のスカウト活動と大分違って来たのも現実ではないでしょうか。行事実施の場合も、ケースバイケースで変更する事も度々有り、スカウト活動も日進月歩変化して行く姿に、是でいいのかと考える事が多いのが実情です。スカウトの社会に入ったのも自分自身期する事が有り、先輩の方々の指導を賜り、今日まで微力乍ら続けて居りますが、スカウトが、カブ・ボーイ・シニヤと成長してスカウト精神を身につけて終了してくれる事が、スカウティング関係者でなければわからない何ものにもかえがたい、尊い心の喜び、心の報酬ではないでしょうか。我が団も37年に結団以来、大勢の父兄、役員、リーダーの皆さんの理解と協力を賜わり、今後自己の健康の許すかぎり、微力乍ら続けたいと思つて居ります。

次は県連総会の一日について、県連運営に議題の討議も重要な事と誰しも認める所ですが、今更言うまでもなく、青少年を主体とした団体ですので、スムーズに議事の進行を願い、残余の時間は、県内の皆さんと一堂に会す機会にスカウティングの諸問題の御意見を拝聴する一日で有り、明日への指導育成の参考資料になる有意義な総会の日になるよう指導して頂く事を、県連に一考を要望する至第です。今後、県連盟の益々の御発展を祈念致します。

三十周年に想う風影

高崎地区副コミ 神保 弘 信

ペーテン・ポーエルが、ブラウンシー島で実験してから72年。県連が出来て30年。地区も同様の歴史ありと知る。ボーイスカウトの、ながらえる理由はどこにあるのだろうか。仮入隊の時期になると、親子づれで隊集會にやって来る。あるお母さんは「ボーイはカッコいいですね。」と。そしてあるお父さんは「きびしくやって下さい。」と入隊希望する。ある爺さんは孫の手を引き「この子は一人っ子なんでねえ。」「我まんまでね。カブでは立派な掟があるって聞いたもので、是非集まってるこ見せてくんせえ。」「なにせ。この子の親は忙しくて。ろくな事をしやんねえから、カブの仲間に入れてもらいてえと思うんさ。」とのんびりした口調で話しかける。前のお母さん、お父さんのスカウト感はどんななのだろうか。外観と他人まかせな翔んでる父兄と言う所でしょうか。日曜学校として、安全で安上りで、親はのんびり出来ると顔が笑っている。おまけに「組集會、ないんだと良いんだけど。」と皮肉る。黒びかりに日焼けした爺さん

は、何にもかも解っている顔である。年を取っている様だが筋金の入った体つき、今も工事現場に出て働いているようだ。日毎、孫の事を考えたそうだ。親の無責任さや、テレビ専門の孫。「わしゃせがれで失敗したが、孫だけは何とかしてえと思ってな。」と、お爺さんの心がほぐれ始める。話によると、夏の終り頃工事現場の昼めし時、現場に来ていた電気屋さんに合わせてカブスカウトの事を知ったそうだ。それからは、毎日弁当のおかずは、孫の事とカブの話だった。「電気屋さんは、カブの学校(研修所)を出て隊長をしてるんだと。」お爺さんはスカウトが5、6人で組を作る事も、隊集会を何のためにするかも、父母の奉仕でなり立っている事も、承知している。お爺さんは、後手に孫の手を握り、孫も半歩さがって爺の影に入り、眼を光らせている。「俺は年だが、孫と一諸にやらせてえもれえてんだがな、隊長さん。」孫は、もう立ってはいられない。両足がびしょびしょはねている。

さて外国の集会風景を聞いて見ると、やはりシニヤ年代になっても、親が進歩章の授与に立合ったり、又指導者を30年したとか、ほとんどの方々がスカウト運動を正しく理解されている様である。今、地区内を見ると、ここに出て来たお爺さんの様な方が何人いる事だろうか。まして、お爺さんにしても数ヶ月前に個人的に知り得た事である。オーストラリアの様に、国家的にスカウト運動を繰り広げている事を聞くと、なんとも心さみしい事である。この期に、私達もスカウトを見詰め「ちかい」を「おきて」を守り、正しいボーイスカウト運動を展開したい。

高崎17団カブ2隊 隊長

「発団後の活動」

前橋第11団 ボーイ隊長 福田正十五

当団は、昭和51年12月、まずカブ隊が発団し、翌年4月にはボーイ隊も発団しました。発団準備を一手にひきうけ努力してくれていた当時の隊長候補が、仕事の都合で転勤してしまい、副長がずいぶん苦勞されていました。その所へ仕事の関係できた私が、副長補という役務をいただき、なにも知らないままこのボーイスカウト活動へ引きこまれてしまいました。その翌年には副長、今年からは隊長という立場を頂き、とにかくいっしょうけんめい、隊員と共にスカウティングを展開しているしだいです。

発団後三年たった現在、育成母体である世界救世教も青少年の健全育成を目指して、教団あげでの支援活動を展開してくださり、全国にボーイ、ガール合わせて百十数団、4,000名からのスカウトが教祖(岡田茂吉)の説かれた「利他愛」の実践をめざして、スカウティングに励んでいます。今年の8月には、静岡県の朝霧高原において第1回全国救世スカウト大会が行なわれ、世界が育成母体となって発団した北海道から沖縄までの救世スカウト1,300名が集結しました。現在まで培ってきた技能をすべて発揮し、それぞれの特色を生かし、3泊4日の生活を行いました。ジャンボリー、その他の大きな大会でないとなかなか他の団と交流できませんが、今回は他県のスカウトと大いに交わりができ、スカウト自身にとっても大きな収穫であり学びであったと思

います。当団は、発団して日も浅いが、他県においてはすでに 15 年前からスカウト活動を行っており、技能的、精神的にもすぐれたものを持っています。また、日連（日本連盟）から宗教章を認められ、それぞれのスカウトがチャレンジしています。全国大会の場においても、宗教章の授与があり、一級以上の資格を有し、宗教章の課程を修めた者 10 名に与えられました。

当団は、オープン団として、世界救世教の信者子弟以外の隊員を多く入団していて、「ちかいと「おきて」の実践に努めています。それと共に、「BIP」の最後のメッセージの中に述べられている「金持ちになっても、社会的に成功しても、わがままができて、それによって幸福にはなれない。」又、「幸福を得るほんとうの道は、ほかの人を幸福にすることにある。」という心をたいせつにしています。つまりは、「利他愛」です。自分のことはさておいても、人の事を先に考え、実行する利他の心であると思います。自分さえ良ければよいという自己愛の強い世中で、スカウトの人間形成の大きな一時期であるこの時に、少しでも、人の為、世の為に尽せる心を伸ばしていけたらと、念願するしだいです。

我が団紹介

箕郷第 1 団 CS 隊 渡辺博立

私達の団本部は、榛名山麓標高 700メートルに位置し、前橋市・高崎市を眼下に眺めることの出来る雄大な展望と、グラウンドやキャンプ場が設置され、春はいっぱいの緑が目にしみ、夏はキャンプファイヤーに夜空を焼き、秋は紅葉、そして冬は身をひきしめる寒さにと、日本の四季をそのまま肌で感じさせてくれる素晴らしい救世真教々会内にあります。

昭和 49 年 8 月、13 名での発団から 6 年目を迎え、今では CS 隊・BS・SS 班そして群馬町第 1 団、ガールスカウト群馬県第 4 団、又、来春からは榛東第 1 団が新たに発団する運びとなり、兄弟姉妹団スカウト 150 名の大世帯となっております。

私共の団は、新井育成会長による青少年健全育成にはボーイスカウト運動が最適であるとの主張に賛同し、人の為に役立つ思いやりのある子供を育てようとの意気に燃え、発団されました。育成会長のこのような思いが、広く大きく輪となり、お陰様で年々活発となって来ております。

私が当団にお世話になりましたのは、昭和 51 年長男が CS 隊入隊により、妻がデンマザーに、私はデンダットとしてであります。以来スカウト一家をめざし、副長を経て本年より CS 隊の隊長をさせて頂いております。

活動も、施設と人に恵まれていることにより、一步一步理想に近づいております。地区・県連行事は勿論、高崎 15 団とは友団交流として、スカウト交歓運動会は発団以来続き、今年で第 6 回を迎え、兄弟姉妹団共々有意義なうちに交歓を続けています。これ等は、必ず参加団の発展と明るいのびのびしたスカウトの育成に貢献するものと、確信致すものであります。

一つの育成会のもとにいくつかの団が組織されているということは、他地区にもあるようですが、団と団との友情・協力・せさたくましあう姿は、スカウトの成長を一層強くするものと感

じております。

県連創立30周年のお祝いにあたり、発団6年目の若い団ではありますが、益々努力し、美しい年輪を積み重ねて参りたいと思います。

最後に、県連の発展と、スカウトの益々の成長、そして各指導者・父兄の方々の御健康を心より祈念致しまして我が団の紹介を終わります。

スカウトの子供を通じて学ぶ事

高崎12団デンマザー 藤沢早智子

ボーイスカウト群馬県連盟創立30周年、おめでとう御座居ます。私は、デンマザーとして1年8ヶ月、家族の理解のもとに集会には出来る限り出席をしております。10月、長女のクラスから数人入団をしました。その姿に、我が子も男の子であったならと思う反面、手編のセーターを着せ喜ぶ姿を眺めたりする時は、女の子で良かったなあと思います。私の母親は高血圧で倒れ、床に着いて12年、いつもどなたかが訪問を下さり、幸せな日々を過ごしております。私はそんな母をみて、子供に手がかからなくなったなら、ボランティア活動に参加をして寝たきり老人に喜んでいただける事と思っておりました。そんな時、デンマザーにと言われ、自信もなく迷いましたが受けました。それまでの私は、子供の通う幼稚園や学校で役員さんと言われると、いつも何かの理由づけで逃げておりました。長男がスカウトに入団、団長さんにお目にかかり、退職後の今日まで、子供の為に尽くされているお姿に接し、今までの自分を顧みると共に、反省をさせられました。デンマザーを受けてから、沢山の方々と接し、勉強をさせられる事、山積です。団長さんとの出会いがなければ、まだまだ家にこもって何もせぬ、何も気づかぬままの生活を過していた事でしょう。子供に接し、学ぶ事は数限りありません。子供達の熱心なおしゃべりを聞きながら、子供は誰かに聞いてほしい話が山積、子供が話しかける時は、真剣に聞いてやろうと思わずにはいられません。またキャンプの時など「うちの子は……」ごとの母親の心配をよそに、暑い中、坂道を登ったり下ったり、先輩も後輩も一緒になって目的地に到着。その体験の中で“ああボクも皆と一緒にやる事が出来た、うれしい、やれば出来るのだ”と思う事でしょう。スカウト活動を通じ、子供は日々の生活の中で自己の自信となり自己を大きく前進させる事と存じます。

私の大好きな歌「わが子よありがとう」です。

あなたが生まれて来た事が
ただありがたくうれしくて
ママはネあなたが好きでたまらない。
あなたが丈夫で起きて来る
ただそのことがうれしくて
ママはネあなたが好きでたまらない。

あなたの寝顔をみていると
ただそのままだとおとくて
ママはネあなたが好きでたまらない。
あなたは私の鏡です
いつもくもらずにすみきって
ママはネあなたが好きでたまらない。

今後共団長さんの御指導のもとに子供の姿に学びたいと思います。ボーイスカウト群馬県連盟の御発展を、お祈り致します。

障害を持ったスカウトとともに

ボーイスカウト太田第7団デンマザー 清水 広子

5 4 年 4 月に分封した、CS3 2 名の新団です。新入隊したりすの Y 君は、左半身麻痺障害のため、爪先で歩きます。Y 君の入隊に際して、指導者の間で、いろいろと話し合った結果、私達の勉強のために入隊をしてもらいました。この Y 君に対する指導者の心構えとして、健康と同じ扱いをする。どうしても無理な時は、臨機応変に接することで出発しました。

4 月 発団式と歌ゲーム等で交流を深めてゆく。ゲームでは、Y 君のところで時々つかえてしまう。屈託のない Y 君は、澄まし顔で真剣です。

5 月 炊飯会と薬師寺へハイキング(約 5 km) 1 5 km の山道を歩いた経験があるとのことでしたが、全体の流れからどうしても遅れがち、でも、完歩しました。組としてのゲームでは、負が多い。早く！頑張れ！と声援しながらも Y 君がいるからだめだと、個々の心にあるように見えてきました。特にスカウトには、勝つばかりがよいのではなく、協力と作戦とで最後まで頑張るよう励ます。

6 月 ミニ舎営、竹トンボ作り、魚釣り大会。どの集会もスカウト達の創意工夫で、いきいきした姿が目につく。でも舎営の時、足につまづいて、転んで泣きながら喧嘩が始まる。組長の仲裁でケロリ、(血管に触ると非常に痛む)

7 月 特別養護老人施設手伝い。サマーキャンプ、追跡ゲームでは、山道をりすの H 君が Y 君の背中を押しながら、何やらおしゃべり、又、ゲームをした時、Y 君と最後のひとりになる次長に、みんなで声援と拍手。スカウト仲間では対等であり、手を貸したり、励ましたりと、どうしたらよいかを、スカウト達が自然に考えているようです。

8 月 鎧、胃を造り、これを身につけ茶屋まわり、組単位の行動。人に尋ねる時のエチケットや協力とで、地域内 6 ポイント 4 km を歩きました。暑い日だったので茶屋につくと脱ぎ、又着て出発。アイスを食べるのが遅かった Y 君に「早くしろよ、お前のためにみんなが遅れちゃんだぞ。」「うんうん分ったよ。」と Y 君はニコニコ顔。組長達で、面倒をみていました。

9 月 清掃奉仕、お面作り、ちゃんこ会舎営、舎営での 20 の扉では、ユーモアある解答で、

みんなを笑わせ楽しくさせていました。

10月 県民スポーツ祭歩け大会に参加。ミニ自転車で往復10kmの会場へ、その後7kmのコースをみんなと同じペースで完歩。指導者もY君に無関心の関心でよかったです。

Y君は走る、歩く等足の運動ではハンデがつくが、それ以外の行動は、みんなと同じに出来るようになりました。父親は「足がだめなら頭を使え。」と励ましていますが、いろいろな経験をとおして体力や精神力を養い、ハンデを乗り越えて行ってほしいです。最近では、スカウト達は、最後まで努力することと、Y君にハンデを感じさせない仲間作りへの交流ははぐくまれつつあります。明るく陽気で物事を気にしない性格のY君は、隊の人気者。しかし、Y君が大きくなるにつれ、恥かしさ等がでてきて、くじけなければよいがと母親が心配しておりますが、スカウト精神で、心身ともに強くたくましく、思いやりのあるスカウトとして成長して行ってほしいと思います。そして、Y君のいるお陰で、健康児のみの隊とは別な貴重な体験ができるスカウト達は、幸せだと思います。

以上7か月の記録ですが、みなさまのお考えとご指導をお願い申し上げます。

子どもの可能性

桐生第12団団委員 六川 信 司

高原山少年自然の家での舎営に参加して、私は子どもの伸びゆく可能性、内に秘める力は実に偉大であると思った。フィールドゲーム、ウォークラリー、スコアオリエンテーリング等、次々にくりひろげられる活動に、積極的に立ち向かい、最後まで頑張りぬく姿は、なんとすばらしいことか。小学校3・4年生の子どもと行動を共にした私は、自分にいくらむちうって頑張っても、これから伸びようとする子どもに、どうしても追いつけない。平常、あまり頑張りのきかない、わがままな自分の子どもに、どうしてあのような力、たくましさがあったのか。体は小さいけれども、大人に負けない強さをもっているカブの子ども達。これから、どれほど伸びるか、測りしれない可能性をもった子ども達。これからも、その可能性を最大限出して、成長してもらいたい。大人は是非その可能性を引き出してやりたいものだ。

自然に親しみ宿泊生活を共にして

桐生第12団団委員 卯月 勝 也

8月14日～16日の三日間、S・CSの合同キャンプが、高原山少年自然の家を利用して行なわれた。二日目のフィールドワーク、そして夜のキャンプファイヤー、燃えさかる炎を囲んで手をつなぎ、歌いおどった。BSのお兄いさんの作ってくれた御馳走も、CSの思い出として忘れられないことだろう。三日目のスコアオリエンテーリングは、苦しくもあり楽しかった。スコ

アを目ざし、組ごとにたどり歩く。地図と道標だけを頼りに、スカウト達の冒険心は満たされ、未知の世界へ踏み込む勇気を学んだにちがいない。DMの苦しそうな姿が、思いだされる。野鳥の声、自然のすばらしさ、自然の美しさを味わった。とかく満たされた便利な毎日を送っているスカウト達にとって、時には不便さも感じながら、みんなが仲よく、考えあい、話しあい、協力しあって、良い思い出の三日間であった。

小さな協力者

桐生第12団ASM 内田 斌

夾やかな秋を思わせる様な県民の森キャンプ場（栃木県高原山）の四日目、多勢の方達の協力を得たからこそ、成功への道が開かれた事と思う。そんな生活の中に、小さな協力者が居た？「虻」である。バスを降り、すぐに歓迎して来れた「虻」。活動中手を休めようものなら「何やってるの、早く作業続けなければ駄目よ。」と、ばかり「チクリ」、動かないわけにいかなくなる。剣ヶ峰ハイクの時などは、今まで以上に監視役が増え、途中景色でも眺め一ぷくしようものなら、「スカウトがもうそこまで来ているぞ。お前は先導の身なのだから、追いつかれては駄目だ早く先に進まんかい。」と、言わんばかり制裁が下る。おかげで休む暇なく、みつもち山を越え、剣ヶ峰へとかなりのペースで進んだ。足はガクガク、シャツは汗でびしょり、時々太陽が雲にさえぎられ、夾やかな風が疲れを癒してくれたのが、せめてもの救いだった。思えば、46時中付きまとい「この野郎、いて一な一。」と言いながらも、或る意味では、大変な協力者だったのだ。……

スカウト活動について

桐生第14団CS隊 山口 達男

私の子供がボーイスカウトに入隊したのは、昭和49年の春でした。私は、お手伝いのつもりで、一緒になってやって居りました。その年にデンダットの仕事を頼まれて、50年に副長となり、今日に至って居ります。と言うのも、職業がら、和菓子製造業なので、日曜日となると、仕事の方が忙しく、特に春秋冬が忙しく、5月から9月中一ぱいが暇なのです。秋も深まる頃になると、来春の新入隊員募集が始まり、知人に申し込を頼むと、ボーイスカウトは金持の集りであり、軍隊の集まりだと言って、中味の知らない方達は、そう思っているようでした。私の子供が無口で、人前を恥しがる子なので入隊させたのですが、今日になって見ますと、友達との交流がすばらしく良くなり、学校でも人気者になりました。一昨日テーマ委員会の席で、一主婦の言葉ですが、内気な子だったのに人の前で発表の出来る子になり、大変喜んでくださいました。早速、翌日の晩リーダー会議がありまして、父兄の言葉を隊長に説明したのでした。テーマ委員会

リーダー会議、組集会、ゲームの研究、ソングのつどい、団会議と、中味の濃いプロ立案の集りと、毎月仕事がありますが、たまたま私共の隊長が大変マメで、良きリーダーシップを執って下さるので、張り合いがあります。集会では、自分もスカウトになったつもりで、短い時間を無駄なく活用するよう一生懸命楽しいつどいの時間を過すよう、心掛けて居ります。スカウトには、スジタオスの頭文字を実行できるように、これから先も、ボランティア活動に力を入れてまいる所存であります。来年一月に入ると、月の輪組を担当致します。日曜日は忙しいのですが、早起きして、自分の責任を果たしてまいります。

スカウト活動について

桐生第14団CS 飛田清雄

私は、自分の子供が入隊したので、私も一緒に入ってしまった。初めは、子供に引かれて、ただ集会に出ているうちに、だんだん活動がおもしろくて、つい自分の方が熱が入ってしまい、デンドット1年、副長1年をして、今日に至っています。さて、スカウト達に、3年間の思い出の中で一番楽しかった事を聞きますと、どうやら、海浜訓育が楽しかったようです。大自然を、スカウトの友として、その環境の中で自然の尊さを再認識し、素朴な人間としての生きる方法を探求する精神は、スカウトの精神に通ずるものがあると思います。その自然の中で、技能や、自律心、根気強さ、奉仕する心を、スカウト達は学びます。キャンプで、スカウトが、自然のもつ神秘や、自然の果物に直接触れることは、なにか新たな人生に対して、精神的なものを習得する機会にもなると思いました。私も、今迄の思い出にのこる訓育は、やはり、スカウトと同じカブキャンプが、一番印象にのこりました。今後も、一生懸命がんばって、カブ活動が家庭に楽しく持ち込めるようなプログラムを、考えたいと思います。

海外派遣に参加して

桐生第14団 深津正人

フィンランド国際キャンプ「カレリア79」に参加。それは、スカウト活動を続けて来た私にとって最大の喜びであり、中学生の私には再び得る事のできない貴重な体験であった。昭和54年7月27日モスクワ経由JAL 447便で北ヨーロッパへ向った。コペンハーゲンの市内を見学、その後ロンドンへ行き、B-Pハウス、ギルエルパークを訪ねた。そして一路フィンランドへ。首都ヘルシンキから北東へ500キロ。無数の湖の間を通り抜け、キャンプ地カレリアへ着いた。キャンプが始まった。参加者は20数ヶ国から集まった約1万人であり、私達は温く迎えられた。このキャンプでは、日本隊というものではなく、数名ずつに分かれてそれぞれフィンランド隊に入って生活した。最初、食事などに違いがあり、とまどうこともあったが、片言の英語で話

すうちにだんだん打ちとけ、楽しいキャンプを送ることができた。プログラムの開始。さすが北欧と感心したキャップハンディ。車椅子の乗り方、障害者用の数々の道具や映画。スカウト活動で、福祉を重視しているのが良くわかった。日本でも、もっと取り入れた方がいいと思った。またバスハイクでは、フィンランドの歴史博物館を訪れ、そのスケールの大きさに驚くばかり。美しい湖で行なわれたウォーターアクティビティでは、カヌーに挑戦したり、泳いだりした。日本人はいつも人気者であった。楽しい有意義なキャンプもいよいよ閉会式となり、親しくなったスカウト達とも別れなければならない。残念だ。しかし、キャンドルに火が燈され、1万人の心が1つに結ばれた時のあの感激は、一生忘れないだろう。またスカウト活動を始めたB-Pの偉大さを、改めて感じた。カレリアのテーマ曲の流れる中で。私はこの21日間の派遣での体験を、これからのスカウト活動に役立てたいと思う。

一寸一言

桐生11団育成会 歌代公江

リーダーをはじめ、スカウトの皆さんのおかげで、内気な子ですが、最近は“やれば出来るんだ”と言う事を覚えてくれたようです。親として一番うれしく思います。はじめて、マラソンで1等になりました。ひたいのハチマキも、カブの「ひも」で覚えました。一寸たて結びのようですが……。

1人子をスカウトに入れて、私は思います。親子ともに学び、理解した時、(こんなにすばしい所はないと思います)と声を大にして言いたい気持ちです。男の子としての体験学習は、スカウト活動のほかにはないと思います。

子供がスカウトに入団して

高崎12団 藤沢早智子

ボーイスカウト群馬県連盟創立30周年、おめでとう御座居ます。長男5年生がカブスカウトに入団して、2年、日曜日の集会には、毎週休むことなく喜こんで出席しています。集会のない日曜日は、一日が長くだらけていやだと言ってすごしております。8月より、佐野小は集団登校となりました。横断歩道を渡る時には、下級生の先頭になり、運転手さんに帽子を取って挨拶します。その様子を毎朝見ている奥様から「やはりカブスカウトに入っているの、きちんとしているのネ」と言われ、そんな我が子にビックリしています。サイクリング等の時、ボーイスカウトの先輩の行動をみていて身についたのだと思い、日頃のスカウトの訓練の成果と感謝を致しております。学校生活においても、つまったトイレの掃除等を、進んで行っている様子です。そん

な日々の行動からか、後期児童会の役員に選ばれて頑張っております。人前で良い事をしたり、悪い事を注意する事などは、大人になればなるほど、気がついてもとっても勇気がいることです。今子供達に願うことは、決して点取りむし、がり勉の自己中心の子供になるのではなく、お友達を大切に、誰からも好感の持てる人間として、前進してほしいと望みます。その前進の一つ一つが、スカウトのおきてや、やくそくの精神の現われではないのでしょうか。12月から月の輪です。団長さんの「無言の行動力」とっても美しく、勉強をさせられております。いつまでも、お元気で御活躍下さいませ様お祈りしています。今後共ボーイスカウト群馬県連盟の御発展をお祈り致します。

スカウトのモットーに感銘

群馬町第1団 黒崎 只男

30周年……という歳月を迎える、と話を聞かされ、心より、お祝と、各関係、指導者、役員の皆様に、感謝と敬意を申し上げます。私も子供の親として、自分の子供が人として、物を考える事、幼い時から温い謙虚な心、感謝と協調心の持ち主に育って欲しいと願い、スカウトに入隊を願い、群馬町第1団に許可され、2年半を経過し、この12月に月の輪に進級、自分から望み、親の私も、育成会、団委員会と職属し、スカウト活動に、微力ながらも努力し、喜んで、現在を過ごして居ます。最近の世間は、TV、ラジオ、雑誌、街には、映画のポスター等、見るにつき、決して、健全とは言えないものです。家庭では、環境によって、物欲面のみ満す傾向が強く、精神面からの指導は、非常に欠けて居ると思います。私はそれ等の点を考え、スカウトのモットー、おきて、ちかいに感銘して、親子一体となって、入隊(団)しました。私共、群馬町第1団は、箕郷第1団の好意と指導によって、3年を経過し、箕郷第1団は5年、まだまだ若い単組であります。月日の経っ事によって、立派に成長して居ます。今年の夏も、父兄、役員、地域の方々の、理解と協力によって、記念式典も敢しくの中に、終了出来ました。私は、常々父兄と懇談の機を得る時、口に出す事は、子供が入隊したら、親も、同様な心で行動して欲しい、指導者達の要請があった際は、積極的に参加し、指導者の方々が、無料で、心身、健全なスカウト育成に寄与して居る協力者になって欲しい。我が子のみ愛するのでなく、全体のスカウトを、創意と工夫、感謝といたわり、礼儀とちっ序等を、自然の中で、指導してる姿、30年の歳月の道を歩んで来た。スカウトも多勢、居ると思います。創始者・ベーデン・ポウエル卿が、「幸せとは、他人を幸福にすること。」と言葉を残されましたが、私も、ボランティア活動に入って6年余り、多少解って来た積りです。私の寄稿文は、30周年に適當とは考えません。しかし、初しい父兄の方々を問わず、初心、忘すれず。且つ、積極的に、今後のスカウト活動に参加し思いやりのある2世、創りに頑張りました。尚各地の団、隊の発展と、スカウトがより多く参加出来る様に、協力者に、敬意と精進を、お願い申し上げます。

いままでの活動をふり返って

前橋第 4 団 野 元 広 人

いままでの活動をふり返って一番反省すべき点は、進級がおくれているということだ。ぼくは、ボーイ隊に入隊して、約 2 年 6 ヶ月で、まだ 2 級である。それに、特修章が 4 つである。いま考えてみると、長く感じられる。入隊して初めてのキャンプ、ハルナキャンポリー、身障者の運動会には、全力をつくして手伝った。それから谷川キャンプ、スキー訓練、パラギキャンプ、富山県のボーイ隊との合同キャンプと、いろいろな訓練を重ねてきた。その中で気がついたことは、「努力」ということだ。炊事にしてもそうだ。いいかげんな気持ちでやっていると、まともなものができない。やっぱり、「努力」が必要なのである。テントの設営も、手旗も、ロープも、みんな「努力」が必要である。いままでの経験をいかして、これから 1 級、菊章と進級して、先輩としてははずかしくないように、よりいっそう「努力」して頑張りたいと思う。

ボーイスカウトでの思いで

前橋第 4 団 中 里 良 美

僕がボーイスカウトに入隊してから 2 年と 10 ヶ月が過ぎ、あと数ヶ月で、ボーイスカウトを休隊しなければなりません。僕が 4 団へ入隊した時は、まだ何も知らないで、ただ先輩のすることをまねていました。でも、何ヶ月がたつうちに、少しずついろいろなことがわかってきました。国旗掲揚や、日本連盟歌を歌う事など、ほかにもいろいろ覚えました。

僕は入隊する前は、「ボーイスカウトは、キャンプなどをやるのだろう。」と思っていました。だけど、他にもいろいろやっていたことが入隊したことによってわかりました。例えば、社会奉仕でゴミを拾ったり、催し物の手伝いをしたり、道路標識をきれいにしたりしました。また、キャンプなどもたくさんやりました。僕たちは、キャンプなどというとすぐに嬉しりますが、隊長や班長、次長はいろいろ打ち合わせたり、プログラムを製作したりして、大変なことが次長になって初めてわかりました。他にもいろいろ活動していることがありますが、書き出したらきりがありません。今僕は、4 団マウス班の次長をしています。前橋の団の中では一番活動していると思います。そして、これからもずっと活動を続けていってもらいたいと思います。僕は、あと数ヶ月ですが、その数ヶ月を、一生懸命がんばってくいたくしたいと思います。



スカウトと活動

前橋第4団 斉藤泰弘

ぼくたちスカウトは、基本的なものは覚えなければならない。その1つにロープ結びがある。ぼくたちの団は、知らないロープ結びなどをどんどんマスターしている。しかも、ロープ結びで活動時間の大部分をついやしてしまうこともあった。だけどロープ結びが1つ1つとだんだんわかっていって、おもしろくなってきた。おしえてくれる前は、家で自分でロープ結びなどの本を見てやって、そのままで考査をうけていたが、今ではくわしくおしえてくれるし、その日に考査をうけられてとてもよい。活動中にゲームをする。ぼくはゲームが楽しい。ゲームにもいろいろな種類がある。中には、僕が考えて作り、それをやってみたりすることがある。いろいろなものがある中で、ぼくは、一番楽しいものがある。それは、S・Zの字だけど、ほかにも二組にわかれてやるのが楽しい。また、カブスカウトと野球の試合などもやったりする。このようなスカウト活動がぼくは楽しい。

スカウト活動

前橋第4団 倉林宏光

先日、母が僕に、近所のおばあさんが、「宏光君、私に会うと、いつも笑顔であいさつしてくれるのですよ。年をとった私にはそれが、ほんとうにうれしくて、ボーイスカウトに入っているからかしら。人あたりがとてもやわらかいし。」と話してくれた。ぼくは意識して、にこにこしているのではないのだが、そんな事で喜んでもらえたら、ぼくの方も、とてもうれしいと思う。中学生になってから勉強も忙しく、部活も大変だ。しかし、日曜日のスカウト活動は、きびしいところもあるが、もっと楽しい。現在、いろいろな事を学び、活動し、経験していけば将来きっと役立つ事だろう。これからも、一生懸命やりたいと思う。

スカウト

前橋第4団 前沢知明

ぼくがスカウト活動で、一番良いと思っていることは奉仕です。ぼくの家族は、みんなスカウト活動をしています。少しせいたくなことをすると、すぐしかられます。特に今年は国際児童年なので、NHKテレビを見ていると、国際児童年の話題などを多くやっているため、すぐ、そのことについて言われます。それに、ぼくは、ボーイスカウトに入っているのだから、よく隊長などから、「物を大切にしろ」と注意されます。後でゆっくりおちついて考えれば、ぼくは、大変恵まれた生活をしていてなに不自由がないとわかり、そんなときには、自分が恥ずかしくなります。

スカウトには、まだまだよいところがあります。それは、野外でご飯をたいたり、ロープ結びをしたり、救護をしたりすることです。みなさんは、このようなことは必要ないと考えてでしょう。ぼくも最初はそう思っていました。隊長から、お話をお聞きしていると、みんなぼくたちに必要であることがわかります。

ほうたいのまきかたなどもそうです。今では、医者へいけばみんなしてくれますが、もし、ハイキングなどへ出かけてけがをしたらこまるでしょう。又、ロープ結びも、数多くしっていた方が、楽しいでしょう。橋をつくったりすることができるので、ハイキングなどがいっそう楽しくなるでしょう。このほかに、ゲーム、キムス、キャンプなど、いろいろ楽しいことや便利な事があります。ぼくは、ボーイスカウトに入っていてよかったと思います。

ボーイスカウト

前橋第4団 大内 拓

ぼくはカブスカウトのとき、あんまりおもしろくなくて、「ボーイスカウトになっても、たぶんどちがってすぐおもしろいよ。」と言いました。そして、ボーイスカウトにはいってみると、お母さんの言ったとおりとてもおもしろいです。ボーイスカウトでの、はじめてのキャンプは3泊4日で、3団と4団と氷見1団との合同キャンプでした。はじめてのキャンプで、いろいろな経験をしたりして、ほんとうに楽しかったです。

スカウト活動

前橋第4団 市川 宏

僕達の団では、朝集合時間が来るまで、皆、進歩記録帳や、進歩のてびきなどを見て、活動中、または、活動後の考査を受けるものを決めている。集合時間が来た。すばやく整列して、任命された者が国旗を掲揚する。そのあと、日本連盟歌と群馬連盟歌を歌って、朝のセレモニーから活動にはいる。活動はいつも、充実した内容でなければならない。僕達の団では、いつも活気あふれている。そして、普段どんな時でもスカウトとして、恥ずかしくない行動をしなければならない。また、いつも、ちかいとおきてを忘れてはならないと思う。スカウトは、制服を着ていないときも、つねに自覚を忘れてはならない。そして、何よりも、1日も早く進級することが大切だと思う。

スカウトの生活

前橋第4団 服部道生

ぼくは、ボーイスカウト前橋第4団に入隊して、約半年たった。今まで、キャンプやハイキングがあった。特に4泊5日の能登半島にある永見市でのキャンプは、とても楽しい活動だった。第3団と合同で行き、永見市へ着いたら、さらに、永見第1団と合流し、いろいろな訓練をした。いつもは、日曜日に、天川小学校を中心として集会をする。ふつう9時半に集合し、まず最初に、国旗を掲揚する。連盟歌を歌い、朝のセレモニーが終わる。いつもの活動は、ゲーム、ソング、しゅうとく課目を考査する。先日、上級班長の森口さんが、菊章をもらった。ベルトには、特修章がたくさんキラキラひかっていた。ぼくも、はやく2級から1級へと上進したい。そのために、これからも、ボーイスカウトをつづけようと思う。

救世キャンポリーに参加して

前橋第11団カブ隊 麻生日出貴

ぼくは、初めてのキャンポリーに行くために、ねぶくろ、リュックサック、ポンチョ、食器などを用意してもらい、にもつをリュックサックにつめる練習をしました。とくに、ねぶくろをたたむことは何回もやり、やっと、小さくまとめて、ふくろに入れられるようになりました。あれこれしているうちに、いよいよ出発の朝がきました。そして、5時45分に布教所を出ました。バスの中で、今日、8時30分から前橋工業高校の試合があったので、みんなして、「前工の試合、前工の試合。」とさげびました。その時、運転手さんがマイクで、「このテレビは、ビデオです。」といました。そうしているうちに、目的地につきました。夕方、開会式をしました。その夜、17日と、18日の式で、隊旗をもつのを、ぼくと、上原君がやるので、いつどっちがやるかというじゃんけんをして、ぼくが勝ちました。18日の方がだいじだから、たいへんになると思い、17日をえらびました。つぎの日、ボーイとカブとでの開会式をしました。ぼくが前に出て、隊旗をもっている時は、きんちょうしました。18日の大会は雨になって、参加できませんでした。帰ってからスタンプこうかんをしました。各隊で、出し物を出したりして、楽しかったです。そのあと、新宿19団と、しなものこうかんをしました。19団が、クイズを出してくれたりして、とても楽しかったです。

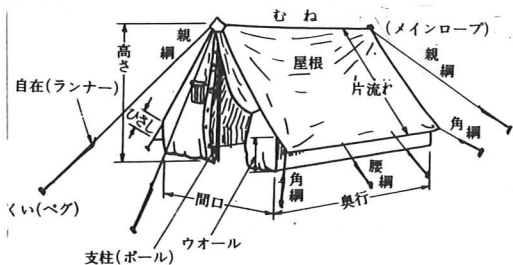
キャンポリーに参加して、よかったです。来年からは、ボーイなので、がんばりたいです。最後に、ほんとうにざんねんなことがありました。それは、千円のおこづかいがつかえず、妹や弟にやくそくした、おみやげが買えなかったことです。

救世スカウト大会にさんかして

前橋第 11 団カブ隊 富 沢 道 夫

ぼくは、キャンプにさんかするのがはじめてなので、うれしくて、夜早めにねました。朝、5 時にしゅう合なので、目ざまし時計を 4 時半にあわせました。おきた時、朝早かったので、とてもねむかったです。そして、行く時に妹をおこして、「ぼくは、キャンプに行ってくるからね。お母さんといっしょにくる。」ときいたら、妹は、「うん。」とねむそうな声でいいました。ぼくは、「じゃあ、早くきがえな。」といて、「行ってきます。」と元気な声でいいました。そして、みんながそろって、マイクロバスがくるのをまちました。バスには、もうお友だちがのっていました。そして、10 時間ぐらいでしずおか県につきました。そして、とまるよていになっている山の上の学校へ行きました。その学校は小さくて、1 年から 6 年まで、全ぶ 1 クラスなのでびっくりしました。そして、ここで水をあまりつかうと、町に水がいかなくなるので、「水を大切に使う。」と思いました。18 日は、楽しみにしていたスカウト大会の日でしたが、すごい雨で中止になり、ざんねんでした。でも、体育かんでいろいろゲームをして、とてもたのしかったです。わりばしを、と中まで切って、その間にマッチばこをはさんで、動物の書いてある絵に当てるゲームがありました。1 回目ははずれたけれど、2 回目はぶたに当てて、しかも耳の所にあなをあけてしまいました。でも、しかられませんでした。教室に帰って、すぐまた、ぼくたちがたい長の後をついて、いったら、東京のしんじゅく 19 だんの人たちが、はく手でむかえてくれたので、うれしかったです。しんじゅく 19 だんは、5 組まであったので、びっくりしました。もっとびっくりしたのは、38 人もいるので、ぼくたちのやく 4 ばいでした。さいしょのうちははずかしかったけれど、そのうちなれてきました。そして、歌をうたいました。ぼくたちは、ホルボリアクックをやりたい長が、5 とゆびを出したから、5 番までやめようと思ったら、みんながまだやるので、ぼくもつられて 7 番までやったので、クックと言う所を数えるのがたいへんでした。それからクイズをしました。さいごに、「亀筆」という問題が出ました。ぼくは、ヒントなしだから、ちょっとむずかしかったけれど、亀は「万年」生きて、筆という字は、「ひつ」とも読むから、「万年筆かな。」と思って、手を上げて答えたら、当たったので、とってもうれしかったです。そしておわりの時、ぼくたちは、新宿 19 団のたい長に、チーフリングをあげました。でも数が少ないので、全員にあげられないのがざんねんでした。ぼくたちは、かざりものをいただきました。ぼくは、2 人からもりました。絵のうらに住所が書いてあったので、後で、手紙を出そうと思います。

家形テント各部の名称



カブスカウト活動と・ぼく

高崎 12 団カブ隊 片野 雄介

ぼくが、カブスカウトに入って、1年と2ヶ月になろうとしている。ぼくのお父さんが、ぼく位のころ、ボーイスカウトに入っていた。その時の思い出を時々ぼくに聞かせてくれたりしたのが、カブスカウトに入るきっかけとなった。この1年のあいだに、色々なけいけんをした。

2月には、初めてスキーに行った。そして観音山のせいそう。それ以来、よそに出かけてもごみをすてる気にならなくなった。そして新潟の海水浴、8月のキャンプ、キャンプファイヤーをかこんでの楽しい歌。夜中にだれかが、テントの外に出て、坂の下までころがって行ってしまったことなど、まだまだ思い出はいっぱいある。最近は、ユニセフの街頭募金があった。それをしていると、心がとてもはれはれした。

「カブ山の月見」隊集会

高崎 17 団 神保 成人

ぼくたちの隊は、10月28日、眼寺広場で隊集会をした。いままでの組集会でまとめたものを発表した。1隊3組だった。組長の市村が「これから発表を始めます。けい礼、なおれっ。」と、いせいよく言う。それから狩りをする道具を発表した。市村が「ぼくは、敵に近づくための道具です。」と、言って、表面に木葉を付けたダンボールに手の出る穴をあけた物を身につけ、おまけにヘルメットまでかぶっていた。次の子は、弓を作った。その次の子の作った物が大へん面白かった。ぼくは初め、なんだろうと思った。説明を聞いて、ようやくわかった。それは竹を同じ長さに2本切り、半分に割って先をななめにけずり、横に並べ、とってをつけた物だった。おとし穴を作るスコップだというのだ。道具の説明が終わると、歌に合わせて、みんなが輪になっている中をぐるっと回り、もとの所にもどった。また、市村が「これで終わります。」とつげ、けい礼をした。つづいてほかの組の発表や、ソング、ゲームがあった。ぼくは、くまスカウトだから月の輪に進級した。いつのまにか、2時間が過ぎてしまう。なんて早いのだろう。そして、優秀組の発表が近づいた。ぼくはすごくどきどきした。早く発表を聞きたかったが、発表を聞いてがっかりした。さんねん。今度は市村君のいる1隊3組のような発表が出来る組になろう。

カブスカウトに入って

高崎第20団 仁藤 浩一

ぼくは、2年生の夏休みのときに、カブスカウトに入りました。ほんとうは、3年生から入るのだけど、3年生より下の人は、みならいとしてカブスカウトに入ります。最初は自分のしらな

い人ばかりいたので、なんだか行くのがいやだったけれど、そのうちだんだんともだちができて、もう行くのがたのしくなってきました。ぼくが3年生になって、お父さんにせいふくをかけてもらったとき、とてもうれしかったです。すこしたってから、みょうぎにアスレックスをしてみました。でも、きけんなものや、できないものがあったので、全ぶできませんでした。あとカブスカウトでは、たこ作りをしたり、スカウトフェアにさんかしたり、夏、キャンプに行ったり、やちょうの森へ行ったり、いもうえをしたり、いもほりをした、クリスマスパーティーなどをします。こういうことをとおして、ぼくは、カブスカウトに入ってほんとうによかったと思っています。ぼくは、ボーイスカウトになってもやめないで、これからも、ずっとつづけていきたいと思っています。

ボーイスカウト

高崎第21団 北嶋 聡二

ある日、ぼくたちが野球をしていたら、脇野隊長が、「君達ボーイスカウトに入らないか。」と、さそいに来ました。その時ちょうど野球が終わったので、みんな隊長の所にかけよりました。そうしたら、隊長がボーイスカウトのことについていろいろ話をしてくれました。お昼になったので、一度家に帰って、お父さんにボーイスカウトの紙を見せて、いろいろ説明してから「ボーイスカウトに入りたいよう。」と、お父さんに何度もお願いしたら、きょかしてくれました。こういうきっかけで、ぼくはボーイスカウトに入団しました。入った時は、まだ見習いカブでした。訓練にはいろいろあって、春には観音山に花見をしに行って、夏は、みうら海岸に行って、秋は、妙義山に登山に行って、冬は、雪山にすべりにいったりします。どこにも行かない日は、サッカー、野球、剣道、マラソンなどして体をきたえています。今はしかで、いろいろ訓練をしたり、キャンプに行ったりもします。そしてこれから、海水浴や、登山だけではなくて、他のボーイスカウトの人達とも、いろいろな活動をして見たいと思います。ぼくも、脇野隊長みたいな、リーダーになりたいと思っています。

五年をふりかえって

箕郷第1団 飯野 真一

ぼくは、ボーイスカウトに入ってもう5年もたった。この5年の間に、色々なよいことに出合った。まずは、他の地域の人と友達になれたこと、キャンプ、ハイキングその他色々あったこと。その中で一番印象に残っているのが、日本ジャンボリーである。中でもフィリピンのスカウトとの会話が一番印象に残っている。英語はあまり得意ではなかったが。。。。。

箕郷第1団としては初めてのことなので、この経験は、自分だけの思い出のように思える。今

入っている人も、いつかぼくと同じ経験をするとと思う。ボーイスカウトに入ってから、家の事をやっている母や、仕事をしている父の苦労がわかったような気がします。なぜかという、三度の食事の用意、これをするには必ず火が必要であり、マキも必要である。そのマキをひろうのには、やはり自分でひろわなければならないからだ。

最後に、入団して5年間やり続けたことで、大変大きな事を学んだような気がする。

ぼくの五年間

箕郷第1団 狩野好彦

ぼくが、ボーイスカウトに入ってもう5年もたった。早く5年たて、早く5年たてと思っていれば、5年間というものがすごく長いように思えるけれど、今から5年間をふり返ってみると、色々な思い出が出てくる。それらの思い出というものが、一瞬のうちに過ぎてしまったように思える。そして今、この5年間で一番思い出に残っているのは、桐生第9団との交歓キャンプである。ぼく達にとってだけではなく、箕郷第1団にとっても、初めての対外的な交歓キャンプであった。それから、第2の思い出といえば、残念ながらぼくは出場できなかったが、日本ジャンボリー初出場ではないかと思う。たくさんの思い出1つ1つを説明できないが、すべての思い出の裏には、リーダーや団委員さん達のたいへんな苦労があったことと思う。そうした人達の今までの苦労や、指導されたことをむだにしないように、シニアスカウトとしてがんばりたいと思う。

カブラリーの時、お世話になったこと

群馬町第1団 有沢太一

カブラリーの時は、ありがとう。ぼくは、はじめてやぎぶしをおどったので、よくわからなかったけど、きりゅうのみんなのおりにしていくと、すこしずつおぼえてきました。おどりがすむと、2人ずつ分かれました。ぼくは、組長の狩野くんとくみました。家について、中に入りました。上のせいふくをぬいで、カレーをいただきました。とてもおいしかったです。たべおわると、テレビゲームのブロックくずしをやりました。とっても、おもしろかったです。おふろも、はいました。おふろを出る前に、水でっぽうのじっけんをやりました。おふろからあがって、きがえて、テレビゲームをしました。すこしたつと、2階にあがって、本を読みました。5さつよんで、ねました。朝おきて、きがえをして、ごはんをたべました。おにぎりをつくってくれて、ありがとう。山で、インベーターをやっつける前にたべました。食べたら、元気が出てきました。元気が出たわけは、おにぎりがおいしかったからかもしれません。ほんとうに、ありがとう。

バザー

渡辺 秀和 1団

おにいちゃんが、カブスカウトに入っていたので、ぼくもはやりたくなかったのはいりません。そしてたのしいカブスカウトの日がくると、とてもうれしいです。そして、とうとう4週間目になって、バザーになりました。ぼくは、うれしくてうれしくてたまりません。その日は、8時からミサをはじめました。いつもは、7時からです。ミサがおわってから、カブスカウトの人たちがあつまって、たいちょうの話を聞きました。12時をすぎると、かんぜんに自由にならないという話でした。10時にならないと、バザーがはじまりません。だから、10時まであそびました。なん分かあそんだときに、ほうそうがありました。「今は、わたあめのコーナーと、衣料品売場は、もう、売っています。」と、いいました。ぼくは、おにいちゃんのところへ行って、「カブスカウトの人も、わたあめなどをかってもいいの。」と、ききました。するとおにいちゃんは、「まだ、カブスカウトの人は、かっちゃいけないんだよ。」と、いいました。つまらないので、カブスカウトにはいるときいっしょにはいったみやけくんといっしょに、しばらくあそびました。こんどは、たいちょうにきいたら「もう、かっているのだよ。」と、いいました。だからぼくとみやけくんは、わたあめのコーナーへいきました。みやけくんは、おさつなのでこまりました。ぼくは、おさつとりょう方あったのでへいきでした。ぼくがいくと、わたあめをついているおばさんが、「わたなべくんなら大きくしよう。」と、いって、大きくしてくれました。みやけくんも、やっとかえました。そして、たべおわってから、みやけくんとぼくの口のまわりはべとべとでした。だから、口のまわりをあらいにいきました。みやけくんが、「また、たべようか。」と、いいました。でも、ぼくは、たべませんでした。ほかのところも、ひらいたので、いろいろとかいました。教会コーナーで、かうとぎが多かったです。げんとうを見に入ってみました。おはなしの音が、あまり聞こえませんでした。1つのはなしがおわったら、いきなり「カブスカウトの人は出てきてください。」と、いうこえがしたので、出ていきました。どうしてかという、水まきをするのでした。一ぺん人数をかぞえたら、すわくんのふたごがいませんでした。水まきがおわったところにはもう、げんとうはおわっていました。ざんねんでした。そのあとにも、いろいろとあって、カレーライスが合ったのをおもいだして、カレーライスをたべてから、おにいちゃんといっしょにかえりました。おもしろい一日でした。



カブスカウトに入って

渋川1団 みやけ よしゆき

ぼくは、ことしから、わたなべくんといっしょにカブスカウトにはいりました。この前、みんな、りんごがりに行きました。雨がふっていたので、行けるかどうかわからなかったけれど、だんだん晴れてきたので、よかったなあと思いました。りんごえんのすいどうで、にわとりをころして、中みをとって、バケツの中に入れていました。ぼくは、かわいそうに思いました。おべんとうを食べてから、りんごを3つもらって、りんごえんのおじいさんに、どうしたらおいしい、りんごが作れるか、いろいろじっけんをした話を聞きました。帰りは、はるなの山が見えるところを歩いて帰りました。少ししかないけど、こうようがきれいでした。こんなに長く歩いたのは、おぜに行ったときしかありません。とてもつかれたけど、たのしかったです。これからも、いろいろなところに行ってみたいです。

カブスカウトに入隊して

桐生2団 泉 泰弘

カブスカウトに入隊して、約1年半たちました。「りすの道」をまなんで、2団に入隊した時は、まだカブスカウトになれず、あまり、カブスカウトはすきにはなれなかったのですが、うさぎになり、だんだんなれてきました。そうになると、いままでつまらなかったカブスカウトが、だんだん楽しくなり、友だちもふえてきました。そして、しかスカウトになると、2団のキャンプ場でロープをわたったり夏の花など、毎月おもしろいことばかりあります。はやくボーイスカウトになって、キャンプをしてみたいです。

三年目に向かって

桐生2団 渡辺 宣之

ある日曜の朝、また早くおこされて、ああ、カブスカウトに入っていないければ、日曜日はゆっくりとねていられるのにと、思った事が何度もあった。今までは、こういう気持だったけれど、今は少しずつ変って来たように思う。なぜかと言うと、カブに入っているからこそ出来るいろいろな楽しい事や、大変な事、そして組長という役ももらって、エヘンとえぱりたいような、はずかしいような事、また組織にリボンの数もふやさなくてはと思ってあせったりした事もあった。一番大きい事は、地区の運動会の時に、隊旗を持ってパレード出来る事は、ぼくにとっては、少しはずかしい気もあるけど、とってもうれしい事に思う。やっぱり、カブに入って良かったと感じている所だ。

海

桐生第2団 高山博久

ぼくは、カブで海に行ったのは、1回目です。でもぼくは、今年行った方がいいです。どうしてかと言うと、今年は、つりがあったからです。まずぼくたちは、桐生駅を6時にでました。新前橋で乗りかえて、くじらなみに着きました。民宿は、昨年宿った所と同じです。ぼくたちは、昼飯をたべて、昼るねをして海にいきました。皆で、おきの方へビートパンに乗っていきました。隊長がふえをふいたので、もどりました。次の日、つりに行きました。隊長と小山田君は、5ひき以上つりました。ぼくは、1ひきでもつろうと思ったけど、おもりが、なげたとたんんでいって、海の中に落ちてしまいました。海の中を見たら、海草がゆらゆらゆれていました。なんだか、不思議な気持ちになりました。皆ハリを海草にひっかけてしまい、かいそうがつれてしまいました。1きもつれないのが、とっても残念でした。来年はぜったいたくさん魚をつりたいと思います。

カブスカウトの思いで

桐生第2団 森島守人

ぼくは今、しかスカウトです。しかになるまででいちばん楽しかったのは、海に行ったことです。うさぎの時には行けなかったけれど、しかのときに行きました。みんなと行くと、家族で行くのよりずっと楽しかったです。海の水はしゃばいので、なるべく飲まないようにして泳ぎました。ビート板を使って、おきへおきへ泳いで行きました。いよいよ夕飯です。海の近くのせいか、海のりょうりしかでませんでしたが、とてもおいしかったです。次の日には、つりをしました。みんな、魚をいっぱいつりました。帰るときには、おみやげを買ったりしました。駅に着くと、電車はなかなか来ませんでしたが、やっと来ました。とても、楽しかったです。これから、カブスカウトを卒業するまで、キャンプや、いろいろな所に行くときは、必ず行くようにします。これからも、家でいであじわえないこともあるので、あまりやすまないようにしたいと思います。

三年間の思いで

桐生第2団 久保田 誠

ぼくはもう、カブスカウトにはいって3年たちました。一ばん思い出にのこったのは、くまのときにいった鯨波です。ぼくは、1組の組長になりました。いくとときに、新井君と、横塚君と、あべ君と、ぼくで、いっしょにすわりました。1日目は、てんきがよくなかったのですが、海にはいりました。2日目も、てんきがよくなりませんでした。でも朝、ブルートレン「北陸」をみ

ました。ほかにも「はくたか」や「とき」などいろいろみました。3日目は、海とつりにわかれ
ました。ぼくは、海のほうがよかったが、つりにしました。つりは、さいごのほうで、およぎま
した。そこには、かにや、さかながいました。でもとれませんでした。かえりも、いきとおなじ
ふうにしてきました。桐生についたとき、お母さんやお父さんがまっていてくれました。オセロ
大会も、ありました。1組が優勝しました。秋には、ソフトボールでも、また優勝しました。団
のカブリンピックでも、またもや優勝しました。ことしも、1組が1ばんいいといいです。これ
からののこりも、がんばりたいです。

カブスカウトに入ってよかったこと

桐生第2団 金丸幸樹

ぼくが、カブスカウトに入ってよかったことは、いろいろなゲームや、物を作ったりしたこと
です。それに、ふだんいけない所や、ふだんできないことができたことです。ふだんいけないと
いうのは、ぼくのうちは、しゃしんやなので、日曜日はどこにもいけないで、みんなかってにあ
そんでいるからつまらないので、カブスカウトでいろいろなあそびや、あとで、見学などをする
ことがおもしろいのです。そして、学校でじまできます。ぼくは、カブスカウトで一番おもしろ
いのは、ソフトボールです。でも、ゆうしょうかっぷは、うけとったことがありません。ぼく
は、カブスカウトに入るときのくりすきす会するとき、カブスカウトは、どんなことをするかとお
もいました。でも、ぼくのおにいちゃんがカブスカウトに入っていたので、夏海に行くことは、
していました。そしてカブスカウトに入ると、いろいろゲームをして、リボンを1いになった
組にくれるので、おもしろいとおもいました。さいごにぼくは、カブスカウトを、いままでいっ
ぱいやすんでいたもので、こんどからあまりやすまないようにしようとおもいました。

カブたいに入ってたのしかったこと

桐生第2団 松井利治男

カブに入ってたのしかった事は、夏にクジラ波の海へ行行った事です。ぼくは、行きによいそう
になったけれど、ぶじに着きました。着いたら、雨がふっていました。だから雨がっぱをきて、
山久りよかんにつきました。少し晴れたので、海へ行きました。次の日、ゆうらん船にのりまし
た。ほらあなにはいりました。ほらあなのおくまで、入りました。ぼくは、見なかったけれども、
おともだちは、コウモリをみたといっていました。また、スイカわりもしました。じょうずにわ
った人や、しっぱいしてふうせんをわった人もいて、とてもたのしかつたです。2日目のよる、
花火をしました。ぜんぶ花火をあげてしまってから、もやしたらかやくがまだのこっていたので、
はねてとんできました。みんなおどろいてにげました。ぼくも、あわてて後ろにさがりました。

そしたら、大きいどぶにおちました。だからぼくのあだ名が、どぼんとついてしまいました。魚つりにいきました。そしたら、1びきもぼくはつれないで、糸がなくなってしまいました。3日目は、つりと、泳ぐ人とにわかれしました。ぼくは、泳ぐほうにいきました。おみやげは、かわいいお人形をおねえちゃんに買いました。あとの家の人には、貝のかざりものを買ってきました。みんな、おみやげをよろこんでくれました。

カブスカウト

桐生第2団 須田真人

ぼくは、カブスカウトに入って、本当に良かったと思います。ぼくは、入団して2年目になります。ぼくが、一番くるしかかったのはサイクリングで、川内の白滝神社に行ったときです。おおふくで、15km自転車で乗りました。こんなとおくのほうまで、たい長はなんでつれてきたのだろうと思って、帰ってきてお母さんにきいたら、カブたいのお母さんやお父さんなどが、テーマ委員会できめたことなどを、リーダーたちが、時間や行く場所をきめてじっこうするとききました。お母さんやお父さんたちが、ぼくたちのために、いろいろな行事をたててくれるので、ありがたいと思います。

三年間の思い出

桐生第2団 小山田栄一

ぼくは、この3年間で、おもしろかったこと、やりたくなったことなどいろいろありましたが、その中でも、おもしろかったことは、海へ行ったこと、運動会、ソフトボール大会などです。やりたくなかったことは、作文や、絵などが、とくにやりたくありませんでした。まだやっていないことやりたいことは、ソフトボールでなく野球です。そのほかは、テントでキャンプなどがしたいです。やしょうは、おと年は4つ、去年も4つだったので、今年こそは4つ以上もりたいですが、まだ1つももらっていないので、この半年かんいっしょうけんめいがんばって4つ以上もりたいと思います。今年の組はとてもちょうしがよく、ソフトボール大会も1位で、2団カブリニックも1位でしたので、とてもいい思い出ができると思います。あと半年かん、いっしょうけんめいがんばりたいと思います。

カブスカウトに入って

桐生第2団 横塚太朗

ぼくは、カブスカウトに入って2年目の半人前のカブ隊です。入隊式の日、気持が悪くなり、倒れてしまい、意気地のない自分が恥ずかしかったです。それから車によってしまい、皆にめいわくをかけてしまったので、今年はやわないように努力しています。そのせいか、今年はまだよわないでがんばっています。それに今年も、一度も休まないようにしようとがんばっています。去年は、二度休んでしまったので…… ぼくが、カブスカウトに入ってうれしいことは、ソフトボール大会です。カブスカウトに入って1年目のうさぎのとき、3組でした。その時、ソフトボール大会でゆう勝しました。そして2年目の今しかで1組になり、またゆう勝しました。だからぼくは、ソフトボール大会がーばんすきです。それに宇宙博やスキーにも行き、たのしいことがいっぱいありました。つぎに、くやしかったときは、オセロ大会のごじんで、おしくも2位になったことです。さいしょは、ぼくが1位だったのが、あとに3回もまけて2位になってしまいました。その時すごくくやしかったです。「1位だったから、カップがもらえたのになぁ。」と、でも思っています。今数えてみると、うれしかったこと、くやしかったこと、つらかったことなど、かぞえきれないほどあります。カブスカウトからおわかれするまで、まだ1年間と少しあります。またいろいろなことがあると思います。

カブスカウトに入って

桐生第2団 阿部博和

ぼくは、カブスカウトに入ってよかったと思います。それはなぜかという、カブスカウトは、隊のキャンプや、ふつうの集会のときも、隊でのようしがあったりします。ぼくがカブスカウトに入ってから、キャンプやりょうこうが、梅北山や海、これからいくSLホテルなどあります。海のときは、海でおよぎ、海づりをたのしみました。梅北のときも、帰りになって川で遊びました。その前、自分たちで作ったみそしるやごはんは、とてもおいしかったです。ねるときは、久保田君とねました。梅北は、とてもおもしろかったです。これからいくSLホテルは、どんなとこだかたのしみでたまりません。ぼくは、はじめのほうやだったけど、ほんとに、カブスカウトに入ってよかったと思います。



関東カブラリー・パチンコゲーム(S42.4)

カブスカウトに入った事

桐生第 2 団 武井 芳 晴

ぼくは、カブスカウトに 4 月に入隊して、今 6 ヶ月たちました。はじめのうちは、ただむちゅうで友達の顔と名前をおぼえました。カブスカウトのきまりをおぼえるのも、大へんでした。サインも、今はすぐ出来ます。はじめのころの集会の時は、ゲーム遊びや、水てっぽうなど作りしました。このごろは工場見学や、海にもとまりに行くようになりました。「はるな」の自えい隊見学に行った時は、とても良かったです。戦車に乗せてもらったり、てっぽうでうっところを見せてもらいました。帰りには、いらなくなったてっぽうの玉をもらってきました。梅北山にもキャンプに行き、夜は、キャンプファイアーをしました。海へ行った時も、花火を上げたり、ゆうらん船にのったりしました。今では、友だちもたくさんできて、カブスカウトに入ってよかったと思います。毎週の日曜日がくるのが、楽しくなりました。サイクリングで、からだや、足も、じょぶになりました。カブラリーが、桐生にあった時、大泉から来たカブスカウトの子達とも友だちになって、手紙を出したり、もらったりしています。これからも、いろいろなことをおぼえて、早く、「シカ」や「クマ」になりたいと思います。

カブスカウト

桐生第 2 団 新井 達也

ぼくは、ことし初めて、カブスカウトに入りました。初めのうちは、カブスカウトというのは、どうことをするのかあまりわかりませんでした。でも、今はわかります。おさないものをいたわったり、すすんでよいことをしたりするのです。ぼくは、カブスカウトに入って、いちばん楽しかったのは、うめ北山のとまりと、海へ行ったときでした。うめ北山のとまりは、ぼくの初めてのとまりなので、どきどきしてしました。でも、海のはきは、もうなれていましたので、どきどきはしませんでした。海へ行った日は、雨がふっていたので、海に入れなかったもので、ざんねんでした。ぼくは、カブスカウトに入って、ほんとに、よかったと思いました。

くじらなみに行つて

桐生第 2 団 山田 泰元

7 月にくじらなみに行ったとき、ついても雨だったので、プログラムがくずれて、ほかのあそびをやっていたので、せっかくついたのでざんねんだと思った。でも、そのあそびもおもしろかった。クイズなども、やった。ねるとき、あまりなれていないので、なかなかねむれなかった。それに 4 組は、せまい所でねむつたのでむしあつかった。12 時ごろにおきて、トイレへ行って

からねむれなくなった。つぎの日、すこしはれたので、日中海にはいった。ビート板で、岸からだいぶはなれた所へ行った。これがいちばんころにのこった。すなで、せきとめるとうも作った。水中メガネで海にはいると、下になにかうごくものがいた。どんどん行って立つと、首までのところがあり、水中メガネをとると、なみが来て海水が目にはいり、しみた。だから、急いで岸へ行った。しばらくして、クラゲを見たという人がいたので、あまり遠くへ行かなくなった。しばらくして、こんどは、クラゲをつかまえた人がいた。ささないことがわかったので、遠くへ行くようになった。そして、いっしょうけんめいクラゲをさがす人もいた。3日目には、午前から12時まで泳いだ。ゆうらんせんにのった所の海は、ゴミがういてきたなかった。ゆうらんせんがくるまで、海にいていいことになっていた。でも、きたないからはいらなかった。ゆうらんせんがきたからのって、しゅっ発した。なみがくると、上下にゆれおもしろかった。この2はく3日の間に、すいかわりなどの、海の代表のあそびもした。すいかわりのとき、ふうせんをうめて、「こっち、こっち。」と言って、ふうせんをわらせた人がいた。おもしろかった。

カブでの思い出

桐生第2団 五嶋 博

ぼくが、カブスカウトで一番お思いでにのこったのは、ぼくがしかのとき、ソフトボールで優勝したことです。ぼくたちのチームが優勝したのは、ぼくのお父さんがいたからです。いなかったら、かんぜんに負けていました。はじめやったのが、4組でした。4組に勝って、つぎは1組でした。1組は強くて、はじめは負けていたけど、あとの方になってきたら、だんだんおいついてきて、とうとうどうてんになりました。そうして、さいごの回に、ぼくんちのおとうさんのぎゃくてんホームランで勝って、ぼくたち3組が優勝しました。つぎは、しか対うさぎでやって、ぼくたちしかの方がだんぜんリードしていかちました。また、なん日かたって、ソフトボール大会をしました。こんどの一番目の相手チームは、きょうてき1組で、ぼくんちのおとうさんがきなかったので負けてしまいました。しかし、つぎのチーム、4組には勝って、3位になってしまいました。だけどまだ、あと1年間あるので、また1位をとりたいです。そうして月日がたち、ぼくたちはくまになりました。そうして、またぼくたちは10月14日にソフトボールをしました。このときの一番はじめのチームは、2組でした。そのチームには、強い人ばかりで、おとなでは、星野さんや、武井さんがいました。さいごの回で、ぼくたちのチームは、8点いれて、勝ちました。さいごの3ランホームランがきいたと思います。さいごのチーム1組とやって、はじめのうちはいいしょうぶでしたが、さいごにどんどん点をいれられて、9対3で負けてしまいました。

カブスカウトに入って

桐生第 2 団 北野 貴之

ぼくは、今年の 4 月桜の花がまんかいの頃、せんばいのお兄さんスカウトにむかえられて、入隊しました。早いもので、もう 6 ヶ月すぎました。その間に、いろいろな楽しい事がいっぱいありました。ゲームをしたり、海へ行ったり、ソフトボールをしたりしました。海で楽しかった事は、すいかわりで、ぼくは、すいかをわりました。それから魚つりで、あじの小さいのがつれました。もっと大きいのがつればよかったのに、ざんねんでした。この間、2 団の運動会をやった時、ぼくは、いろいろなきょうぎに出ました。パン食いきょう走や、リレーをやりました。その時ぼくの組はビリから 2 でした。カブスカウトは、ほんとうにおもしろいです。ぼくは、日曜日の集会がいつも楽しみです。

カブスカウト

桐生第 2 団 文 克己

ぼくは、もうカブスカウトに入って 2 年目です。ぼくは、カブスカウトに入って、団体生活をする事が、うまくなりました。カブスカウトでは、親からはなれて、海や山に行ったり、工場見学やいろいろな事が出来るので、大変よかったです。それに、山でハイキングしたり、いもほりをしたり、いろいろな物を作ったりしました。時々、休み日があるけど、矢章や、進歩記章や、ゲームなど、楽しい思い出がたくさんあります。ぼくも、始めはあんまり良くないんだとぼっかり思っていたんですが、入ってみると友だちがいっぱい出来て、良かったと思います。ぼくには、学校の中にも同じ団の人がいます。その人から連らくを聞いたりしています。とくに、2 団には境野の人が半分以上もいますから、年上の人、年下の人、います。ぼくが入ったのは、となりの人に入り方をおそわって入ったので、あまり友だちがいまいませんでしたが、学校の組がえがあった時から、友だちがふえたのです。それからだんだん年が上になった時、ぼくより年下の人が出たので、今では隊の中の中心です。時々けんかをするけど、すぐ仲直りをします。このごろは、あまりけんかをしないので、みんな仲良しです。「うさぎ」の時までは、年上の人にみんなおしえてもらいましたが、「くま」になると、こんどは自分が教える方だなあ、と思います。みんなやさしい友だちです。お母さんが、ぼくがカブスカウトに入って良かった所は、先ばい後はいの立場が分かってきた事と、よその大人の人にめんどろを見てもらってきそくを守る事、皆と仲間になった事が、大変よかったですと言っていました。

カブスカウトに入って

桐生第2団 新井賢二

ぼくは、カブに入る前に、あんちゃんが入っているので、いろいろな所につれていってもらい、おもしろかったので、ぼくもカブに入りました。カブにはいって、はじめてつれていってもらったところは、そうまがはらです。そうまがはらで、じえいたいのれんしゅうをみせてもらい、終わったあと、たいほうや、じいぶもみてきました。それから、畑で草むしりもしました。ひしのキャンプ場や、やぶつかの阿斯レチックにもいきました。はじめてとまりにいったところは、梅北山の家です。はんごうでおつけをつくたり、デンマザーがおすしをつくってくれました。とてもおいしかったです。夜になって、キャンプファイアーをかこみ、歌を歌いました。7月のすえに、くじら波へかいすいよくにいきました。いった日雨で、りょかんについたときはびしょびしょでした。つぎの日は、8時から9時ごろまで雨がふって、10時ごろになって海にいて泳いだり、すなでだむみたいのをつくりました。おひるすぎは、つりにいきました。みんなはいっぱいつれたけれど、ぼくはリールがとばないので、リールのさおのさきにしばっておいといたら、でっかいふぐがつれました。つぎの日は、泳いで、そのままゆうらんせんにのりました。どうくつの中にはいっていったらこうもりがいました。たのしかったかいすいよくでした。8月にはカブラリーがあり、ぼくのうちにも3人とまりにきました。夜は、テレビをみたりゲームをしたりして、つぎの日どろけをしました。10月には、ソフトボールたいかいがありました。4組は2組にかかったけれど、1組にまけました。それから、カ布林ピックで、パンくいきょうそうと、かけりっこをしました。おひるは、パンくいきょうそうにでた人は、とったパンをたべました。うんどう会は、がんばりたいとおもいます。

カブスカウトの思い出

桐生第2団 井田暢幸

ぼくは、カブスカウトに入って、うれしいことなどがいろいろありました。梅北山のことは、ボールあそびをしたり、川で水あそびをしてぬれた人も何人かいて、夜のごはんとき、みんなとうるさくしながらたべて、夜ねる時、ぼくはねまきをわすれて、たい長にしまわれたり、朝ゲームをしてまけたりかったりして、おもしろかったです。にいがた県のくじら波のときは、朝はやくおき、桐生えきに行って、でんしゃののって、ノートにえき名をかいりしてしていました。友だちと、いろいろなゲームをしてあそんで、前橋へついでのりかえをして、かしわざきという所までし水トンネルがながく、くたびれて、ついて、すぐに、ねとまりする山久という所で、しゅきやゲームクイズなどをやっておもしろかったです。海はきれいで、水がつめたく、からだじゅうがひりひりしてきました。つりをして、ぼくはいっぴきもつれませんでした。すいかわりは2回やって、2回ともぼくはわれました。ボートには、みんなのって、ぼくだけのれませんでした。

山久のごはんはうまくって、2泊3日のとき、ぜんぶで 1ぱい食べました。3日のひる、千代丸という船にのってしょうにゅうどうをみました。大きな穴で、おくまではいれなかったけど、きみのわるい所でした。帰りはおみやげをかったあとに、でんしゃにのって帰りました。とてもおもしろかったので、これからも、ボーイシニアとつづけたいと思います。

三年間のこと

桐生第2団 篠原伸宏

カブスカウトにはいって、3年間たちました。3年間の間、いろいろなことがあり、いろいろなことを経験しました。よかったことや、いやなことがありました。カブラリーの時のちょう礼のときは、苦しかったです。塩原での訓練、夜の室内キャンプファイヤー、みんなといっしょに食べた食事、楽しかったです。大宇宙博、月の石、はじめてみました。カブスカウトにはいって、よかったと思いました。5周年記念、自衛隊の活動、すごかったです。海でのキャンプファイヤー、楽しかったです。カブラリー。隊旗をもって、はらはらしました。このようなことがありました。これから、月の輪へむけて、がんばりたいと思います。

カブスカウト

桐生第2団 なんばなおひさ

ぼくは、カブスカウトに入団してからすうかげつたちますが、こんなにたのしく、べんきょうにもなるし、りょうやサイクリングをしたりして、うちでわなかなかいけないところにつれていってくれるので、カブスカウトにはいって、とてもよかったとおもいます。これからも、もっとよいカブスカウトになりたいとおもいます。

カブ隊の思い出

桐生第2団 上村紀之

カブに入ってたのしかったこと、なんと言っても海でのとまりだった。およいでいて、クラゲもとった。うきいたにつかまってるういていたり、はまべであそんだり、つりもした。ぼくは、つりが大すきだ。1日目つりをした時は、リールのつかい方をあやまって、糸を切ってしまう、やめてしまった。岩場の水のたまった所でもおよいだ。水中メガネで見ると、小さな魚がおよぎまわっているのがみえた。かにもつかまえた。ぼうでつくと、かながあなから出て来る。水の中ににげるかにもいる。水中中にげられるととれない。そのうちに、くつ下がらないという子が出

てきた。すると、全いんおこられて、みんなしらべさせられた。きびしいなあーと思った。本当のことを言うと、ぼくも齒ブラシがと中でなくなってしまった。でも隊長にしかられるのがこわくて、隊長にいわなかった。よくみたら、室のすみにおちていた。その時はほっとした。ぼくは、カブ隊には行ってよかった。だんだん、たくましくなっていきたいものだと思う。

この三年間をふり返って

桐生第2団 新井雄一

僕は、この3年間をふり返ってみると、いろいろな事が有りました。楽しかった事、つらかった事、家では教えてもらえない事もおぼえました。3年間の思い出を、ここに書きたいと思います。僕がカブスカウトに入ったのは12月で、その日吾妻山でクリスマス会がありました。制服を着たボーイスカウトの人達や、カブスカウトの先輩が、バーベキューや、焼そばを作ってくれて、楽しいかんげい会でした。次の集会から、岡公園や白しげ神社で、なわとびや、ドッチボールをして、リス時代をすごしました。リスの道も終わり、ウサギスカウトになり、カブスカウトの一員となり、制服も着ることが出来ました。あれから3年、月日がたつのは早いもので、もう僕達はクマスカウトになってしまいました。ウサギの時は、カブラリー桐生全員で、バス10台以上使って新潟の海へ行き、1日目の朝礼でたおれてしまい、海へはあまり入れませんでした。砂浜はとても暑かったです。夜になって気持ち悪くなり、2日目の夕方には、みんなより先に帰ってしまいました。菱のアスレチックでは、始めてつめたいおむすびを食べ、なめこ汁が出ました。黒保根村でマス釣り大会をして、魚たくをとるのをわすれて焼いて食べてしまい、みんなで大笑いをした事もありました。しかになると、隊長も、松林隊長から水上隊長に変わってからは、

フトボール大会をしたり、工場見学が多くなりました。始めて行った所は富士重工で、車の出来るまでをいろいろ見ました。そして、10月には宇宙博へ行き、途中の汽車の中では、始めて新幹線を見る事が出来て、とてもうれしく、みんなも大喜びでした。宇宙博では、サターンロケットや、日本のNロケットがありました。サターンロケットの大きさには、びっくりしました。また、畳500畳じきのハイマックスの映画では、画面がせまってくるような感じで、とてもスリルがありました。冬には、石打のスキー場へ行きました。雪の上では、みんなとソリに乗って競走したり、雪合戦をしたりしたので、びしょびしょになってしまいました。とても楽しい1日でした。僕がクマスカウトになると、弟が入隊してきました。そしてこんどは、弟と一緒に、相馬ヶ原に自衛隊の演習を見に行きました。そこで銃の弾丸を拾い、それは今でも僕の宝物の1つとして、大事にしています。また自衛



隊の戦車を目の前にして、その大きさにはおどろきました。ヘリコプターのまい上げる砂などがとてもすごく、水をまいてもすぐにかわいてしまいました。自衛隊の人達の行動は、とてもきびきびしていて、かっこよかったです。今年の7月末には、新潟の鯨波へ行きましたが、着いた日は雨で、海に入る予定が中止になり、旅館に着いた時にはびしょぬれになってしまいました。この日はとても残念でした。次の日の朝には、僕の待望の釣りに出かけました。隊長が大きなアイナメを釣り、僕は小さいけれども、アナゴを釣り上げました。3日目は、海に入りましたが、僕はこの旅行では釣りをしたことが一番楽しい思い出になりました。この3年間をふり返ってみても、まだこの他に、みんなといっしょにすごしたいろいろな楽しい事や、つらかった事などもありましたが、ボーイスカウトになっても、一生けんめいにがんばってみたいと思います。

カブに入ってよかったこと

桐生第2団 牧島 史明

ぼくが、カブにはいってよかったと思ったのは、こわがるのがすくなくなったことです。それは、ぼくはよくおよげなのに、深い海がこわかったなんて、なんておかしかったことでしょう。それに、サイクリングはあまりとくいではありませんでした。とくに、坂道などはにがてでした。坂道はひじょにつかれて、足がいたくなるほどでした。それからは、深い海や坂道もだいじょうぶになり、体もじょうぶになってよかったと思っています。それに、日ごろできなかつたこと、やらなかつたことがよくできるようになって、よかったと思っています。それに、おそれることなくなんでも言え、できなかつたことがつぎつぎにできるようになり、うれしいと思っています。しかもちがうがっこうのともだちもできてうれしいし、やりたいこともよくできます。きれいなあそびが、少なくなってきました。これからも、いろいろなことを学び、きれいなあそびをなくすようにど力したいと思います。

カブスカウトに入って

桐生第2団 梶山 和宏

カブスカウトに入ってから、2年目になりました。その中でいちばんたのしかったことは、海にいったことです。1回目に行ったときは、晴れていました。すなも暑かったです。2回目は、雨がふっていたので、すながぬれていました。今年は、海づりをしました。1ぴきも、つれませんでした。キャンプファイヤーや、花火も楽しかったです。家族でいったのでは、けいけんできないことがいろいろできてよかったことおもいます。ソフト大会を、なんかいもやってきました。ぼくは、はじめのうちはできなかつたけど、いまはできるようになりました。でも、まだルールはそんなにしりません。これからも、いろいろなことをおぼいていきたいとおもいます。カブス

カウトに入って、よかったとおもいます。

カブスカウトの思い出

桐生第2団 飯塚 弘明

ぼくが、カブスカウトに入った年の夏、カブラリーがありました。その時は、暑さで倒れたり、きらいな物も食べさせられたり、自由行動もできなくていやになりました。でも、少しずつやっ
ていくうちに、だんだんついていけるようになりました。そして、泳ぎに行く時、砂浜が熱くて、
足のうらがジリジリ熱くなってきて、やけどをしてしまいそうになった事もありました。でも、
「このくらいなら。」と頑張ってました。やがて冬。まちにまったスキーです。ぼくは、
うれしくてはりきって行きました。スキー場まで行くのに、電車で3時間ぐらいかかったので、
気持ちがいらいらしてしまいました。でもスキー場に着いた時、「よし、思いっきりすべるぞ。」
と心の中で思いました。ぼくは、同じ組の友達といっしょにすべっていました。いい調子ですべ
っていると、リフトの下の穴ぼこだらけの所に来てしまい、ぼくは、やっとの事ですべり抜けら
れましたが、友達のスキーはプラスチックだったので、穴に落ちてスキーが折れてしまいました。
午後は、スキーになれたので、リフトに乗って、頂上から右や左に曲りながらすべれるようにな
ったので、うれしくなりました。スキーやソリが楽しかったので、帰る時には、「あと1日あれ
ばなー。」と言う気持ちになって、さびしくなりました。でも、「又来られるさ。」と自分に言
いきかせて、元気よく帰りました。このほかに、マス釣り大会でマスをたくさん釣り上げた事
や、運動会の時、ゼンソクで、少し走っただけでも息苦しくなった事など、楽しかった事、つら
かった事が、たくさんあったけれど、カブスカウトに入って友達もたくさんでき、色々体験で
きて、本当に良かったと思えました。

カブスカウトに入隊して

桐生第2団 五十木 和夫

ぼくは、はじめカブスカウトというものは、どういようなものなのかしらなかつた。だが入
隊してみたら、カブスカウトが思ってもいないほどおもしろかつた。カブスカウトで、はじめて
経験したことがいっぱいあつた。経験した1つで、スキーがいちばんよかつた。ぼくは、しんせ
きの人となんかいかスキーへいったので、カブスカウトでやってみたいなつと、思った。そのね
がいが、ぐうぜんになつた。だがカブのスキーは、スキーじゃなくスノウボードですべるのだ
つた。それで、ぼくはがっかりした。行く日、はじめ桐生駅発の電車にのつた。それで、清水ト
ンネルへはいるまえはまだひがてっていたのに、清水トンネルを出たとたん、辺りは、雪の銀世
界になつていて、ぼくはびっくりした。それで石打へつき、スキー場へいった。そして、みんな

といっしょにスノウボードですべった。そして、雪合戦をして、ぼくは楽しかった。時間がたち、かえる時間になった。そして桐生駅へついた。

カブスカウトに入隊して

桐生第 11 団 歌代 公司

はじめてカブスカウトと言う言葉を聞いた時、良くわからなかった。ぼくは、1人っ子で気が小さい方だ。だから、きびしくて皆についていけないと思ったが、あのせい服は、カッコいいなと思った。4月に隊長がせい服をもって来てくれた時はうれしかった。ぼくも、これを着るのかと思った。だけど、金山青年の家にくんれんに行った時はつらかった。もうだめだと思った。月だけどすごくあつくて、かんかんでりのあつい道、2時間ぐらい休みなしで歩いた。もうやめようとも思った。でも、8月に寺泊りの海に行った時には、もう楽しくて楽しくて、げんこう用紙2まいじゃ書ききれないな。あの時はとにかく、グウだった。もし、11団の隊長が行かれたら、聞いてほしい。それからうれしかった事がある。それは、9月のソフトボール大会だ。ぼくはスポーツがへたなので、どうしようかと思っていたが、組の友達がぼくのへたな事を何も言わなかった。ぼくは、皆にわるいと思ってむちゅでボールをとるれんしゅうをした。はずかしくてたまらないけど、いっしょうけんめいにやった。そして、し合いの日にも、へただけどもちゅうでやった。し合では、2組が勝った。ぼくは組の皆にせきにんを感じていたの、で、すごくうれしかった。ぼくは大きな声でバンザイと、言った。ぼくのいる2組は皆いいスカウトばかりだ。隊長や、デンダットやデンマザーの言うことを聞いてがんばれば、何でもできるような気がして、学校の運動会でもがんばったら、今年のはじめてマラソンで1等になった。やっぱり、カブスカウトに入ってよかったなと思った。11月は何があるかな。

高原山キャンプを終わって

桐生第 12 団 小倉 浩嗣

このキャンプは、僕らシニアにとっても、初めての、12団1隊だけで行なう長期キャンプだった。そのため、他団との交流はなかったが、とても楽しく行ったキャンプだった。今年のキャンプの変わっていたところは、山道をかけ回る事がとても多かったことだ。(これだけの、自然に囲まれた中でのハイクは、そう出来るものはないだろう。)全員が班でよくまとまり、毎日、長い距離を歩き通したと思う。むしろリーダーのほうが……。高原山では雨にも降られず、暑い日ざしも、緑の葉々にさえぎられ、とてもすがすがしくすごせた。こんな良い条件のそろったキャンプが出来たことは、何よりも忘れられない思い出として、残るのではないだろうか。でも、いつもこんなに良いともかぎらない、雨が降り続くかも。“そなえよつねに”だ。のびのび

とすごせた3泊4日、こんなすばらしいことって、他にあるだろうか。

夏季キャンプの思い出

ライオン班 橋本茂雄

出発の日、ぼくは、初めてのキャンプ場というものへの不安や、期待で胸をふくらませていた。目的地へ着いた。あまりのながめのよさに、不安はいっぺんにふきとんだ。ライオン班の次長の岩崎君がおくれてくると聞いて、また、不安になってきた。しかし、班員の活躍ぶりにはおどろいてしまった。みんなに積極性が出て、優秀班にもなった。1人ひとりが協力しあい、調理が、今までは他班に比べておそかったが、他班より早くできるようになったことにはおどろいた。おどろくと同時にこれからも、どんどんよくなっていくと、確信できるようになった。この4日間の、ライオン班の成長。ぼくは、それがいちばんうれしかったし、一番思い出になったと思う。ボーイスカウトとしての、4年間の思い出。今でも目をとじると、いろいろ思い出。今でも目をとじると、いろいろ思い出される。この経験は、一生ゆすれないで、大切にしたい。

長いキャンプ

桐生第12団 富沢 淳

今度のキャンプ、何かと失敗が多かった。剣ヶ峰ハイク、ウッディーアドベンチャー、炊事などなど。本当は、班長の責任なのに、班員にやつあたり。だけど、一緒に頑張った仲、みんなも許してくれるだろう。一番に残っているのは、やはり剣ヶ峰ハイク。行く時は、最高に苦しかったけど、頂上について、いっぷくしたときは、VERY HAPPYな気分だった。あの強い日差しの中で、よく倒れなかったと思う。しかしまた最後になってハプニング、道を間違ってしまったのだ。みんなヘトヘトでようやく着いたと思ったら、足はガクガク、うではヒリヒリ、体が痛くなってしまった。こうしてみると、よく班長がつとまったなと自分でも思う。みんなには迷わくをかけたけど、自分には、良い収穫になったと思う。これからもみんなに頑張ってもらいたいと思う。

夏季キャンプで

桐生第12団 渡辺 寿夫

夏季キャンプ第2日め、ぼくが一番楽しみにしていた。剣ヶ峰挑戦ハイクの日がやってきた。その日は天気もよく、絶好のハイク日よりだった。さあ出発。ぼくたちライオン班は、2番め

に出発した。30分ぐらい歩くと第1展望台に到着した。そこはものすごく景色がよく、桐生のあづま山からみたのより、ずっときれいだった。その展望台もあとにして、ぼくたちほ歩きはじめた。さあもう、剣が峰がみえてもいいころだ。ぼくはそう思ったが、まだまだ、半分も行っていないよと、班長にいわれて、ぼくはもうくたくた。それでも、力をふりしぼり、やっとの思いで、剣が峰のふもとまでやってきた。そこで、昼食そとり、一休みしてから、剣が峰頂上めざして出発した。雨はふらなかつたけれど、土がしめっていて、すべる子もたくさんいた。2、30分歩くと、頂上が見えてきた。ぼくたちは、最後の力をふりしぼり、剣が峰頂上にやっとの思いで着いた。みんなそこで、ねそべったり、水を飲んだりした。体を休め、一休みしたところで記念さつえいをした。みんなの顔は、つかれたひょうじょうで、これからおりていくのが、やになってしまうくらいだった。この剣が峰挑戦ハイクもぶじにおわり、あと2日のキャンプも終わって、なんかさびしいような気もするが、この思い出を大事にして、来年もまた夏季キャンプに出席したい。

高原山の思い出

桐生第12団 大貫浩嗣

8月14日から、16日まで、高原山少年自然の家へ、キャンプにいきました。ぼくたち3組は、一度も、優勝できなかったのが、とてもざんねんでした。なかでも、一番楽しかったのが、3日目にやった、スコアオリエンテーリングです。出発点から近い場所のスコアをたくさんみつめて、点数をとろうと計画して、そのとおりにしていたら、近い場所は、点数が少なく、さすがの時間がかかってしまい、と中で大きな点を1つぐらいとらなくてはと思い、第1展望台へいきましたが、あせってしまい、みつからず、時間におくれて、げんてんになってしまいました。1組は、大きい20点ばかりねらいましたが、2位に、なりました。今度こういうゲームがあったら、組のみんなと、よく計画して、優勝したいです。高原山キャンプ場を、あとにして、帰る時は、もっととまっていたい気持ちでした。また、いきたいと思います。

高原山少年自然の家に舎営をして

桐生第12団 植竹春彦

ぼくは、高原山少年・自然の家について、たいへんべんきょうになりました。2泊3日の中で、だんだい生活の大変なことや、公共の物を大切につかうことを体でおぼえました。ぼくの組は、運動のゲームには弱いので、いつも、木メダルやリボンがもらえないので、もちものせいりせいとんや、すいみんをしずかにしたことなどで、リボンやワッペンをもらいました。星や林がきれいでした。ぼくは、ここにきて気もちがせいせいしました。山のぼりや、アスレチックなど、

少しきびしく大変なところもあったけれど、ごはんは、うまいし、とてもたのしかったので、家のことなどすっかりわすれてしまいました。ながれ星を見たのに、ねがいごとをいわなかったのが、ざんねんでした。本当に楽しかったです。

カブの鼓隊

桐生第12団 八木克彦

カブにはいって、今年でやっと3年目。1年目の時、小太鼓、そして、今年の桐生まつりの仮装パレードでは、鼓隊の指揮をとりました。当日は、すこし上がりましたが、ぼくは、小雨がふると、すずしくていいなと思いましたが、出発前には、とてもよく晴れてしまいました。ぼくは、えんそう中にでも、ふってくれたらなあーと、そっと心で思いました。みんな、指揮にあわせて、とても元気な音が、道いっぱい、いいえ、もっとひびきました。いろいろな人が、見ていました。中には、屋根の上に乗ったり、アーケードの上で、ねころびながら見る人も、いました。見ている人の中に、ぼくの友達がいって、ひやかしたりしました。そういう時が、いちばん上がってしまいましたが、ぐっところえました。本町3丁目～2丁目にかけて、だんだん、音が小さくなってきて、元気がなくなってきました。ぼくも、のどがからからで、よくふえがふけませんでした。2丁目で、少し休んで、ジュースをのんだ後、また、みんな元気になって、音がだんだん増してきました。天神様のとりいが、だんだん見えてきました。しかし、あと30メートル以上あります。ぼくも、のこりの力いっぱい、指揮をしました。また、だんだん音が小さくなってきました。とりいをくぐり、みんなのまっている所へ行きました。みんなへとへとでしたので、ゆっくり休みながら、麦茶を飲みました。とても、うまかったです。みんなが、いっしょうけんめいに太鼓をたたいているとき、ぼくは、しきをしていてなにを考えていたのかは、とても思い出せませんが、そういうものも、思い出になる1つです。

カブラリーのこと

桐生第12団 慶野光市

ぼくは、8月5日のカブラリーにさんかしました。自分の水鉄ぼうで、インベーターをたおしました。インベーターは、なかなか当てられません。ボーイスカウトの人が、インベーターのみかたをしていました。走って行って、ようやく当てることができました。また当てようとしたら、ボーイスカウトの人にあてられてしまいました。今度は、インベーターの足あとをつけていったら、桐生が岡公園に出ました。動物園を通り、坂をおりて、あづま公園の方にインベーターの足あとがあり、あづま公園の山にむかっていきました。そのと中に、落し物があり、それはビニールのたるやいろいろな物でした。終ってから、なにが落ちていたか紙に書きました。ぼくは、10

こ当っていました。山から坂道をおりて、水道山でおべんとうを食べました。その後、野球をしたり、木のみをあてたりしました。思ったよりつかれなくて、楽しかったです。

カブ生活をふりかえって

桐生第 14 団 柴田 憲 秀

僕は、小さいときからカブに入るように、そのまころの隊長さんから進められていたせいか、カブに入りたいと思っていたので、まよわず入隊しました。そのおかげで、いろいろなことを学びました。最初に、楽しいクリスマス会に招待されたときのことです。自己しょうかいをしたり、げきを見せてもらったり、プレゼント交かんなどをして、とても楽しかったことを覚えています。うさぎになって、やっとげん隊に入ることができました。なんともいえない気持ちで、胸がいっぱいになったと同時に、げん隊に入ったのだからしっかりやろうと言う勇気が、わいてきました。しかしくまと進歩し、せきにんがだんだん重くなり、今までよりしっかりしなければいけないと、自分にいいきかせ、心にちかいました。3年間をふりかえって、一番印象に残っていることは、「古墳を見学し、古代人の生きた生活、昔のえらい人のお墓を見たことです。中でも、二子山古墳は特に大きく、前方後円墳で二重の堀になっていて、まるで小山のようでした。たくさんの作品をつくったり、奉仕活動をしたり、その他、海浜、訓育、妙義山キャンプ、運動会など、ともに喜んだり悲しんだり、苦しかったこともたくさんあったけれど、今は、楽しい思い出ばかり頭に浮びます。なお今年は、桐生で群馬県カブラリーがあり、ソング、ゲーム、八木節などとても楽しいことばかりでした。これからも、今までカブで学んで来たことをいろいろな面で生かし、がんばって行たいと思います。

カブスカウト入隊の思い出

桐生第 14 団 飛田 章 博

ぼくは、りす、うさぎ、しか、くまとやってきました。早いもので、もう 3 年間たってしまいました。心にいちばん残ったのが、しかのときのカブ山大運動会で、準優勝したことでした。そのときの気持ちは、うれしくてたまりませんでした。そのほか、仮そうパレード、海ひん訓いくなどでした。いろいろなゲームをやって、楽しいこと、つまらないものもありました。そして、福 のためになる、協同募金などもしました。ガブスカウトに入って、たくさんの人と、なかよくなれてうれしかったです。そして、3年間、1度も、休んでいませんので、かいきん賞をねらっています。

三年間の思い出

桐生第14団 須田 成

ぼくは、うさぎ、しか、くまと、3年間カブをやってきた。いやなこともあった。楽しかったこともあった。その中でいちばんうれしかったのは、53年、しかのときのカブ山大運動会のじゅん優勝だった。ぼくは、足もあまり速くないし、運動しんけいもにぶいから、あまりじゅん優勝にこうけんでできなかった。しかし、じゅん優勝のときはとてもうれしかった。最後の15団と同点で、あっちむいてホイできめたときは、もし負けても本当は2位なんだと思っていた。そしてたらどうだろう、7人代表で出て、4人パーフェクトで勝ったのだ。ぼくは「やった。」と思った。じゅん優勝をいわってのかつどんが、おいしかった。ぼくは、カブに入ってよかったと思っている。いろいろな所へいき、ときには、社会の勉強にもなった。またいろいろな人に会い、ともだちもたくさんふえた。ぼくはいろいろな面で、カブに入ってほんとによかったと思う。

カブスカウト

桐生第14団 松村 敦

ぼくが、カブスカウトに入ったのは、となりの家の人にすすめられたからだった。ぼくは始め、「カブなんていきたくない。」と、そう思っていた。でも、はじめてカブスカウトに入った時、せいふくってかっこいいなあと思った。ぼくは、早くそのせいふくが着たいなあ思っていた。ぼくは、それからカブスカウトがすきになった。毎週行っている内に、いろいろ楽しい事があっていいなあと思った。そしてはじめてせいふくをきた入隊式、ぼくはとってもうれしかった。そしてこのうさぎの1年間、とっても楽しかった。春の妙義、お父さんもお母さんも来なくて少しさびしかった。でも、みんながいるからへいきだった。そして、夏の海、その時カブラリーだった。他の団の人たちとも、仲よくできた。そして、秋の運動会にはあまり出場しなかったけれど、見ているだけでも楽しかった。カブの運動会は、学校の運動会とはちがって、ふつうにはないような競技がたくさんあるので、ぼくのカブでの一番の楽しみだった。しかになって、この運動会で準ゆうしょうしたときの喜びは、忘れられない。そして、今ではくま、そして次長のぼく、ぼくは、ぼくがうさぎだったころの次長がどんなにたいへんだったか、はじめて分かった。ぼくはもうすぐカブを卒業する。みんなと遊んで、学んで、楽しかったことが終わる。いつでも、みんなで助けあって生活してきたこの3年間。特にしかのときの準ゆうしょうがうれしかった。

ぼくと・カブスカウト

桐生第14団 平岡隆志

ぼくが、カブスカウトに入ったのは、お兄さんが、入っていた、そのつづきでした。お兄さんとは、4つちがいです。そのお兄さんといつも一しょに、お母さんがデンマザーでしたので、良くみんなのゲームや作品づくりを見たり、ぼくも作ったりしていました。でも、兄さんたちが、ボーイに行き、ぼくも入いりなさいと言われた時は、いやでしたが、りすからうさぎにくると、だんだん、おもしろくなってきました。初めての夏は、新潟県へ行きました。カブラリーの海水浴でした。とてもたくさんのスカウトが参加して、たいへんでした。学校とはちがう、たくさんの友達も出来ました。また、いろいろな名所や、場所も見学出来ました。ほんとうに、楽しかったです。みんなして、力をあわせて仕事をする楽しみ、また作品づくり、運動会など、自分一人ではなく、みんながなかよくすることが、ぼくはとてもうれしかったです。いまは、くまスカウトだけど、あと少しで、カブスカウトとはさよならするけれど、いつまでも、このままでいたいと思います。これからも、仲間がたくさんふえて、いつまでも、いつまでもわすれない思い出を、たくさん作って行ってください。

班長になって

桐生第14団 高草木俊人

僕は、9月に班長になった。しかし、実際に班長になってみると、急に別世界に飛びこんだように、仕事は重大で大変なことばかりだ。でも、僕が班長になって、班員が、ボーイスカウトの中で良い経験をしてもらえれば良いと思う。キャンプでは、班長が班員に、示してやらなければならないが、いろいろとやっている中では、キャンプが一番楽しい。それに、集会の中でも、楽しいことがたくさんあるので、ボーイスカウトに入ってよかったと思う。また、苦しいことも、日常生活では得られないような、経験になる。だから、大人になってからも、ボーイスカウトで得た経験が、きっと役に立つと思う。この前、2回ほどグリーンパーキャンプがあった。はじめてだったので、何をやるのかよくわからなかった。でも出てみると、今まではわからなかった陰での努力がよくわかった。班長として、よい経験だったので、これからの集會に役立てたい。これからも、ずっとこの活動をつづけながら、他の人たちにもこの活動を広めていきたいと思う。

ボーイスカウトになって

桐生第14団 藤本裕明

ぼくは、ボーイスカウトになって、一番やりたかったのは、キャンプだった。1回目のキャンプは、なんだかそわそわしてしまった。キャンプの中で、ぼくたちは、食器洗いに水くみである。あまりやりたくないが、やらないではならない。2回目は、台風のため、ぼくたちのまちにまったキャンプが、ざんねんながらながされてしまった。キャンプは、おもしろい。けれどきびしい。その日のキャンプでやな思いをして、「もうキャンプは、やだ」っといっても、つぎの日は、わすれてしまう。次に、ぼくは早く進級したい。ぼくは、まだ初級だ。2級まであと一步である。ハイキング章をとれば、もう 級章はとれるもどうぜんである。ぼくは、ほかの仲間には、ぜったいにまけたくない気持がある。だから、ボーイスカウトにいくといつも競走気分だ。ぼくの一番のライバルは、浜本君という子だ。仲よしだが、やっぱりボーイスカウトにすれば友だちじゃないてきだ。ぼくは、浜本君にまけたくないので、しんけんだ。今までで一番よい経験をしたのは、グリーンパーキャンプに参加したことだ。班長次長だけのキャンプだ。ぼくは、班長でもないし、次長でもない。だいいで参加したわけだ。班長や次長は、グリーンシニアにしごかれるわけだ。ぼくは、班長より下だし、次長より下だから、ぼくなんかすぐしごかれると思ったら食器洗いに水くみだった。ぼくは、早く中一になりたいなあと思う。そうすれば、ぼくの下ができるから、下のやつらにさせれば、ぼくも少しはらくになる。でも、まだ6年だから、少しはきびしいけど、それも経験の1つだと思ってがまん。やなキャンプでも、やっぱりたのしいキャンプだと思う。

初めてのキャンプ

桐生第14団 久保敬史

ぼくたち14団は、人数は32人ぐらいの隊です。ぼくたちは初級のスカウトです。どうして「キャンプという題を付けたか」といいますと、ボーイスカウトより、下のカブスカウトのとき、だれでも一度は、「やってみよう」という気持ちがあるはず。だから、ぼくは、こういう題を付けたのです。はじめ、ぼくたちは、見習として、スカウト活動をしました。そして初級をとり、いよいよまちにまった、キャンプの日が来たのです。でも、あいにく雨になってしまいました。でもぼくたちは、キャンプがしたかったのです。ぼくたちの班の班長が、班長会議にでて、キャンプをすることになったのです。ぼくたちは、うれしかったのです。初めて、キャンプをするのが、やれなくなってしまうなんて、こまるからなのです。テントをはり、荷物をおけるようにしました。「これで、ねられるぞ。」と、ぼくたちのなかまが、うれしそうにいました。けど、おもっていたとおりににはなれません。いろんな仕事をさせられ、もうくたくたになってしまいました。でも、そんなことは、言っていられません。そんなことを言ったら、ボーイスカウ

トにはいったことが、なにもならなくなってしまうからなのです。だから、どんなことにもたえぬいて、りっぱにおえるように、がんばりました。そして、つぎの日、それが、むくわれました。神様にとどいたのか、その日は、よく晴れ、すばらしい日になりました。ぼくは、こんなに、ボーイスカウトは楽しいのかなと、心からそう思えました。それに、うれしかったと思います。みなさんも、ぼくたちと同じように、苦しいことこたえていってください。もしたえきれなかったら、この作文を読んでみてください。きっとたえきれれると思います。ぜひ読んでください。

ボーイスカウトになって

桐生第 14 団 浜本 篤史

ぼくは、ボーイスカウトになって、とてもよかったと思う。いつかせんぱいスカウトの話を知っていて、りっぱだなあと考えたことがあった。それは、いろいろなせんぱいスカウトの経験だった。ぼくは、その話を聞いて、せんぱいの経験を参考にし、ぼくもりっぱなスカウトになりたいと思った。そして、いよいよまちにまったキャンプがやってきた。ぼくにとって、初めてのキャンプだった。最初、キャンプってどんな目的で行うのだろうかと思った。1 回目のキャンプの時、いったいなにをしていいかわからなかった。水くみと、さら洗いだった。そして、隊長の話があり、キャンプはスカウトのちかいとおきてのじっせんの場合だと教えてもらった。そして、やっとわかったのだ。これからは、せんぱいスカウトによく教えてもらい、りっぱなスカウトになっていきたいと思う。

班長になったのキャンプ

桐生第 14 団 藤本 義明

この夏、中三の先輩スカウトがグリーン・シニアになり、ぼくたち中二のスカウトの内から、班長、又は、次長に任命された。ぼくは、班の中心である班長になったのだ。これからは、今までいっしょだった 3 年生をたよることが出来ないという不安な気持ち、心の中にあつた。そして、新しい出発も兼ねて、等 1 回目のキャンプが、去る 9 月 15・16 日を通じて行われた。なんとなく気持ちが小さくなってしまって、十分に気持ちが発揮できない。班員も、なんとなく不十分な気持ちでいるようだ。ぼくは、何とか出来ないものかと思うのである。すると、「班長、何をやらたいいのでしょうか。」と、聞きに来る者や、仕事もせずに遊んでいる者などが大部分だ。しかし、飯を食べるときだけは、皆が協力し、きれいに、きれいに食べるのだ。と、いうようなことしているうちに、どんどん時間は過ぎていってしまうのだ。ぼくが班長になって、もう 2 ヶ月になるが、まだまだ、いろいろな失敗などがある。しかし、そのようなことなんかには負けず、よき班長になり、そして、今後の 14 団ボーイスカウト隊の発展につくしたいと思う。

はじめてのキャンプ

桐生第14団 菅野知宏

ぼくが、ボーイスカウトに入って、はじめてのキャンプは、14団野営地でやりました。はじめてだったので、もち物などは、よくわからないものもありました。でも班長さんや、次長さんたちのいうことをきいていたら、わからないものまで、わかってきました。ハンゴーのつかいかたや、他の食料のつくり方、火のもし方、いろいろおそわりました。班長さんや次長さんは、火のかかりや食料をつくり、ぼくたち6年生は、炊じのかかりでした。けれど、キャンプの時は、炊じのかかりでもたのしかったです。夜は、キャンプファイヤーとテントの中でねるということが、ぼくはいちばん、キャンプでたのしいことだと思ったら、ほんとうは、そうじゃなかったのです。ぜんぶがたのしいということが、キャンプをして、わかりました。



ふるさと祭り入場式



ふるさと祭り行進

編 集 後 記

表紙名を三十年の足跡としたのには、二十年誌発刊の際「足跡」としたのでこれを踏襲することとした。

編集に当っては六部門に分けて見易いことに努力したつもりである。然しいざ執りかかってみるとその容易でないことがしみじみと感じられた次第であります。

資料の不足はもとより、区分された綴りは限られたものであり、古いことは二十年誌によるところが多い。その点二十年誌発刊に際しての桜井先輩の努力に深く敬意を表するものであります。そこで二十年誌を復刊して合せてご覧になっていただくことが一層理解しやすいものになるかと思えます。

足跡とは申せ記念誌である以上、写真集にしたくないと考え、その数は少ないものであり、これらの解決は後日記念写真集を発行することも重要な課題と考えられます。

早くから原稿、資料を賜りました諸先生並びにリーダー、スカウトの皆様の御協力に心から紙上をかりて感謝申し上げます。

特に事務局職員として長く御奉仕いただいた、神尾喜美子さん、後任の高久恵美子さんには最初から最後まで、資料整理、蒐集に盡力され本当に御苦労様でした。

拙い編集ではありますが、誌としての性格上、多数の皆さんからの原稿、資料の協力を得ること、自からの頭の中にえがく編集以外にないことから、私共は新旧事務局長の立場から整理させていたゞかせたのしかすぎません。今後の発刊の糧となる御叱聲を賜らんことを。

柳 田 栄 一 記
青 山 寿 延

30 年 の 足 跡

昭和 56 年 9 月 1 日 発行

昭和 56 年 9 月 10 日 印刷

発行者	ボーイスカウト群馬県連盟
	理事長 渋谷 義夫
	群馬県桐生市織姫町 4-19
編集	柳 田 栄 一
責任者	群馬県前橋市千代田町 1-11-11
印刷所	有限会社 内田印刷所